

平成22年度第2回 横浜市立市民病院市民委員会 次第

平成23年3月24日（木） 19時～

南棟8階 会議室

1 開会

2 病院長挨拶

3 議事

（1）地震後の横浜市立市民病院の診療体制等（資料当日配布）

（2）横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策（将来構想）について

（3）平成22年度満足度調査の結果について

4 閉会

平成22年度 横浜市立市民病院市民委員会委員名簿

氏 名		役 職 等
委員長	はせがわ としひこ 長谷川 敏彦	日本医科大学 医療管理学教室 主任教授
職務代理者	たぐち よしお 田口 芳雄	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 病院長
	あさの たかね 浅野 高嶺	保土ヶ谷区医師会長
	あしだて まさこ 芦立 正子	神奈川区保健活動推進員 三ツ沢地区会長
	おおさき えつろう 大崎 逸朗	神奈川県立病院機構 理事長
	こびやま よしこ 小松山 美子	社会福祉法人秀峰会 訪問看護サービス副事業部長
	しおた きよし 塩田 清	保土ヶ谷区中央東部地区連合町内会 会長
	しいの とくこ 椎野 恵子	ボランティア会ランパス 代表
	つるみ やすこ 窪見 康子	新戸塚病院 看護部長
	ほりうち くにあ 堀内 久仁江	神奈川区医師会長

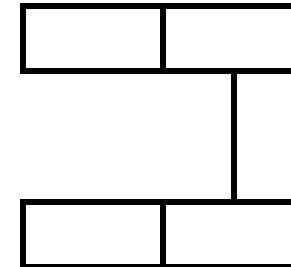
平成22年度第2回市民委員会 席次表

平成23年3月24日(木)

南棟8階 会議室

田口芳雄 職務代理者、
堀内久仁江 委員におかれま
しては、欠席の御連絡をいた
だいております。

浅 野	芦 立	大 崎	小 松 山
高 嶺	正 子	逸 郎	美 子
委 員	委 員	委 員	委 員
○	○	○	○



○	○	○
椎 野	塩 田	崔 見
恵 子	清	康 子
委 員	委 員	委 員

○ 長谷川 敏彦 委員長



議事作成席

石川経営企画係長	○
江口経理担当係長	○
谷口経営経理課長	○
岡田経営推進部長	○
魚本総務課長	○
川合管理係長	○

小松副病院長	○
石原副病院長	○
鬼頭病院長	○
杉田副病院長	○
浦井副病院長	○

○ ○ ○ ○ ○ ○

傍聴席

入口

地震後の横浜市立市民病院の診療体制等

1 横浜市立市民病院の位置づけ

横浜市立市民病院は、神奈川県が指定する災害医療拠点病院となっています。

※災害医療拠点病院：災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための医療施設として、地震などの災害時に24時間対応が可能な救急医療体制を確保し、一定の災害医療支援機能を有する病院で、県知事が指定する施設です。

2 地震後の診療体制

夜間休日を含めて、通常の診療を実施しています。

3 広域搬送患者受け入れ体制

地震直後、ICU1床、HCU2床を広域搬送患者受入病床として確保しました。
現在は、1床を広域搬送患者受入病床として確保しています。

4 透析患者受け入れ体制

日本透析医ネットワークに、受け入れ可能人数を登録しています。

5 停電への対応

横浜市立病院が所在する区域は、計画停電の除外区域となっています。
また、横浜市立市民病院は、自家発電機（72時間対応可能）を備えています。

6 その他

地震発生当日、帰宅が困難な患者さんやお見舞いの方に毛布の貸し出しを行いました。

入院患者さん満足度調査結果報告

当院では、平成22年10月に患者さん満足度調査を実施いたしました。ご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。

ここに、調査結果の一部をご報告させていただきます。

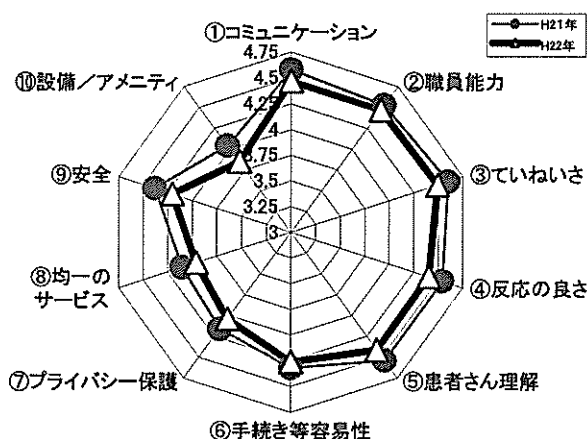
■実施期間………平成22年10月4日～10月29日

■回答数………357件

1) 総合的な設問

医療サービスとして重要な10項目について伺いました。全国標準と比較して、①コミュニケーション、②職員能力、③ていねいさ、④反応の良さ、⑤患者さん理解の5項目は、10段階中5以上の評価をいただきました。

職員の取り組みや努力を患者さんに評価していただけたことを大変うれしく思います。



①コミュニケーション…医師や職員は、聞き取りやすく、わかりやすい言葉で説明しましたか

②職員能力…医師や職員は、必要な技術と知識を身につけていますか

③ていねいさ…医師や職員は、礼儀正しく、親切で、ていねいでしたか

④反応の良さ…医師や職員は、患者さんの希望をできる限り取り入れようとしていましたか

⑤患者さん理解…医師や職員は患者さんの気持ちを理解しようとしていましたか

⑥手続き等容易性…入院前や入院中のさまざまな手続きはうまくいきましたか

⑦プライバシー保護…入院中のプライバシー保護は充分でしたか

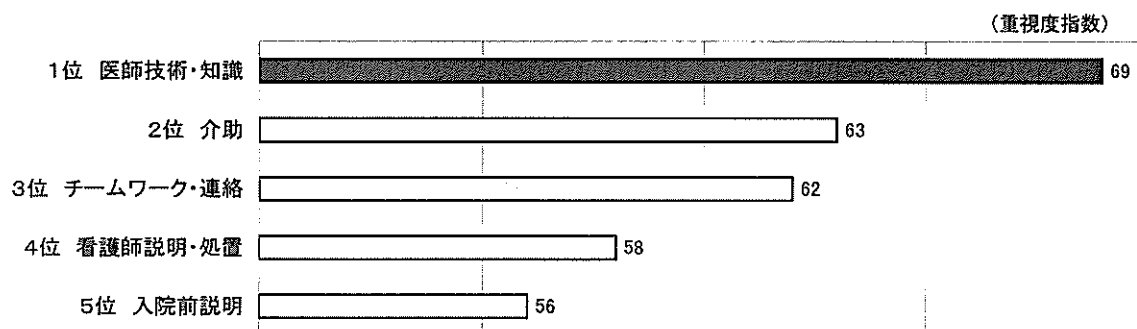
⑧均一のサービス…院内のどこでも、どんな時でも同じようなサービスを受けることができましたか

⑨安全…入院中は安全に医療サービスが行われていると感じましたか

⑩設備／アメニティ…入院中の設備や環境は快適でしたか

2) 患者さんが重視されていること

当院の患者さんが、重視していることを分析し、上位5位までをグラフにしました。

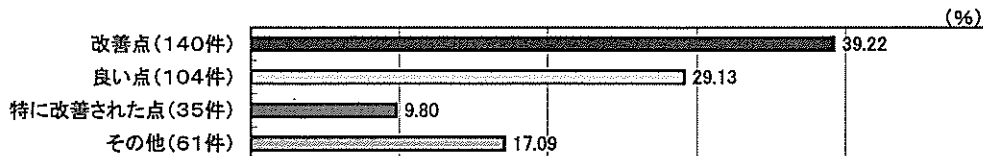


2) 患者さんの自由記述

改善すべき点、良い点、特に改善された点について、ご意見や評価をいただきました。

良い点、特に改善された点については、次のような評価の言葉をいただいております。大変、うれしく思います。

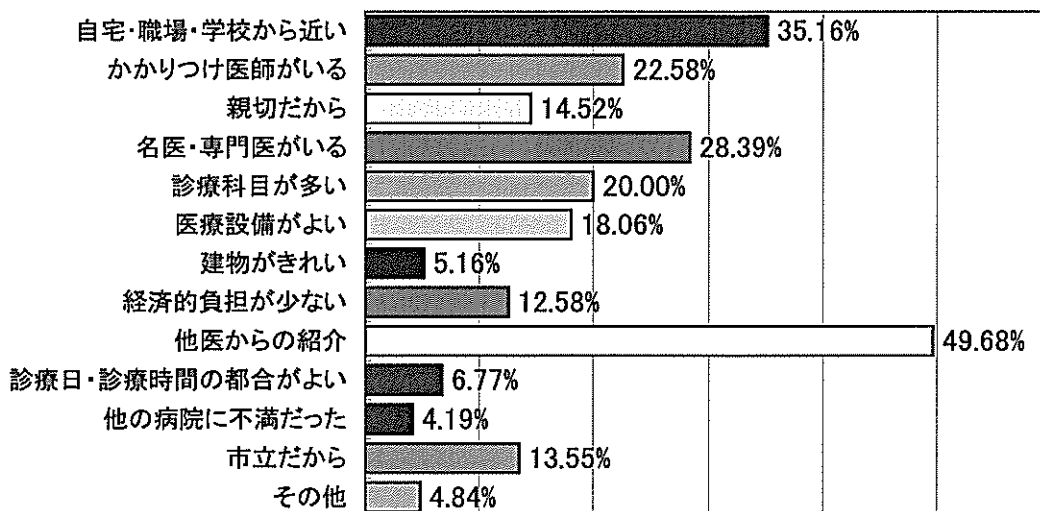
看護助手さんや清掃の方々、良くやっている。医療相談窓口のソーシャルワーカー担当看護師は実に良く、患者を心より安心させてくださった。



3) 患者さんが当院を選ばれた理由

患者さんが当院を選ばれた理由を伺しました。

- 1位 他医からの紹介
- 2位 自宅・職場・学校から近い
- 3位 名医・専門医がいる



<まとめ>

今回の調査を通じて、患者さんからいただきました評価、ご指摘、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。現在指定を受けています「地域医療支援病院」、「地域がん診療連携拠点病院」、「救命救急センター」として、地域連携の推進、がん診療機能の強化、救急医療体制の拡充に取り組んでまいります。患者さんにおかれましては、引き続きアンケート調査等へのご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。また、日常でもお気づきの点がございましたら、最寄のスタッフまでサービス向上へのアドバイスをいただければ幸いです。

横浜市立市民病院 病院長
サービス向上委員会

外来患者さん満足度調査結果報告

当院では、平成22年10月に患者さん満足度調査を実施いたしました。ご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。

ここに、調査結果の一部をご報告させていただきます。

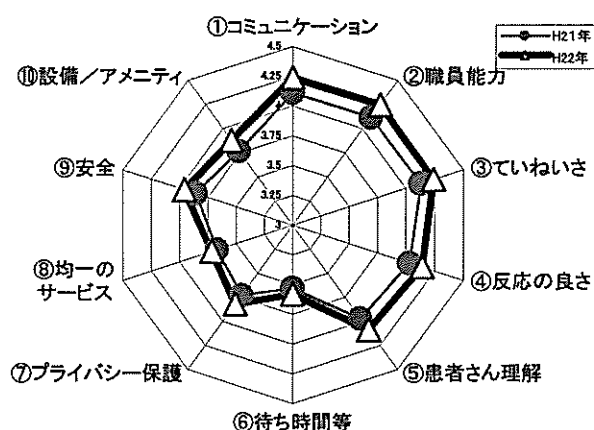
■実施期間………平成22年10月20日～10月21日

■回答数………691件

1) 総合的な設問

医療サービスとして重要な10項目について伺いました。全国標準と比較して、①コミュニケーション、②職員能力、③ていねいさの3項目は、10段階中8以上の評価をいただきました。

職員の取り組みや努力を患者さんに評価していただけたことを大変うれしく思います。



①コミュニケーション…医師や職員は、聞き取りやすく、わかりやすい言葉で説明しましたか

②職員能力…医師や職員は、必要な技術と知識を身につけていますか

③ていねいさ…医師や職員は、礼儀正しく、親切で、ていねいでしたか

④反応の良さ…医師や職員は、患者さんの希望をできる限り取り入れようとしていましたか

⑤患者さん理解…医師や職員は患者さんの気持ちを理解しようとしていましたか

⑥待ち時間等…電話応答、診療まで、検査まで、会計までなどの待ち時間は許容の範囲ですか

⑦プライバシー保護…院内のプライバシー保護は充分でしたか

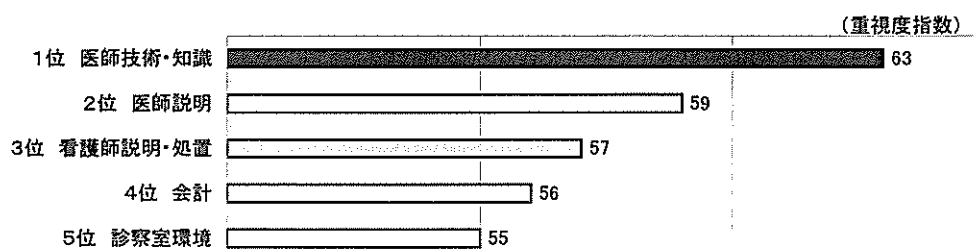
⑧均一のサービス…院内のどこでも、どんな時でも同じようなサービスを受けることができましたか

⑨安全…院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか

⑩設備/アメニティ…院内の設備や環境は快適でしたか

2) 患者さんが重視されていること

当院の患者さんが、重視していることを分析し、上位5位までをグラフにしました。

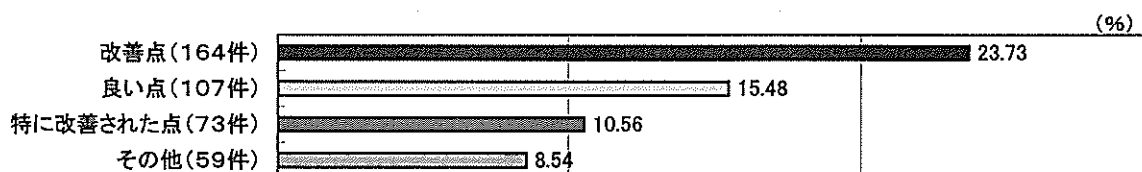


2) 患者さんの自由記述

改善すべき点、良い点、特に改善された点について、ご意見や評価をいただきました。

良い点、特に改善された点については、次のような評価の言葉をいただいております、大変、うれしく思います。

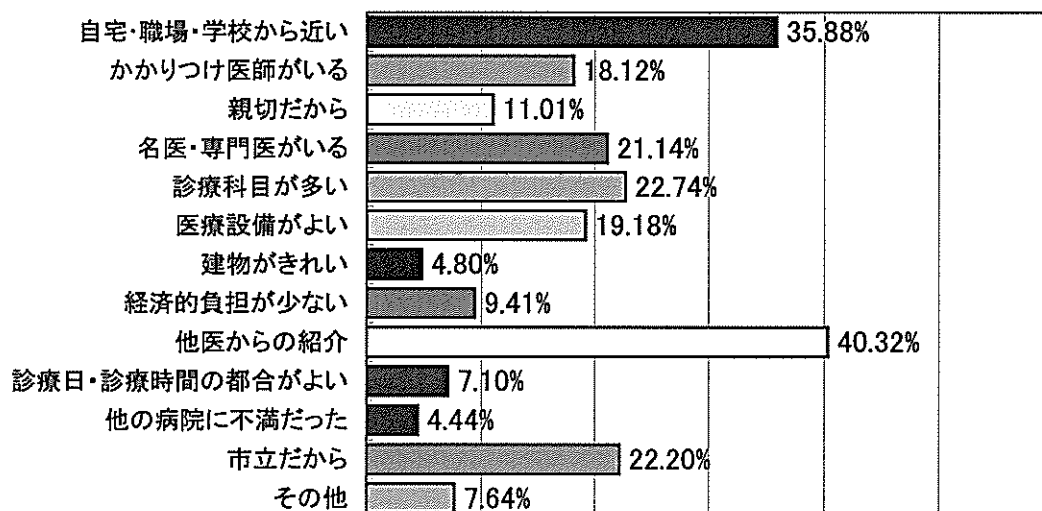
会計システム、受付処理システム(がん検診)。古くから通院していますが、来院の都度、変革している感じがします。



3) 患者さんが当院を選ばれた理由

患者さんが当院を選ばれた理由を伺いました。

- 1位 他医からの紹介
- 2位 自宅・職場・学校から近い
- 3位 診療科目が多い



<まとめ>

今回の調査を通じて、患者さんからいただきました評価、ご指摘、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。現在指定を受けています「地域医療支援病院」、「地域がん診療連携拠点病院」、「救命救急センター」として、地域連携の推進、がん診療機能の強化、救急医療体制の拡充に取り組んでまいります。患者さんにおかれましては、引き続きアンケート調査等へのご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。また、日常でもお気づきの点がありましたら、最寄のスタッフまでサービス向上へのアドバイスをいただければ幸いです。

横浜市立市民病院 病院長
サービス向上委員会

たった20年で
 日本史上最高の高齢者数

絶対数は2030年頃
 がピーク

ピーク
 50歳以上
 2029

第一次ピーク
 65歳以上
 2030

第一次ピーク
 75歳以上
 2030

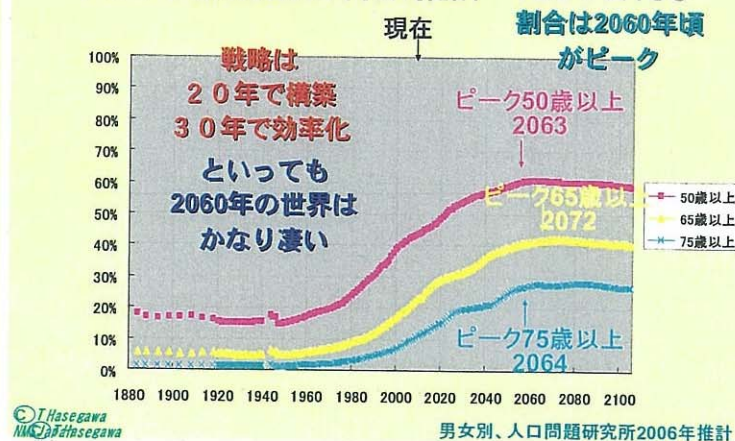
総人口
 50歳以上
 65歳以上
 75歳以上

1880 1900 1920 1940 1960 1980 2000 2020 2040 2060 2080 2100

1000万人
 8000
 6000
 4000
 2000
 0

© T Hasegawa
 NMS Japan

男女別、人口問題研究所2006年推



地方中核都市

必要な2次、3次機能を定期的に補填

地方中小都市

300床ほどの規模の経済が動くように病院の集約総合必要

可能なら病院を核とする新たな町づくり

郡部

1次機能があればよい(総合診療医がNP) トリアージと追跡

3つの方法

- ・ドクターヘリによる救急搬送
- ・半定期的患者の輸送
- ・定期的医療宅配(生活物資等と共に)

2次医療機能施設4-6で3次機能全体をカバー可能

2次機能とせいで1-2の3次機能

急性期、2次、3次を支える規模はない

NMS Japan

地方中核都市

2030年の世界

郡部

2060年の世界

高齢化人口減

突然

高齢者がわき出る

第2の医療崩壊

高齢者は遠くへ

行けない

歩いて

行ける範囲

必須基礎ユニット
食料
医療
福祉

人口2-5万人に一つ

© THasegawa NMS Japan

	<u>19世紀後半</u>	<u>21世紀前半</u>
職場	大工場	多種
年齢	50歳まで	85歳以上
病気	単一疾患	多疾患
	単一エピソード	継続発症
	治癒可能性	最後死亡
目標	絶対治癒	本人の求める機能
	絶対救命	現状を改善
	医学の権威	福祉と同じ 融合する

生活主体

死亡

診療所

慢性期ケア

福祉施設

長期ケア

リハ病院

リハケア

急性期ケア

病院

緩和ケア施設

末期ケア

濃厚資源

死亡

死亡

加齢

ケアのフロー

© T.Hasegawa
NIMS Japan

0 歳 50 歳 75 歳 老化

外的、生殖関連：
感染外傷母子疾患

晩期退行性病変：
成人病

晩期退行性病変：
老人病

医療の目的
「理想に戻す」

理想の絶対化

医療の目的
「老人の
生き方を支援」

役割と機能の
相対化

ギリシャの
理想の青年像
「プラトニズム」

日本の
現実の老人像
「病と障害を抱える」

[illegible]

横浜市立市民病院
老朽化・狭あい化対策
(将来構想)

平成 23 年 1 月 17 日

目次

目次	1
はじめに	2
1 横浜市の医療を取り巻く環境	3
(1) 横浜市の医療政策	3
(2) 横浜市の医療提供体制	3
(3) 患者数推計	4
2 市民病院の現状	6
(1) 病院開設からこれまでの経緯	6
(2) 基本理念等	6
(3) 立地状況	7
(4) 主な診療機能	8
(5) 患者傾向	8
(6) 横浜市における市民病院が担っている機能	10
(7) 収支試算	15
3 市民病院の役割	16
4 将来構想	17
(1) 必要病床数	17
(2) 政策的医療への取り組み	17
(3) 高度急性期医療の提供	21
(4) 地域医療の質向上	24
(5) 病院運営体制等	24
5 老朽化・狭あい化対策	26
(1) 診療部門	26
(2) 患者アメニティ	30
(3) 職員利用施設等	31
6 市民病院再整備の検討	32
(1) 建物規模	32
(2) 建設地	32
(3) 建設費	32
(4) 建設手法	32
(5) 再整備後の収支検討	33
(6) 検討課題	35
おわりに	36

はじめに

横浜市立市民病院（以下「市民病院」という。）は平成２２年に創立５０周年を迎え、次なる節目となる６０周年さらには１００周年へと向けて新たな一歩を踏み出した。

市民病院は、市民の医療サービスに徹する病院建設の市民要望に応じ、昭和３５年に建設された。当初４２床であったが、その後の整備拡張により総合病院としての体制を整え、横浜市の中心的基幹病院として高度医療の提供等を行ってきた。また、社会や疾病構造の変化への対応が要求されるようになり、２４時間３６５日の救急患者の受入や、がん対策としてのがん検診センターの開設等に取り組んできた。

昭和５７年からは、高度な医療水準の確保、救急医療施設の整備、患者サービス面の施設改善等を目標に再整備が行われた。その後、感染症指定医療機関として神奈川県及び横浜市の感染症医療の中心的役割を果たすとともに、内視鏡センターの開設、地域がん診療連携拠点病院の指定、地域医療支援病院の承認、緩和ケア病棟の整備、救命救急センターの整備、医療安全管理への取組等、地域医療へ貢献してきた。

再整備完了から約２０年を経過したところであるが、段階的な整備を行ったため、すでに各所で老朽化による支障が生じている。また、近年の医療環境の変化に伴い、医療機能の充実や医療職員の増員も行われてきており、施設の狭あい化が深刻な問題となっている。

そこで、改めて横浜市における市民病院のこれまで果たしてきた役割や存在意義を自ら検証し、あるべき将来像を明確にし、今後の方向性を定めることを目的に、市民病院の将来構想を策定した。

1 横浜市の医療を取り巻く環境

(1) 横浜市の医療政策

横浜地域を対象とした「横浜地区保健医療計画」は神奈川県により策定されてきたが、横浜市では、地域における課題に対しては、可能な限り市が主体となって解決に向けた取り組みを行うこととし、本市の保健医療分野を中心とした施策を総合的に体系づけた中期的な指針となる「横浜市の保健医療の推進に関する計画（通称：よこはま保健医療プラン）」を平成20年に策定し、この中で、目指す姿として、身近な生活圏域における医療提供体制の充実や患者中心の医療の実現等を掲げ、医療政策を推進している。

また、平成22年度に横浜市全体の中期計画を策定し（資料1）、この計画において、医療環境の充実として、産科・小児医療の充実や適切な救急医療の提供などが目標として掲げている。現状と課題のなかで、周産期救急医療を取り扱う医療機関や病床の不足、救急医療体制の更なる充実、4疾病等の相談・情報提供の充実及びがんの予防、早期発見、先端医療、緩和ケアまでの総合的な取組によって市民が最先端のがん治療を受けることができる環境づくりを進める必要があるとしている。

さらに、平成23年度には健康福祉局内に医療政策室（仮称）を設置し、市長部局と市大病院や市立病院との連携、医療分野における総合企画機能の強化などを図り、横浜市の医療政策を総合的に推し進め、安心して適切な医療をうけることができる環境の実現を目指すこととしている。

(2) 横浜市の医療提供体制

横浜市は神奈川県保健医療計画のなかで、3つの二次保健医療圏が設定されている。二次保健医療圏ごとに定められた基準病床はほぼ満たされている状況にある。

保健計画上は2次保健医療圏を1単位としているが、市域の急激な人口増加や疾病構造の複雑化に伴い増加する医療需要などの課題に対応するため、市域を交通の便等から7つの地域に分け、市立病院等がある市中心部を除く6方面に民設民営の病院を誘致することで、市内の医療資源の整備を進めてきた。（資料2）

その結果、各中核病院が3～4程度の行政区を主な診療圏として高度急性期医療を提供している。

基準病床数の状況

（単位：床）

二次保健医療圏	構成区	基準病床数	既存病床数	充足率
横浜北部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区	8,260	7,974	96.5%
横浜西部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区	7,105	7,361	103.6%
横浜南部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区	6,953	6,710	96.5%
横浜地域合計		22,318	22,045	98.8%

出典：神奈川県保健医療計画 既存病床数はH20.1.1

(3) 患者数推計

ア 横浜市人口（資料3）

平成42年の推計では全国の総人口の将来推移が減少する見通しのなか、横浜市については人口の増加が見込まれる。特に、65歳以上については40%以上の増加が見込まれ、100万人以上となり市内人口の約3割を占める見通しであり、急激に高齢化が進むことが予測されている。

横浜市 人口推計

(単位：人)

	平成22年		平成42年		増減	率
	人数	構成比	人数	構成比		
総数	3,676,639	100.0%	3,700,356	100.0%	23,717	0.6%
0～14歳	483,542	13.2%	331,801	9.0%	△151,741	△31.4%
15～64歳	2,449,219	66.6%	2,304,943	62.3%	△144,276	△5.9%
65歳以上	743,878	20.2%	1,063,612	28.7%	319,734	43.0%

(単位：千人)

全国	127,176		115,224		△11,953	△9.4%
----	---------	--	---------	--	---------	-------

イ 入院患者数の推計（資料4、5）

横浜市の1日あたりの全疾患患者数（精神及び行動の障害を除く）は高齢者の増加に伴い、平成22年で22,107人であったものが平成42年には32,551人と推計される。

疾患別では、循環器系の疾患が平成22年で5,962人であったものが平成42年で9,671人と6割以上の増加が予測される。そのほか、呼吸器系の疾患、腎尿路生殖器系の疾患、損傷・中毒及びその他の外因の影響について5割以上の伸びが予測される。

横浜市 入院患者数の推計(受療率による試算)(資料4抜粋)

(単位：人)

	H22	H42	合計	率
総数	27,079	38,719	11,641	(43.0%)
総数(除くV 精神及び行動の障害)	22,107	32,551	10,444	(47.2%)
I 感染症及び寄生虫症	431	572	140	(32.5%)
II 新生物	3,598	4,857	1,259	(35.0%)
(悪性新生物)(再掲)	3,195	4,362	1,167	(36.5%)
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	116	156	41	(35.0%)
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	689	1,018	329	(47.8%)
V 精神及び行動の障害	4,971	6,168	1,197	(24.1%)
VI 神経系の疾患	1,772	2,630	859	(48.5%)
VII 眼及び付属器の疾患	241	360	119	(49.4%)
VIII 耳及び乳様突起の疾患	64	76	12	(19.2%)
IX 循環器系の疾患	5,962	9,671	3,708	(62.2%)
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	1,149	1,838	688	(59.9%)
(脳血管疾患)(再掲)	4,359	7,153	2,793	(64.1%)
X 呼吸器系の疾患	1,777	2,809	1,032	(58.1%)
X I 消化器系の疾患	1,433	2,025	591	(41.3%)
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	218	315	97	(44.4%)
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,032	1,460	428	(41.4%)
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,105	1,681	576	(52.1%)
X V 妊娠、分娩及び産後	407	337	△71	(△17.4%)
X VI 周産期に発生した病態	158	109	△49	(△30.9%)
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	122	101	△21	(△16.9%)
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	334	482	148	(44.3%)
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,240	3,384	1,145	(51.1%)

ウ 外来患者数の推計（資料 6、7）

横浜市の 1 日あたりの全疾患患者数（精神及び行動の障害を除く）は、平成 22 年で 161,052 人が平成 42 年には 190,695 人と推計される。入院患者程ではないものの 2 割程度の増加が見込まれる。疾患別では、いわゆる 4 疾病について高い増加率が予測される（悪性新生物 31.0%、糖尿病 28.2%、循環器系疾患 42.4%）。

2 市民病院の現状

(1) 病院開設からこれまでの経緯

市民病院は昭和35年10月18日に開設された。当初は42床で発足し、昭和40年代前半に毎年50床ずつの増床が行われ、昭和45年に399床となった。

診療機能も次第に拡充され、昭和38年には総合病院に、昭和39年には救急病院の指定を受けたほか、昭和42年の胃集団検診事業開始、昭和43年のコバルト60導入、昭和45年診療用放射性元素使用許可、昭和55年がん検診センターの竣工などがん診療機能の拡充が図られた。

病床施設は、昭和35年に地下1階、地上5階、延面積6,536㎡の病院の母体となる建物が竣工し、当時としては水準の高いものであった。その後、昭和42年に大規模な増築が行われ、地下1階、地上5階、延面積7,268㎡の増築が行われた。その後、アイソトープ棟、地下機械室の増築、看護婦宿舎、身障者福祉センター、保育所、がん検診センターが別棟として、同一敷地内に建設された。

昭和57年度から再整備事業が開始され現在の南病棟（昭和61年11月竣工）、東病棟（平成元年3月竣工）、西病棟（平成3年8月竣工）が建設され、病床数637床、診療科合計20科により運営されることとなった。

その後、感染症外来の開設、第一種・第二種感染症指定医療機関の指定等により横浜市及び神奈川県感染症医療の中心を担うようになった。

また、平成18年以降、内視鏡センター・外来化学療法室の整備、地域がん診療連携拠点病院の指定、緩和ケア病棟の開設等、日本人の死因第1位となっているがんに対する診療機能の強化及び地域周産期母子医療センターの認定、救命救急センターの指定など政策的医療への取り組みを推進している。

(2) 基本理念等

○ 横浜市立病院医療憲章

私たちは、病院を利用される市民の皆様が、質の高い医療サービスを安心して安全に受けることができるよう、次の5項目を推進してまいります。

1. 患者さんの声を尊重し、相互の信頼関係に基づいた、医療サービスを提供してまいります。
2. 患者さんの知る権利を尊重してまいります。
3. インフォームドコンセント（説明と、患者さんの理解・選択に基づく同意）を的確に行い、患者さんの自己決定権を尊重してまいります。
4. 患者さんのプライバシーを尊重してまいります。
5. 医療に関して、高い倫理観、十分な知識、確かな技術を持ち、さらなる研鑽に努めてまいります。

○ 横浜市立市民病院 基本理念

私たちは、市民の皆さまの生命と健康をお守りするため、安全で良質な医療を公平、公正に提供してまいります。

○ 横浜市立市民病院 運営方針

1. 横浜市の基幹病院として、高度かつ先進的な医療に取り組みます。
2. 「がん」「救急」「感染症」を三本柱に、母子医療センターにおける「産科」「小児科」などの診療機能を強化します。
3. 地域医療機関との連携と機能分担を進め、患者さん中心の医療を推進します。
4. 医療に関する高い倫理観、知識、技術を持ち、安全管理の向上に努めます。
5. 十分な説明と患者さんの納得・同意のもとに診療を行うとともに、診療情報の開示を進めます。
6. 公営企業として経営の健全化に努めます。

(3) 立地状況

ア 所在地

横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地

イ 施設の概要

敷地面積 20,389㎡、延床面積 43,248㎡

(患者駐車場(119台)については民地借上による上記外数)

ウ 医療圏

診療圏は横浜西部二次保健医療圏であるが、各中核病院が3～4程度の行政区を主な診療圏として高度急性期医療を提供している。市民病院は市中心部に位置し、区別では所在区である保土ヶ谷区に続き、横浜北部二次保健医療圏の神奈川区が第2位となっており、上位2区で50%以上を占め、その他西区、旭区が主な診療圏となっている。

平成21年度 入院・外来診療圏別内訳

	二次医療圏	入院延患者数(人)	構成比	外来患者数(人)	構成比
保土ヶ谷区	西部	61,181	32.7%	59,038	34.2%
神奈川区	北部	42,102	22.5%	35,705	20.7%
西区	西部	18,130	9.7%	15,417	8.9%
旭区	西部	15,844	8.5%	15,412	8.9%
その他市内		41,029	21.9%	38,663	22.4%
市外		8,794	4.7%	8,457	4.9%
小計		187,080	100.0%	172,692	100.0%
不明		9,225		6,568	
合計		196,305		179,260	

エ 地理的特性

主要幹線道路(国道1号(横浜新道)と新横浜通り)が交差する地点に位置し、横浜駅から約2kmとなっている。最寄り駅は市営地下鉄三ツ沢上町であるが徒歩12分かかる。このほか、横浜駅からのバスの停留所が病院前等にあり、バスを利用する割合も多いと考えられる。

オ 周囲の医療機関

半径約5km圏内に300床以上の病院として、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜労災病院、社会保険横浜中央病院、けいゆう病院、聖隷横浜病院があり、また、同一医療圏に神奈川県立がんセンターがある。(資料8)

カ その他

容積率は限度となっており、現敷地での増築は不可能であり、また、隣接地に空地は存在していない。

(4) 主な診療機能（参考資料：業務統計）

ア 病床数 650床（許可病床）

うち 感染症病床 26床（第1種：2床、第2種：24床）、ICU 10床、NICU 6床（うち3床※）、CCU 4床、RICU※ 2床、HCU※ 20床、緩和ケア※ 20床、無菌室 16床

※施設基準未認定（ただし、HCUは救命救急入院料算定病床）

イ 放射線検査・診療機器

MRI、CT（3台）、RI（PET-CT 1台、SPECT 2台）

アンギオ、マンモグラフィー、リニアック

ウ 手術室（9室）

エ 外来化学療法室（15床）

オ 内視鏡センター（7床）

カ 救命救急センター（ICU4床、HCU18床）

キ 母子医療センター（陣痛室・分娩室 各2床、NICU6床（うち3床施設基準届出））

ク がん検診センター

検診項目：胃、子宮、卵巣、乳腺、肺、喉頭、大腸、肝胆膵、前立腺、PET-CT

(5) 患者傾向

ア 患者数

一般病床数については横浜市内18,750床のうちの市民病院は624床であり、構成割合は3.3%となっている一方、患者数は199,529人で市内在院患者延数5,199,454人に対し3.8%と病床数の占める割合より高くなっている。

医療施設の病床数、患者数

	一般病床		感染症病床
	病床数（床）	在院患者数（人）	病床数（床）
市民病院	624（3.3%）	199,529（3.8%）	26
横浜市	18,750	5,199,454	26

出典：第88回横浜市統計書（病床数：H20.10.1、患者数H20年）

また、「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価（以下DPC調査という）」によれば、市民病院のDPC対象病院及びDPC準備病院（以下DPC病院という）を対象とした市内におけるシェアについては、病床数の割合が5.2%に対し、退院患者数の割合が6.3%となっており、多くの患者に選ばれていることが推定できる。

MDC疾患別に市内病院とのシェアを比較すると、呼吸器系疾患（9.2%）、血液系疾患（13.3%）、小児疾患（10.1%）について市内最大シェアを占めており、そのほか消化器系疾患（7.0%）、新生児疾患（9.3%）等が合計を上回るシェアとなっており、市民病院が強みとする疾患といえる。（資料9）

また、各中核病院等の患者数構成割合と市内シェアは同様の傾向であり、その特性・強みにより機能分担が図られているといえる。

MDC別 患者数及び市内DPC対象病院シェア（資料9 抜粋）

		市民病院患者数（人）	シェア
MDC04	呼吸	1,275	9.2%
MDC06	消化	1,811	7.0%
MDC13	血液	323	13.3%
MDC14	新生	161	9.3%
MDC15	小児	126	10.1%
市民病院合計		6,989	6.3%
病床数（床）		650	5.2%

イ 疾患別構成

診療科は33診療科体制で幅広い疾患に対応している。市民病院の平成21年の疾患別の構成割合では、消化器系疾患等が25.6%、呼吸器系疾患が18.1%と高い割合を占めている上に全国平均よりその割合が高くなっている。そのほか、血液疾患や新生児疾患、小児疾患等が全国平均より高い比率を占めている。（資料10）

市民病院 MDC別 患者数比率（資料10 抜粋）

		21年(7～12月)	
		市民病院	全国平均
MDC01	神経	5.2%	6.5%
MDC02	眼科	2.6%	4.7%
MDC03	耳鼻	2.8%	4.0%
MDC04	呼吸	18.1%	11.8%
MDC05	循環	6.8%	10.3%
MDC06	消化	25.6%	23.2%
MDC07	筋骨	4.5%	5.7%
MDC08	皮膚	1.2%	1.1%
MDC09	乳房	0.8%	1.3%
MDC10	内分	3.2%	3.1%
MDC11	腎尿	7.1%	7.8%
MDC12	女性	5.8%	6.6%
MDC13	血液	4.6%	2.3%
MDC14	新生	2.5%	2.1%
MDC15	小児	1.8%	1.3%
MDC16	外傷	5.6%	6.3%
MDC17	精神	0.4%	0.2%
MDC18	その他	1.6%	1.6%
合計		100.0%	100.0%

他の市立病院、市大病院、横浜市中核病院では、

みなと赤十字病院は	耳鼻咽喉科系疾患、外傷、
横浜国立大学附属病院は	筋骨格系疾患、
市民総合医療センターは	乳房の疾患、
横浜市西部病院は	新生児疾患等、
横浜市北部病院は	眼科系疾患、消化器系疾患等、
横浜医療センターは	神経系疾患、女性生殖器系疾患等、
横浜労災病院は	神経疾患、腎・尿路系疾患等、

横浜市南部病院は 皮膚等疾患、小児疾患、
 横浜市東部病院は 循環器系疾患
 の割合が高くなっている。

ウ 診療内容

DPC入院患者の治療行為別の構成は、手術有の割合が40.3%と中核病院等と比較し低位にあり、化学療法有については9.3%と中位より上に位置している。なお、放射線療法有については0.7%と低い割合になっている。（資料11）

DPC患者 手術等の件数(平成21年7月～12月)(資料11抜粋)

横浜市立市民病院		退院患者 数(人)	総数に対す る割合
総数		7,107	
手術、化学 療法、放射 線療法、救 急車搬送の うち	手術有	2,861	40.3%
	化学療法有	659	9.3%
	放射線療法有	49	0.7%
	救急車搬送有	979	13.8%
	いずれか有	4,199	59.1%
全身麻酔		1,486	20.9%

(6) 横浜市における市民病院が担っている機能

ア 政策的医療

(ア) 救急医療

救急医療については、24時間365日の救急医療を提供し続け、その実績から横浜市内7番目の救命救急センターに指定され、三次救急までの受入を行っている。そのほか神奈川県周産期救急連携病院や小児救急拠点病院、横浜市脳血管疾患救急医療機関等としての役割を担っている。

DPC病院の救急車による搬送患者数では、合計で6.5%と4番目のシェアとなっており、特に、小児疾患で14.3%と市内最大シェアとなっており、小児二次救急拠点病院としての機能が十分に発揮できているといえる。そのほか、精神系疾患、耳鼻咽喉科系疾患、内分泌系疾患等において、平均よりも高いシェアとなっている。

(資料12)

MDC別 患者数及び市内DPC対象病院シェア(資料12抜粋)

		市民病院 救急車 による搬送人数(人)	シェア
MDC01	神経	172	6.8%
MDC03	耳鼻	31	8.6%
MDC04	呼吸	195	7.4%
MDC05	循環	230	7.2%
MDC06	消化	177	6.7%
MDC10	内分	35	8.0%
MDC15	小児	36	14.3%
MDC17	精神	11	25.0%
計		1,092	6.5%

(イ) 周産期医療

市民病院は、地域周産期母子医療センターに指定されているほか、神奈川県の周産期救急医療システム中核病院、横浜市周産期救急連携病院となっており、出来る限り多くの分娩を受けると同時に、診療所等での分娩が困難なハイリスクの妊婦及び救急

患者の受け入れも積極的に行っている。また、セミオープンシステム※等により地域の医療機関との連携を積極的に図っている。

※初期に市民病院で受診・分娩予約をし、出産までの妊婦検診は地域の医療機関で行い、市民病院において出産する体制

分娩関係実績

	分娩数		うちセミオープンシステム	
		月平均		月平均
平成21年度	838	69.8	199	16.6
平成22年度上半期	459	76.5	84	14.0

(単位：件)

周産期救急 受入件数		平成 11 年			
		産科		新生児	
	月平均		月平均		月平均
44	3.7	18	1.5	26	2.2
30	5.0	12	2.0	18	3.0

(ウ) 小児医療（含む小児救急）

小児救急医療としては、神奈川県から小児救急拠点病院に指定されており、一次救急から、周産期医療を含む二次、三次医療まで、24時間体制で対応している。前記したが、DPC病院の調査で小児疾患では市内14.3%と最大のシェアとなっている（資料12）。また、院内学級を併設しており、入院中の子供が教育を受けられる環境も提供している。

(エ) 災害医療

神奈川県災害医療拠点病院として指定されており、近隣救護所・医療機関では救護が困難な中等症以上の被災者を受け入れ、必要に応じて他医療機関への転院、搬送する使命を担っている。阪神・淡路大地震に際しては、4回にわたり医療応援活動を行った。

また、地震等の自然災害のほか、近年は炭疽菌等の生物災害やサリン等の化学物質災害への対応が求められ、かつての地下鉄サリン事件に関連する横浜駅異臭事件において被害者の受入などを行ってきた。

また、横浜市中期4か年計画において、観光・MICE※・創造都市を目指すとしており、国際会議に対する生物テロ等への警戒をしなければならない。

※MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称

(オ) 感染症医療

市民病院は、感染症病棟を備え、神奈川県唯一の第一種感染症指定医療機関（2床）であるほか、横浜市内唯一の第二種感染症指定医療機関（24床）となっており、また、エイズ診療拠点病院の指定も受けている。

感染症はすべての臓器感染症をカバーし、ウイルスから、細菌、真菌、原虫感染症まで幅広く対応している。さらに、輸入感染症やSTD（性感染症）などにも多岐に渡って対応しており、特に、HIVに関しては長い診療の歴史があり、通算で500名以上と県内の約4割の患者を診療し、全国的にもDPC病院の入院患者数で5番目となっている。

平成21年度の新型インフルエンザの流行に際しては、市内の約4割の入院患者を受け入れるなど中心的役割を果たした。

平成21年度 HIV患者入院件数（DPC調査より）

施設名	後天性免疫不全症候群 患者数（人）	割合
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	58	11.3%
東京都立駒込病院	41	8.0%
東京医科大学病院	24	4.7%
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	24	4.7%
横浜市立市民病院	18	3.5%
大阪市立総合医療センター	17	3.3%
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	13	2.5%
東京都立墨東病院	11	2.1%
その他	309	60.0%
合計	515	100.0%

平成21年度 インフルエンザ患者数

症状により受診した患者数 5,479人

感染により入院した患者数 329人/799人（横浜市内）

イ 高度急性期医療の提供

（ア）悪性新生物（がん）

横浜西部医療圏の地域がん診療連携拠点病院として、質の高いがん治療を提供するとともに、地域医療関係者を対象とした緩和ケア研修会や地域連携バスの整備により、地域医療機関と連携し、がん診療に取り組んでいる。その結果、市内の7.6%の患者を受け入れているが、横浜市のがん診療体制は地域がん診療連携拠点病院のみならず、地域中核病院等もその役割を担っており、それぞれの病院の特性により機能分担が図られていることがDPC調査から推察できる。市民病院については、血液がんが市内最大シェアとなっているほか、呼吸器や消化器のがんのシェアが高くなっている。（資料13）

消化器のがんについては、特に大腸がんが神奈川県内においても2番目のシェアとなっているほか、胃がんの内視鏡治療などについても高いシェアとなっている。（資料14）

血液がんについては日本骨髄バンク認定施設、臍帯血バンク認定施設となっており、造血幹細胞移植を積極的に推進している。（資料15）

横浜市内のDPC病院における疾患別取扱件数（悪性腫瘍合計）（資料13抜粋）

平成21年7月～12月 退院患者

地域中核病院等	患者数(人)	割合(%)
横浜市立市民病院	1,674	7.6
横浜市立みなと赤十字病院	1,041	4.7
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	1,823	8.3
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	1,719	7.8
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	649	3.0
昭和大学横浜市北部病院	2,048	9.3
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	660	3.0
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	1,611	7.3
恩賜財団済生会横浜市南部病院	894	4.1
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	1,082	4.9
神奈川県立がんセンター	2,994	13.6
その他病院	5,778	26.3
合 計	21,973	100.0

(イ) 脳卒中

市内DPC病院の脳血管疾患患者の5.1%を受け入れ(資料16)、救急に関しては、脳血管疾患救急医療体制参加医療機関となり、神経疾患の救急患者の6.8%を受け入れた(資料12)。また、救命救急センターとCCUを併設しているため、心筋梗塞等との合併症対応も可能となっているなど、その役割は大きいと認識している。

なお、脳血管医療センターにおいては、DPC病院受入総数に対し、約16%の患者の受入を行っている。

横浜市内のDPC病院における疾患別取扱件数 (資料16 抜粋)

脳血管疾患

(単位:人)

	平成21年 7月～12月 退院患者		平成20年 7月～12月 退院患者		増減	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	増減率
横浜市立市民病院	158	5.1%	130	4.4%	28	21.5%
横浜市内DPC病院計	3,116	100%	2,969	100%	147	5.0%

出典:診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会資料より抜粋した。

脳血管医療センター	494	15.9%	474	16.0%	20	4.2%
-----------	-----	-------	-----	-------	----	------

同時期の退院患者数を集計

(ウ) 急性心筋梗塞

心疾患救急医療体制の参加医療機関となり、24時間体制で循環器疾患救急に対応している。循環器疾患全般では横浜市内のDPC病院のうち市民病院が占める割合は3.6%となっているが(資料9)、急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞では5.7%(資料17)となり、また、循環器系疾患の救急車による搬送数では7.2%となっている(資料12)。さらに、CCUについて市内43床のうちの4床を有していることから、心疾患救急において、その役割は大きいものと認識している。

横浜市内のDPC病院における疾患別取扱件数 (資料17 抜粋)

急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞

(単位:人)

	平成21年 7月～12月 退院患者		平成20年 7月～12月 退院患者		増減	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	増減率
横浜市立市民病院	32	5.7%	28	5.4%	4	14.3%
横浜市内DPC病院計	562	100%	516	100%	46	8.9%

(エ) 糖尿病

糖尿病は、心疾患、脳血管疾患、悪性腫瘍など、生活習慣が発症原因に深く関与していると考えられる生活習慣病の一疾患の位置づけで、高血糖の遷延により、網膜症、腎症、さらに、心筋梗塞、脳梗塞などの動脈硬化によるものなど、生命予後不良の多くの臓器障害をも引き起こす。治療は血糖のコントロールと並行して合併症の治療を行っており、当院は地域周産期母子医療センターが設置されていることから、産婦人科と連携し、妊娠糖尿病の治療や管理を行う役割も担っている。

また、糖尿病は、適切な食習慣、適度な運動習慣により予防可能であるため、管理栄養士と連携し、市民公開講座などによる予防啓発活動を実施している。

ウ その他

(ア) 地域連携

平成18年9月に地域医療支援病院としての承認を受け、急性期医療の紹介患者への医療提供や救急医療の提供等の地域完結型医療を提供している。周辺医療機関との連携を強化し、患者紹介及び逆紹介を推進し、PET-CT、MRIなどの高度医療機器の共同利用や地域連携パスの促進を図っている。

平成21年度 患者紹介率・逆紹介率

紹介率	76.4%
逆紹介率	52.0%

$$\begin{aligned} \text{紹介率} &= \frac{\text{紹介患者数【文書・初診のみ】} + \text{緊急入院した救急患者数【初診のみ】}}{\text{初診患者数} - (\text{時間外患者数【初診のみ】} - \text{時間外緊急入院患者【初診のみ】})} \\ \text{逆紹介率} &= \frac{\text{逆紹介数}}{\text{初診患者数} - (\text{時間外患者数【初診のみ】} - \text{時間外緊急入院患者【初診のみ】})} \end{aligned}$$

(イ) 人材育成

臨床研修指定病院として、年間40人以上の臨床研修医を受け入れ、充実した研修のプログラムを提供している。その結果、医師研修マッチング※において、市民病院に対する第1志望者数は、市中病院（大学病院を除く病院）のうち、平成21年度は全国第3位、平成22年度は第5位となった。

また、看護学生などの実習受け入れや、救急救命士の教育研修などを推進し、地域の医療人材の育成に努めている。

※研修希望者と研修プログラム（研修病院）とを効率かつ透明性を確保して、組み合わせるためのシステム。

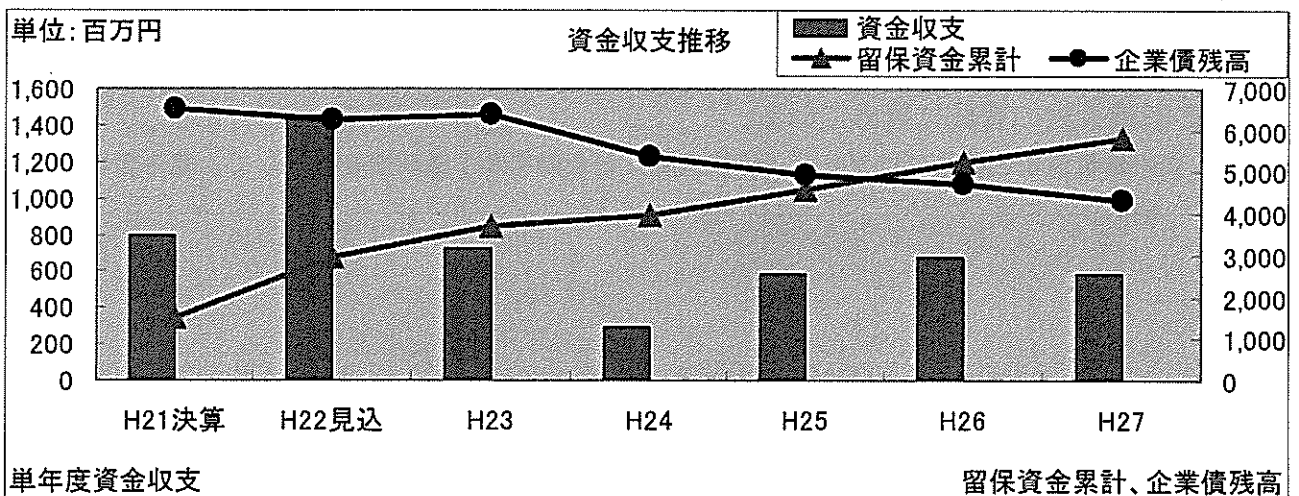
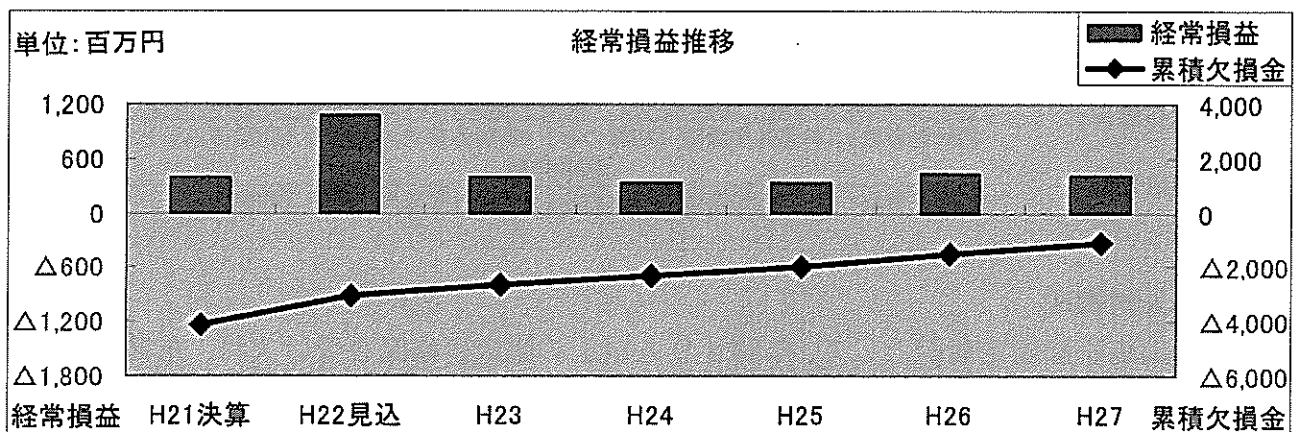
(7) 収支試算（資料18）

平成17年度の地方公営企業法全部適用以降は、経営努力により平成20年度を除き経常利益が生じている。平成21年度決算は約4億円の経常利益を生み、また、平成22年度も診療報酬改定の影響もあり、約10億円の経常利益が見込まれる。

平成23年度以降について、医師の増員等による給与費の増加が見込まれるが、現在の診療報酬体系が継続するとの一定の条件で試算した場合、各年3～4億円の経常利益が見込まれ、平成27年度では累積欠損金が約11億円まで改善されることが見込まれる。

また、資金収支については、収益的収支から年間に約10億円のキャッシュフローを生み出し、留保資金※累計は平成26年度に約54億円となり、企業債残高47億円を上回り、事実上の負債が解消される見込みとなる。

※留保資金：年度末の【流動資産－流動負債－（脳血管医療センター預託金）】



3 市民病院の役割

横浜市の中で市民病院がこれまで担ってきた役割や、公立病院として求められる機能等から、今後の市民病院として担うべき役割を以下のとおりと考え、引き続きその役割を果たすとともに、必要に応じ機能の拡充を図る。

(1) 政策的医療への取組

市民から高い要望があるが、その供給が不足している周産期医療や救急医療に積極的に取り組むとともに、災害や感染症等不測の事態への対応のため備えなければならない危機管理に対しての中心的な担い手となる。

(2) 高度急性期医療の提供

地域の中核となる急性期病院として、高度急性期医療を安定的に提供するとともに、地域の医療機関との連携及び機能分担することにより、地域医療体制を構築する。

(3) 地域医療の質向上

市民や地域医療機関を対象とした予防啓発活動のほか、医療に関する安全管理の取り組みにかかる情報発信や、患者視点を尊重した医療を提供することなどにより、地域医療全体の質向上を図る。

(4) 医療政策機能への寄与

中核規模の病院を直接運営することにより、診療の現場でしか得ることが出来ない患者動向、診療、医療安全等の情報や課題を医療政策部門に提供し、実情に即した医療政策の立案に寄与する。

4 市民病院将来構想

前記の市民病院の役割を果たしていくため、現状課題への対応や更なる診療機能向上のために、将来に向けて市民病院において必要な診療機能等について考察した。

(1) 必要病床規模

市民病院の将来に向けた病床数の考え方については、患者数の増加が見込まれる一方で、急性期医療の提供体制に大きな増加は見込まれないため、平均在院日数を縮減していくことが求められることとなる。

実患者数については、厚生労働省による患者調査における年齢階層別及び疾患別退院患者数を基に年齢階層別人口推移予測の増加率を乗じ推計を行った。横浜市における平成42年の推計退院患者数は平成20年に対し33%増加となった。同様に、市民病院の平成21年度の疾患別患者数から横浜市の人口推移予測の増加率を乗じ推計を行った結果、全市に比べ高齢者層の比率が低いため、平成21年に対し25%の増加となった。(資料19、20)

また、平均在院日数については、地域医療支援病院の在院日数が年1.35%縮減※していることから、市民病院の平成21年度の平均在院日数から毎年、当該率により縮減していくものと想定した。(資料21)

平成22年度以降の1日平均患者数については、平成34年度頃までは現在と同水準で推移し、その後は在院日数の縮減により平成42年度には505人程度となることが想定される。この推計結果から、将来の病床数について、現在の病床数650床(一般病床624床)と同程度を基本とすることとする。

※平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会資料より

(2) 政策的医療への取り組み

ア 救急医療

(ア) 現状及び課題

横浜市においては、救急車による救急搬送患者数は減少傾向にあったものの、平成21年には増加し(資料22)、市民からのニーズも高まっている(資料24)。一方で、救急車による患者搬送時間が延びており、特に救急隊の医療機関照会回数及び現場到着から搬送開始までの時間が増えている。そのような中で、新たな二次救急医療体制を構築し、平成22年4月1日から運用している。市内18病院を二次救急拠点病院(AとB)に位置づけ、二次救急拠点病院Aが比較的重症度の高い患者を中心に受け入れるなど機能分担が行われており、市民病院は二次救急拠点病院Aに指定されている。(資料23)

市民病院においては、平成22年4月からの救命救急センター運用開始を契機に救急車受入要請が増加しているが、重症患者の割合が増加し、病床満床により受入を断らざるを得ないケースが増加している。

救命救急センターにおいては病床不足のほか、診療機能の向上のため血管造影撮影装置等の検査機器の充実や家族控室の不足などの課題がある。

救急車受入（不能）件数

	21 年度	20 年度	増△減	(参考) 22 年度 上半期
救急車受入件数	(564 件) 6,779 件	(613 件) 7,358 件	(△49 件) △579 件	(558 件) 3,345 件
うち入院患者数	(203 件) 2,432 件	(195 件) 2,345 件	(8 件) 87 件	(233 件) 1,340 件
受入不能件数	(63 件) 754 件	(65 件) 784 件	(△2 件) △30 件	(104 件) 626 件
受入不能率	10.0%	9.6%	0.4p	15.8%

※上段（ ）内は月平均

(イ) 診療機能向上の目標

市民が安心して救急医療を受けられるよう、「断らない救急」を目指し、救命救急センターの充実を図る。

- ・病床（ICU※・HCU※）の増床（他の市内救命救急センターと同規模）
※施設基準上は救命救急入院料
- ・機能的な救命救急センターとしての設計（救急外来と手術室の一体化若しくは専用動線の確保等）
- ・付添者待合スペース等の確保（大規模災害時には診察スペース等として活用）

イ 周産期医療

(ア) 現状及び課題

平成20年度における、市内の出生数に対して市内分娩取扱施設における分娩件数は4,329件下回っており、産科病床不足の状態が続いている。

一方で、市内の分娩施設数は減少しており、1施設あたりの分娩件数は増加し、分娩施設が集約化されている傾向がある。（資料25）

また、出産年齢が高年齢化し、これに伴い低体重児の割合が増加している（資料26）。しかしながら、横浜市におけるNICU数は10床程度不足している状況にあり、その確保が求められている。（資料27）

横浜市では中期4か年計画の中で、周産期医療の充実を目指し、産科拠点病院を市内に3か所整備することを主な事業として掲げている。

市民病院においては、産婦人科医の増員により分娩件数の増加を図っているが、分娩台が2台しかないため、産婦の入替を早急に行わなくてはならない厳しい運用となっている状況のほか、分娩室や陣痛室が狭く、個室も1室しかないなどの課題がある。

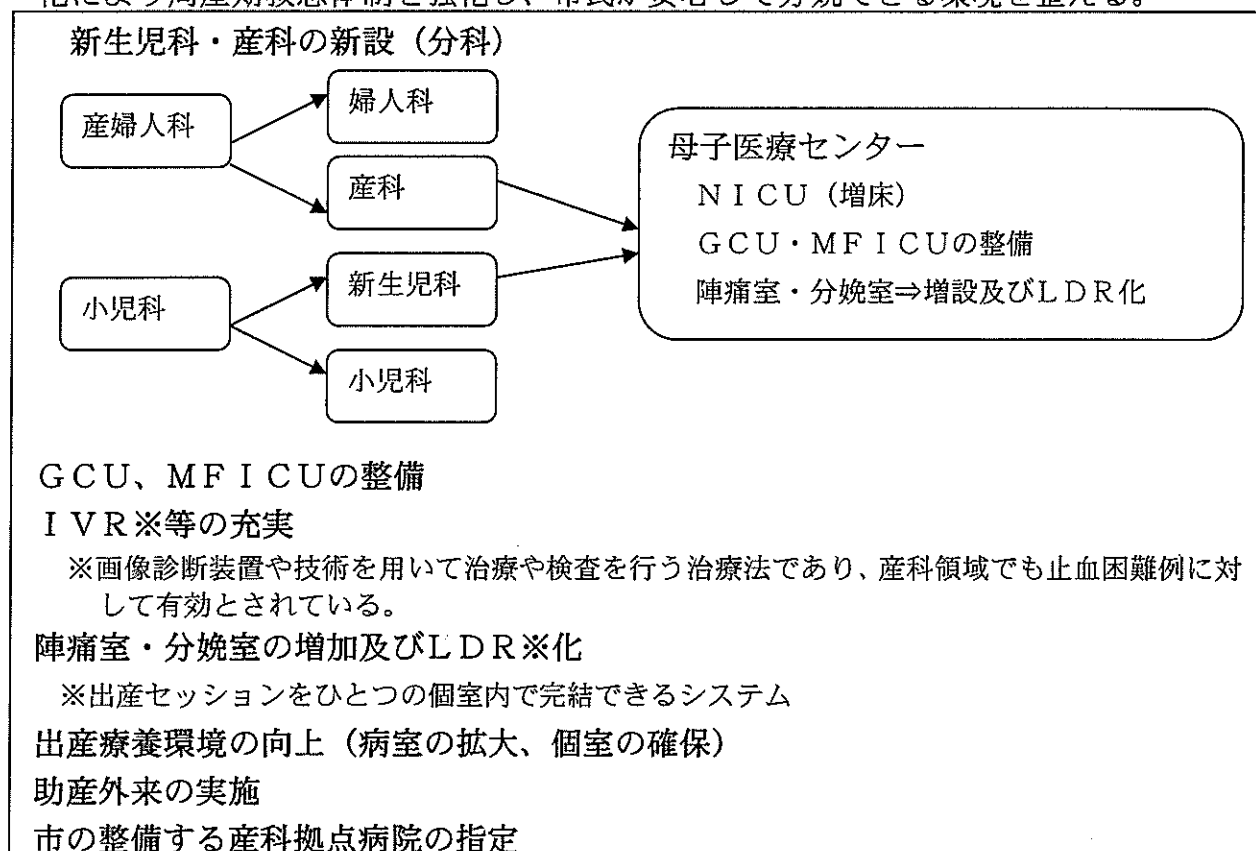
また、新生児室でモニター管理等が必要な新生児の増加や、切迫早産、妊娠高血圧症候群などの管理入院の増加に対応するため、GCU、MFICU※の設置の必要性も高まっている。

※GCU（新生児治療回復室）：NICUで治療を受け、低出生体重から脱した新生児、状態が安定してきた新生児などが引き続きケアを受ける病室。

MFICU（母体胎児集中治療室）：ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備と医療スタッフを備えた集中治療室の略称。

(イ) 診療機能向上の目標

分娩件数の増加を図るとともに、総合周産期母子医療センターと同水準の高度機能化により周産期救急体制を強化し、市民が安心して分娩できる環境を整える。



ウ 小児医療（含む小児救急）

(ア) 現状及び課題

横浜市における救急搬送患者数は減少傾向にあったが、平成21年は大きく増加している。そのなかでも、特に小児救急が大きく増加しており（資料22）、市民からのニーズも高まっている。一方で、日当直業務の負担等から小児科医の不足を招き、そのことが、労働環境の更なる過重化につながるという悪循環が生じている。そのような中、休日急患診療所・夜間急病センターで初期救急を、市内7か所の小児救急拠点病院と小児科病院群輪番制により二次救急を、救命救急センター及び周産期母子医療センターで三次救急を担う体制を整備し、小児救急医療体制の強化を図っている。

市民病院においては、新生児救急受け入れ拡充のための、NICUの増床、GCUの設置が求められる。

(イ) 診療機能向上の目標

救命救急センター及び母子医療センターの機能向上により、小児救急医療の受け入れ体制の強化を図る。

- ・ 新生児科新設
- ・ NICUの増床、GCUの設置

エ 災害医療

(ア) 現状及び課題

地震・台風及び大規模な電車事故等により市内で多数の負傷者が発生した場合に備えて、横浜市防災計画のなかで災害時医療提供体制が定められている。(資料28) 災害発生時には、災害医療拠点病院が患者の受け入れや、災害現場に医療救護班の派遣を行う。

市民病院も災害医療拠点病院として指定されているため、災害派遣医療チーム※の設置を検討していく必要がある。

※災害派遣医療チーム(通称DMAT)とは医師、看護師、業務調整員(救急救命士、薬剤師、事務員等)で構成され、大規模災害や事故などの現場に急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

(イ) 診療機能向上の目標

横浜市のキーステーションである横浜駅付近に位置する災害医療拠点病院として、地震等の自然災害はもとより、炭疽菌等の生物災害にも備える体制を整える。また、大規模な国際会議やイベント等への医療提供なども率先して実施する。

- ・DMATの認定
- ・災害時等の共用スペースの処置室、病室への転用及び多人数収容スペースの確保
- ・災害時の緊急車両等の受入動線の確保
- ・十分な食糧・薬剤等の備蓄(病棟パントリー等)
- ・免震構造や制震構造の導入

オ 感染症医療

(ア) 現状及び課題

横浜港のハブポート化、羽田空港の国際ハブ空港化などにより、さらに横浜の国際化が進展することが予想される。一方で、国際化の進展に伴い、海外からの新興・再興感染症のリスク増加が予想される。

市民病院は神奈川県唯一の第一種感染症指定医療機関、横浜市内唯一の第二種感染症指定医療機関としての機能を果たしてきたが、引き続き、広範囲にわたる感染症への対応や、平成21年に発生したようなインフルエンザのパンデミックへの対応などが求められる。

(イ) 診療機能向上の目標

国立感染症研究所感染症情報センター、横浜市衛生研究所などの専門機関や保健所等との連携を強化し、感染症医療の充実を図り、新型インフルエンザなどの新興・再興感染症への対応を強化する。

- ・新興・再興感染症に備えた情報の迅速把握のための関係機関との連携強化
- ・感染対策上安全なシステムづくり
(携帯端末の導入による感染対策、外来入口の複数化、安全な空調形成等)
- ・地域医療機関向けの研修等による、情報の共有や人材育成の推進
- ・抗菌薬使用の最適化に関する研究推進

(3) 高度急性期医療の提供

横浜市の高齢化に伴い患者数の増加が予想される（資料3、4）。その中でも特に、いわゆる4疾病といわれる、「がん」、「脳卒中」、「急性心筋梗塞」、「糖尿病」は高齢患者が多く、特に大きな増加が予想される。こうした状況に対し、それぞれ求められる医療機能を明確にした上で、医療機関が機能を分担及び連携することにより医療提供体制を構築する必要がある。市民病院においては、地域の中核的医療機関として、放射線機器等を用いた高度な医療技術による治療を提供するとともに、地域医療機関との連携などにより、地域医療体制の構築を行う。

ア 悪性新生物（がん）

(ア) 現状及び課題

現在の日本人の死亡原因の1位であるがんについては、国立がん研究センターの統計データが都道府県・男女・年齢階層・疾患別にあり、そこから横浜市のがん罹患数が推計できる。

全部位合計で、平成22年16,552人に対し、平成42年には23,687人と43%の増加が推計される。また、部位別でみると、大腸がんが平成22年で3,061人、平成42年で4,426人と第1位となっているが、肺がんの割合が59%と5大がんの中では一番高い増加率が見込まれる。（資料29、30）

横浜市内のがん診療体制は、都道府県がん診療連携拠点病院である県立がんセンターと市民病院を含む3つの地域がん診療連携拠点病院以外にも、地域中核病院等も重要な役割を担っている。DPC調査結果より、各病院がそれぞれの機能により疾患別に機能が分担されていることが推察される。

市民病院においては、肺がん、直腸肛門がん、胆嚢・肝外胆管がん、腎腫瘍、前立腺がん、血液がんの患者について、市内シェアが高く（資料13）、その中でも、肺がんや肝臓がんは罹患率からの推計で大きな増加が見込まれる。

血液がんに関しては、造血幹細胞移植を積極的に実施している病院として、輸血部門の独立などによる輸血業務の機能を充実や、院内感染予防の強化が求められている。

今後のがん診療については、高齢者等に対する低侵襲性治療の充実が求められるが、外来化学療法室については、ほぼ満床の状況で使用されており（資料31）、診療スペースやリカバリースペース等が整備されていないといった課題がある。また、放射線治療については、DPC調査でも0.7%と他院に比べて低くなっており（資料11）、実施拡充が求められている。

がん検診については、個別医療機関による検診が広まってきており（資料32）、当院のがん検診センターにおいて、個別医療機関としての役割も担っているが、これまで担ってきた集団検診機関としての役割は全うしたものと考えられ、今後のあり方について検討が必要とされている。

(イ) 診療機能向上の目標

がん治療の質向上や、高齢者等に対する低侵襲性治療の充実、患者さんのQOL向上を目指し、放射線治療や外来化学療法等を拡充することなどにより、緩和ケアまで一貫したがん診療体制の推進を図る。

また、地域がん診療連携拠点病院として、がん地域連携パスの整備充実や、緩和ケア研修会など地域の医療機関を対象とした研修会等を推進する。

なお、がん検診センターについては、独自メニューや1日で多種のがん検診が実施できる体制等の特徴的な機能を有しており、また、肺がん検診の精度管理や地域医療機関に対する研修等の先導的な役割に関しては代替機関が存在していないという状況があり、こうした状況を勘案し、政策的要請等を踏まえて検討を行っていく。

※独自メニュー：前立腺、喉頭、肝・胆・膵、肺（ヘリカルCT撮影＋喀痰細胞診）、婦人科超音波、PET-CT検診

・放射線治療の充実（高精度放射線治療※の拡充等）

※高精度放射線治療：強度変調放射線治療【IMRT】（専用のコンピュータを用いて、複数のビームを組み合わせることで放射線に強弱をつけ、腫瘍の形に適した放射線治療を行う新しい照射方法）や定位放射線治療（病巣に対し多方向から放射線を集中させる方法。通常の放射線治療に比較し周囲の正常組織の線量を極力減少させることが可能）等

・外来化学療法室の充実

（増床、診察スペース、リカバリーベット、ミキシングスペース等）

- ・先進医療・高度医療への取組（腹腔鏡、胸腔鏡下手術の拡充、遺伝子検査）
- ・臓器別・疾患別センター化による集学的治療の推進
- ・輸血細胞治療部（仮称）の設置
- ・無菌室の独立ユニット化

イ 脳卒中

（ア）現状及び課題

横浜市における脳血管疾患による死亡者数は、年間2千人を超え、死亡原因の第3位となっているほか、要介護となる方の多くは、脳血管疾患を原因としている。前記の横浜市内の脳血管疾患の入院患者推計では、高齢化により64%以上の増加が予想される。（資料5）

脳血管疾患については、急性期に治療を適切に行うことで日常生活動作（ADL）の向上など予後に大きな改善を与えることが明らかであるため、脳血管疾患患者が速やかに適切な医療機能のある救急医療機関で治療を受けることが重要となる。そのため、横浜市では、市民病院や脳血管医療センターを含む31の医療機関からなる脳血管疾患救急医療体制を整備し、より迅速に医療機関への搬送することとしている。

市民病院においては、受入体制の強化を図っているが、受け入れた患者に対するリハビリテーション治療の充実が求められている。

（イ）診療機能向上の目標

チーム医療の実践により救急患者の受入・診療体制を強化していくとともに、社会・家庭復帰に向けた急性期リハビリテーションの更なる強化を図る。また、地域によるシームレスな（継ぎ目の無い）診療体制の推進を図る。

- ・SCU（脳卒中集中治療室）の整備
- ・リハビリのスペース拡充等による充実
- ・近隣の回復リハビリテーション病院等と連携強化による地域医療体制の構築

ウ 急性心筋梗塞

(ア) 現状及び課題

横浜市においても心疾患は死亡原因第2位となっており、死亡者数は年間3千人を超えている。前記の横浜市内の入院患者推計では、高齢化により約60%の増加が予想される。(資料5)

横浜市では、脳血管疾患と同様に市民病院を含む22の医療機関からなる急性心疾患救急医療体制を整備し、心疾患の救急患者に対応している。

市民病院においては、急性心筋梗塞に関し、施設の狭あい等により心大血管疾患リハビリテーションに対応できていないなどの課題がある。

(イ) 診療機能向上の目標

CCUを整備した救命救急センターとして、急性心筋梗塞の救急患者受け入れ体制の充実を図るとともに、長期予後の改善のため、急性期リハビリテーションの充実を図る。

- ・血管造影撮影装置の複数整備
- ・心大血管疾患リハビリテーションへの対応
- ・心臓疾患の早期発見に向けて検診業務等(PWV又はCAVI/ABI検査※等)

※PWV又はCAVI/ABI検査

手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べることで、動脈硬化の程度を数値として表す検査。この検査を行うことにより動脈硬化(血管の老化など)の度合や早期血管障害を検出することがでる。

エ 糖尿病

(ア) 現状及び課題

厚生労働省の調査において、全国の糖尿病が強く疑われる人は、平成19年で約890万人と平成9年の約690万人と比べて、約30%の増加となっている。また、糖尿病を否定できない人も含めた場合、平成19年で約2,210万人と平成9年の約1,370万人と比較し、約60%の増加となっている。更に年齢分布では10年くらい前は40歳代から目立った増加であったものが、平成19年には30歳代からと低年齢化の傾向もある。(資料33)

このような状況から、糖尿病をはじめとする生活習慣病は今後ますますクローズアップされる可能性が高く、増加する糖尿病患者に対して専門医のみでの診療は困難であり、近隣の医療機関との病診連携の体制作りや、合併症に対する眼科、腎臓内科、循環器内科などとの連携による診療体制の強化が必要である。

また、市民病院は地域周産期母子医療センターが設置されており、妊娠糖尿病の治療や管理の役割も担っているが、今後の患者数の増加も見込まれることから、診療体制を強化し、生活スタイルを中心にした予防にも今まで以上に傾注することが必要である。

(イ) 診療機能向上の目標

保健所や他の医療機関との協力及び機能分担を図り、糖尿病教室を推進する。また、糖尿病のみならず、生活習慣病全般の更なる予防意識を高めるという内容で、医療分野と異なる企業や教育現場等との協働も視野に入れ、生活習慣病全般を対象にした予

防啓発活動を行う。

また、地域周産期母子医療センターを設置する病院として、妊娠糖尿病等の合併症の治療や管理等の充実を図る。

- ・ 糖尿病療養指導士の育成等による医療スタッフの充実
- ・ 外来インスリン導入（在宅自己注射指導スペースの確保等）
- ・ 糖尿病等生活習慣病指導教室の推進
（管理栄養士や薬剤師等との連携、企業等との協働）
- ・ 健康教室スペースの確保
- ・ 院内食堂との協働による生活習慣病予防メニューの提供

（４）地域医療の質向上

ア 地域医療支援病院の機能強化

地域医療支援病院として、近隣の診療所や回復期リハビリテーション病院等との連携を強化し、積極的に紹介患者の受け入れや逆紹介を行い、地域完結型医療の促進を図る。

また、地域医療の質向上のため安全管理や感染対策等について当院の職員はもとより地域医療機関を対象とした研修を充実させていく必要がある。

- ・ 相談機能の充実
- ・ 医療機器の共同利用推進
- ・ 地域と連携した栄養指導などによる新たな協力体制の構築
- ・ 大人数収容可能で、医療機器の操作研修等ができる研修室の整備

イ 積極的な情報提供

情報社会の進展により、医療活動に関する内容の公表について要望が高まりつつある。

市民病院においては、クリニカルインディケーター※を用いて医療活動の内容を自己評価し公表していくことにより、自院および地域医療の質向上に資するものとする。

※医療の質に関する評価指標。実際に行われている医療の経過や結果の意義有る項目を指標として設定。その指標により、その病院で行われている医療の質を評価しようとするもの。

（５）病院運営体制等

ア 疾患別・臓器別センター

がん治療においては、手術・化学療法・放射線治療といった治療法を駆使した集学的治療が主流となっている。また、その他の疾患においても、診療科・診療部を横断的に統合し有機的に連携した職種横断的なチーム医療の実践が必須となっている。そのため、複数の診療科・職種が一体となった診療体制を構築し、診断、治療、看護に至るまで一貫した医療の提供を行う、疾患別・臓器別センターを開設する。

- ・ 疾患別・臓器別センターの開設
（消化器センター、炎症性腸疾患センター、循環器センター、脳疾患センター、呼吸器センター等）

イ 研修機能の充実

進化し続ける医療技術に対応し質の高い医療を提供していくため、病院において研修機能は非常に重要となっている。市民病院は臨床研修指定病院であり、充実したプログラムの提供はもちろん、職員図書室等の研修施設の充実も求められる。また、看護師等が病院を選ぶ上で、充実した研修体制も大きな要素となっており、職員確保に関しても研修機能の充実が必要となっている。

・ シミュレーションセンター※の設置

※点滴・採血の訓練から心肺停止患者の救命処置や外科手術などの訓練機器が配置されたトレーニング施設

- ・ 医療機器の操作研修等も可能な医療ガス・給排水設備を備えた研修室の整備
- ・ 職員図書室の充実

ウ 臨床研究の推進

がん診療における化学療法の進歩や治療標準化が進められ、また、ドラッグ・ラグ、デバイス・ラグ※が課題とされている中で、治験の役割は大きくなっている。

市民病院において治験などの臨床研究を推進することで、最新の医療へのアクセスによる自院の医療機能の向上を図るとともに、横浜市のみならず日本の医療全体の進歩へ貢献していく。

※欧米で承認されている医薬品又は医療機器が我が国では未承認であって国民に提供されない状態。

・ 臨床試験支援室の充実

エ 情報化の推進

市民病院においては、電子カルテを中心とした医療情報システムを平成20年1月より稼動させており、医療従事者間の情報共有やインフォームドコンセント、患者の安全管理など、医療の質の向上に寄与してきた。

今後は、地域医療支援病院として、蓄積された診療データ・画像データ等を地域の医療機関と共有するなど、国レベルでの動向も踏まえ、ICT※の活用・推進を図っていく。

※Information and Communications Technology の略。情報・通信に関する技術のことで、従来から使われてきた「IT」と同様の意味で用いられるが、IT の概念の広がりにより「IT」に替わってこちらが用いられるようになっている。

5 老朽化・狭あい化対策

平成21年に行われた建築物点検結果において、総じて劣化が進んでおり、南、東、西病棟で屋上、バルコニーの劣化が顕著であり、南病棟は外壁劣化の詳細調査、内部の給食部門の修繕が必要とされている。旧活性汚泥槽も劣化、雨漏りが進行しており、今後の対策が必要とされている。比較的建築年数の浅い西病棟においても、外壁のタイル剥離やひび割れ、内壁のひび割れ、天井からの漏水が報告されるなど、老朽化による影響が散見されるようになっている。（資料34）

一方で、近年の医療機能の変化に対応していくため、大型医療機器の増加や外来化学療法室等新機能の追加、医療従事者の増員が実施され、その結果として狭あい化や電気容量などが深刻な問題となっている。各部門における、現状課題及び将来的に必要な機能について、以下の通りと考える。

（1）診療部門

ア 病棟

（ア）現状及び課題

急性期病院として機能していくため、手術件数や重症患者が増加し、リカバリーベットが不足している。また、ICUについては、増床した影響もあり、透析機器等の配置が困難な状況となっている。さらに、面談室や作業スペースが不足している。

（イ）施設機能向上の目標

入院患者にとっての療養環境の改善を図るとともに、ベットサイドの拡充等により、診療しやすい環境を構築する。

- ・ 1床あたりの面積拡大：療養環境加算算定条件8㎡/床以上
- ・ ICUの拡大（透析機器、人工呼吸器等の配置スペース確保）
- ・ リカバリーベットの確保
- ・ 面談室、カンファレンスルーム、仮眠室、事務スペース等の確保
- ・ 各室にトイレを設置、スタッフ専用トイレの確保
- ・ サテライトファーマシー（病棟等における薬剤師業務スペース）の設置
- ・ セキュリティの強化

イ 外来

（ア）現状及び課題

高齢化に伴い、車椅子の患者さんが増加しているが、中待合等が車椅子の通行に十分な広さの確保ができておらず、また、診療面についても、処置室が十分に確保されていないこと、外来化学療法室の病床数や機能不足などの課題がある。

また、診察室の間仕切りが簡易なものとなっており防音が不十分な部分がある。

（イ）施設機能向上の目標

外来患者についても増加が予想されるが（資料7）、地域の医療機関との連携を促進し、入院患者の2倍程度の現状水準を維持する。しかしながら、現在外来診療機能

は限界をきたしており、診療の効率化を図る。

- ・一般診察室：10ブース単位の共用診察室
- ・診療スペースの拡大
- ・診療補助作業員の充実
- ・職員動線と患者動線の分離
- ・中央処置室の設置
- ・外来化学療法室の拡充（増床、診察・リハビリスペースの確保）
- ・受付、会計等の効率化（自動精算機等）

ウ 手術部門

（ア）現状及び課題

急性期病院としての機能を充実していくため、手術件数の増加及び手術の高度化を図っているが、手術室数の不足や機器を配置するとスタッフの動くスペースが確保できないことなどが課題として挙げられている。この状況に対し、運営効率化のためコンテナ化が求められているが、コンテナ化に必要な保管スペースも確保できない。また、出入口が一つであり、清潔・非清潔の動線が交錯していることや、面談室、準備室等が不足なども課題として挙げられている。

なお、平成13年以降に竣工した病院に対する調査結果※では手術室1室あたり平均面積が190.1㎡であるのに対し、市民病院は108.4㎡であり、半分程度となっている。

※（社）日本医療福祉建築協会「病院の部門別面積に関する研究報告書」

（イ）施設機能向上の目標

在院日数短縮に伴う新入院患者数の増加や腹腔鏡下手術等の患者への負担が低い低侵襲性かつ高度な手術の需要が増加することにより、さらに手術件数の増加及び長時間化することが予想されるため、手術室の増加を図る。また、手術の高度化に伴い、各種機器の配置を可能とするため、1室あたりの面積を拡大し、基本的には全科共用とするが、半数程度は特殊性の高い診療科に合せた構造とする。そのほか、周辺施設についても充実を図る。

- ・手術室拡充（通常手術室12室＋緊急用等3室程度、8m×8m/室程度）
- ・リハビリルームの確保
- ・清潔、非清潔動線の分離
- ・中央滅菌部門の効率的配置（隣接）
- ・医療器材庫、薬剤保管等の確保
- ・コンテナ化への対応可能なスペースの確保
- ・患者家族待機室、カンファレンス室等スタッフスペースの確保

エ 画像診断・放射線治療部門

（ア）現状及び課題

放射線検査機器は、医療技術の高度化に伴い、その需要が高まり、急性期医療を担

う病院にとっては不可欠なものとなっている。しかしながら、増加する需要に対し、CTやMRIについて、検査までの待ち期間が約1か月となる場合もある。また、放射線治療についても、がん診療を推進していく中でその需要が高まっているが、充分に対応できていない状況にある。さらには、機器の増設に対して、スペースの確保や電源容量の不足等が課題となっている。

(イ) 施設機能向上の目標

がん診療などを推進していく上で、診療の精度向上のための画像診断や放射線治療による低侵襲性治療などの役割は、さらに大きくなっている。このような状況に対し、機器増設等の拡充を図る。また、小線源治療についての導入も検討する。

なお、放射線機器については、技術進歩が早く、また、更新には大掛かりな設置工事が必要となるため、増設や更新等に柔軟に対応できるような配置計画を策定する。

- ・ 高度検査機器（MRI, CT, RI, 血管造影撮影装置）の複数整備
(検査待ちの解消、機器の効率的更新)
- ・ 治療機器の複数整備（2台目は、トモセラピー※やサイバーナイフ※等を検討）
 - ※トモセラピー：エックス線を使った画像撮影装置と放射線照射装置を一体化させた新放射線治療装置
 - ※サイバーナイフ：定位照射に用いられる特殊なリニアック装置
- ・ 画像診断科とIVR診療科の分科
- ・ 機器の更新のためのスペース確保
- ・ 画像サーバー、院内配信システム等のインフラ整備
- ・ 病診連携のオンライン化の検討

オ リハビリテーション部門

(ア) 現状及び課題

脳卒中や急性心筋梗塞等に対して、早期のリハビリテーションの有効性が重視され、その需要が増加しているが、心大血管疾患リハビリテーションについて対応できていない。件数の増加に伴い、多数の患者が訓練室に集中する時間帯は、歩行訓練のコースが十分に確保できなくなるなど、訓練室のみでは対応できず、病棟での治療を行っている現状にある。また、現訓練室は事務室を転用しているため、中央配管が整備されておらず、酸素吸入や吸引が必要な患者さんへのリハビリテーションの実施に際して制限がある。

(イ) 施設機能向上の目標

発症初期からの集中的なリハビリが予後の向上に寄与することが示されていることから、急性期病院においてもその重要性が高まっている。現在施設基準を満たしていない心大血管疾患リハビリテーションの算定や面積拡大・機能充実を図る。

- ・ 機能訓練室の拡大
- ・ 言語機能訓練室の確保
- ・ 早期離床のため、デイルーム等の病棟におけるリハビリテーション

カ 検査部門

(ア) 現状及び課題

がん診療などに対する先駆的な検査の充実や救急医療に24時間体制で対応していくため迅速で恒常的な検査機能の整備が不可欠である。また、輸血療法が積極的に行われており、輸血血液管理部門の独立及び体制の充実が求められている。さらに、第1種感染症指定医療機関として、特色ある検査能力が必要とされる。

(イ) 施設機能向上の目標

高度化した医療に必要とされる先駆的な検査項目への対応能力の強化と、がんや感染症、救急医療に対応した院内検査体制の充実を図る。また、迅速かつ質が高く、さらに、安全な検査環境を構築する。

- ・がん診療体制の強化（遺伝子検査の導入、輸血細胞治療部の設置）
- ・検体搬送システムの検討、検査のオートメーション化、
- ・検体、検査試薬等からばく露防止対策（安全キャビネット、換気設備等）
- ・診療情報（検査記録）の適正な保管と活用

キ 臨床工学部門

(ア) 現状及び課題

昨今の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化・複雑化が一層進んでいる。急性期病院である市民病院においては、これらの医療機器の保有台数が増大化し、機器の安全管理の重要性が高まっている。

(イ) 施設機能向上の目標

院内の医療機器全てについて安全で性能が維持できるように、一元管理及び適切な保守・点検を行い、効率的な運用を行う。

- ・医療機器室の拡充（手術室、ICU等に隣接した医療機器器材庫の設置）
- ・医療機器情報管理室への機能拡充（医療機器安全管理に係る情報の一元化）

ク 薬剤部門

(ア) 現状及び課題

急性期病院の薬剤部門として、薬剤供給のみではなく、化学療法の推進や、薬剤管理指導業務等の薬剤治療業務の重要性が高まっている。また、抗がん剤混合調製等における職員のばく露防止対策や、患者個人毎の医薬品管理を進めるための調剤スペースが十分に確保できていないなどの課題がある。

(イ) 施設機能向上の目標

外来化学療法や薬剤治療業務体制の強化を図るとともに、薬物の供給から適正使用までの、安全で質の高い薬剤供給方法、医薬品管理、薬剤関連情報の収集・分析・提供するため体制を構築する。

- ・化学療法混合調製のばく露防止対策（サテライトファーマシー、換気設備等）
- ・薬剤指導・教育室の設置（外来薬相談、持参薬面談等）
- ・医薬品情報室の機能拡充（資料閲覧場所の確保）
- ・患者個人別医薬品管理体制強化（セット用カート保管場所、ピッキングマシーン導入等）

ケ 栄養部門

（ア）現状及び課題

病院における栄養部門は食事提供に関連した業務が中心となっていたが、平成22年の診療報酬改定で栄養サポートチーム加算が新設されるなど、急性期の入院医療を担う病院における栄養療法に関する重要性が高まっている。さらに、今後増加が予想される生活習慣病に対し、栄養指導による予防啓発活動が重要となる。

また、災害時において、備蓄食糧を効率的に提供する必要があるが、保管場所が十分に確保されていないなどの課題がある。

（イ）施設機能向上の目標

臓器別・疾患別センター化によるチーム医療の推進や、地域医療機関との協力体制の構築により、専門性の高い効果的な栄養療法の推進を目指す。また、災害時の入院患者等に対する食事提供体制の強化を図る。

- ・栄養療法の推進（臓器別・疾患別センター化等）
- ・生活習慣病等の栄養指導の推進（研修室の確保等）
- ・備蓄食糧の適正保管（病棟パントリー等）
- ・災害対応調理システムの導入

コ その他

（ア）現状及び課題

建設の段階で想定されていない昨今の医療需要の変化に対し、暫定的に対応してきたため、中央診療機能の分散化や狭あいが課題となっている。また、さらなる、薬剤指導や腹膜透析外来など更なる医療需要の変化に対応していく必要がある。また、患者さん用と業務用エレベーターが区分できていない。

（イ）施設機能向上の目標

- ・中央診療部門の集中化、効率的配置
- ・腹膜透析外来の設置
- ・予約センターの設置
- ・エレベーター動線の区分（患者搬送、給食、面会者、廃棄物等）

（2）患者アメニティ

ア 病室

（ア）現状及び課題

現在、原則6人室であり、狭あい、プライバシーの配慮等の要望が高い。また、患者家族が待機できる場所が少ない。さらに、特に車イス用のトイレについての不足や

狭あいの問題がある。今後、臓器移植の実施件数が増加し当院でも対応する場合、臓器提供者の親族等の待機スペース等も必要となる。

(イ) 施設機能向上の目標

- ・多床室の4床/室化(←6床/室)及びプライバシー配慮充実
- ・照明・空調の調節機能の向上
- ・トイレの拡大・増設
- ・付添者等の待機場所の充実(待合スペース、キッズスペース、患者図書室等)

イ 駐車場

(ア) 現状及び課題

急性期病院においては、公共交通機関の利用が困難な患者さんが多く、十分な駐車場の確保が求められる。現在は民間の隣接地を借り受けているが、台数的にも充分とは言えず、周辺道路に入庫待ちの列ができている状況である。

(イ) 施設機能向上の目標

駐車場を含めた十分な敷地面積を確保することにより、来院患者の利便性向上を図るとともに、再整備に際し敷地内での建替を可能とする。

(3) 職員利用施設

診療機能向上のため、施設の改築が繰り返されてきたが、その結果、職員利用施設がしわ寄せを受けてきたことは否めず、以下のような課題が発生し、将来的には改善が必要と考える。

ア カンファレンスルーム等

研修医の受入拡大や正規医師の診療機能向上及び負担軽減のため、医師数が増加しているが、臨床指定病院として研修医に対する研修を行うためにも必需機能であるカンファレンスルームが十分に確保されていない。また、病棟における医師や看護師の作業スペースが不足している。

イ 会議室、研修室

医療の質向上のため、院内研修を推進しているが、職員数増加に伴い研修室等を確保することが困難である。また、地域医療支援病院として、地域の医療従事者を含めた研修を推進していく必要があるが、大人数を収容可能な会場を確保することが困難である。

ウ 医局、事務室等

職員数が前回の再整備完了後の平成3年末には759人であったものが、平成21年度末で968人と25%以上増加しており、医局や更衣室等が不足している。特に医事会計事務スペースや、調剤室等の狭あい化の状況は著しい。なお、医師、看護師はさらに増員が必要とされている状況にある。

また、労働環境向上のため職員用の食堂や休憩室等の整備や医局等のIT環境の充実も必要と考える。

6 市民病院再整備の検討

現在の市民病院は市の中心である横浜駅に近接しており、また、地域中核病院によりカバーされているエリアの中央に位置しているため、救急医療や地域医療支援病院として現在地若しくは付近に立地することが重要である。しかしながら、現在の建物は1床あたりの面積は全国平均と比較し8割程度しかなく、現状での医療機能の向上を図ることは望めない。また、現敷地では容積率に余裕はなく、増築はできないため、建替えまたは移転新築により再整備を実施していくことが必要と考えられる。

(1) 建築規模（資料35）

医療の高度化が進むことにより、診療に必要な面積は増加している。一方で最近の病院整備実例からは、機能の集約化を図り施設のコンパクト化の傾向もみられる。診療機能上は延床面積を大きくすることが望ましいが、効率的な病院運営のためには集約化も必要であるため、全国自治体病院の平均面積を目安に延床面積を検討していく。

$$\Rightarrow 78.5 \text{ m}^2/\text{床} \times 650 \text{ 床} = 51,000 \text{ m}^2$$

1床あたり延床面積

市民病院	64.8 m ² /床
地方公営企業年鑑 病床数500床以上の平均値	78.5 m ² /床
横浜市中核病院等	平均値 88.6 m ² /床

(2) 建設地

近隣に移転新築に適した用地は現在のところ見当たらず、また、救急医療を推進していく上で道路アクセス等を勘案すると、現在地で再整備することを第一に考える。

しかしながら、前記のとおり、現敷地における容積率に余裕は無く、増築はできないため、現敷地における建替えには隣接地の取得等による敷地拡大が必要となるが、隣接した未利用地はないため、取得可能性について検討していく必要がある。

(3) 建設費

建設費は病院経営における大きな要素となり、多大な建設費が、病院経営破たんの原因ともなっている。そのため、国立病院機構の病院建築標準仕様である25～30万円/m²を目標に他の事例等を参考に、様々な手法の検討していく。（資料36）

国立病院機構建築標準仕様 30万円/m²×51,000m²=153億円

自治体病院平均建築単価 40万円/m²×51,000m²=204億円

みなと赤十字病院建築単価 52万円/m²×51,000m²=265億円

(4) 建設手法

自治体病院の建築工事単価は一般的に国の統一基準（公共建築工事標準仕様書、公共建築工事積算基準）に準拠して積算される。民間病院等を対象にした、独立行政法人福祉医療機構の標準建築単価が252,500円/m²となっていることなどから、国の統一基準より建物の基本性能に支障を来たさない範囲での基準の緩和、手順の効率化を図り、建築コストの縮減に努めていると考えられる。高額な建築費が、後の病院運営の負担となり経営不振につながるケースが多いため、いかに初期投資を軽減するかが昨今の病院建設の命題となっている。そのため、PFIやVE方式※により建設コスト縮減の手法を検討する必要がある。また、資金調達を自治体で行い、設計・建設・運営を民間

に委託するＤＢＯ方式を採用した、京都市立病院の事例などもある。

※ 横浜市では市が発注する工事及び製造（物品の製造を除く。）の請負について、民間の技術開発を積極的に活用することにより建設工事のコスト縮減を図るため、入札時、契約締結後に、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく、請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更に関する提案を受付ける『入札時ＶＥ方式』及び『契約後ＶＥ方式』を実施している。

（５）再整備後の収支検討（資料３７）

一定の条件のもと、新病院建設後の経営状況について検討を行い、どの程度、病院建替えに耐えられる経営基盤があるか検証を行う（詳細な計画等に基づくものではない）。

なお、建設時期・方法（建設地での建替、移転新築等）等が未定のため、開設年度をＸ年とし、資金が０の状態からの開始とする。（前記の通り、平成２６年度以降負債の解消が見込まれ、それ以降であれば、再整備後に負債を継続されないことが想定できる。）

ア 収益的収入

（ア）入院収益

単価については医師等の増員による医療機能強化や再整備後は特定入院料による単価増を見込み算定（６５，０００円）。患者数については、基本的に病床利用率約９０％とし、再整備後初年度は、移行に伴う、患者数の減（△３０％）を想定する。

（イ）外来収益

患者数、単価ともに現在の水準（１日平均１，２５０人、診療単価１３，０００円）を基本とする（診療報酬改定等は見込まない）。

（ウ）一般会計繰入金

現在の積算方法を基本とし、建設費に係る企業債に対する繰入金等を積算

イ 収益的支出

（ア）人件費

現員数を基本とし、診療機能強化及び特定入院料算定に必要と見込まれる医師・看護師の増加分を上乗せし算定。

（イ）材料費

算定された医業収入額からの現在の対医業収益材料費割合により算定。

（ウ）経費等

現状の水準とする。

（エ）減価償却費

残存価格を５％とし、以下の条件で算定

- ①建築躯体：建築工事費の６割とし、償却年数３９年、定額償却
- ②建築設備：建築工事費の４割とし、償却年数１５年、定額償却
- ③医療機器等：償却年数６年、定額償却

（オ）支払利息等

新規病院事業債の支払利息

ウ 資本的収入

(ア) 企業債

建物建設費：償還年限 30 年（うち 5 年据置）の元利均等償還とし、利率は 2.3% として算定する。

備品購入費：建設初年度については償還年限 5 年（うち 1 年据置）とし利率は 0.97% 以降については満期一括償還とし、利率は 0.97% と設定し算出する。

(イ) 一般会計繰入金

病院建設及び固定資産購入の病院事業債への一般会計からの繰入れは、繰入基準に基づき 1/2 を算定する。

エ 資本的支出

(ア) 建設工事費

国立病院機構の標準建築単価 30 万円/m²を参考に積算（153 億円＝51,000 m² × 30 万円）。建設期間については 2 年間を想定。土地購入費用について、用地の交換等も想定し、増加分（約 5,000 m²）を想定し 10 億円を算定。翌年度以降 10 年間は修繕工事費として 5 千万円、11 年目以降は 1 億円を算定する。

なお、参考に近年の自治体病院平均建設単価 40 万円/m²、みなと赤十字病院建設単価 52 万円/m²による試算も合わせて行った。

(イ) 備品購入費等

建設初年度は 20 億円、翌年度は 5 千万円とし、以降約 10 年間は 5 千万円/年の上乘せし 3 億円まで増加させる。それ以降は、機器の更新が本格化するため、5 千万円/年上乘せし、5 億 5 千万円まで増加させる。

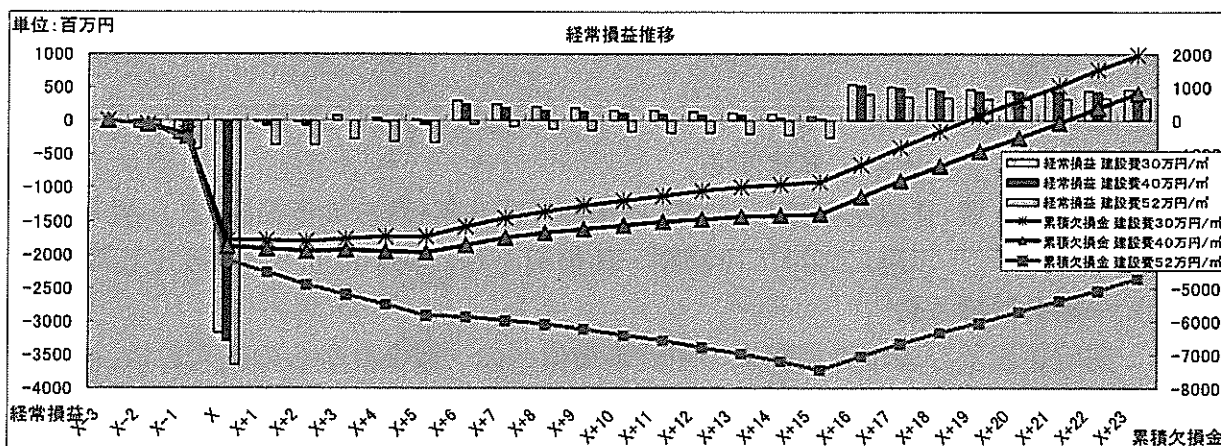
オ 収支

(ア) 損益収支

建設期間の建設利息及び再整備初年度については移行に伴う患者数の減を想定し 30～40 億円の経常損失が想定される。それ以降について、建設費を 30 万円/m²の場合、約 2 年間は初度調弁の減価償却費の負担が大きく経常損失が見込まれるが、開設年度の 3 年後から建設利息負担の軽減が見込まれ、黒字転換が想定される。また、累積欠損についても、19 年後頃に解消される見通しである。

なお、建設費を 40 万円/m²で試算を行った場合、開設年度以降 5 年間は減価償却費の負担により赤字が見込まれ、6 年後から黒字転換が想定され、累積欠損については 22 年後に解消される見通しである。

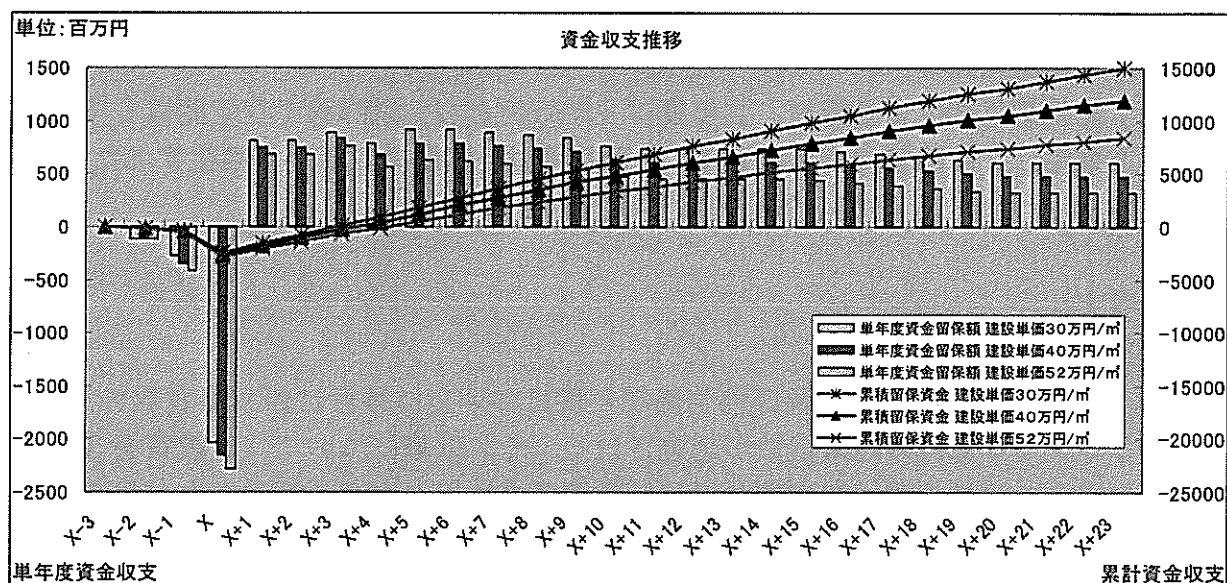
一方で、建設費を 52 万円/m²で試算を行った場合、黒字転換まで 15 年程度かかり、累積欠損については当面解消される見込みがない。



(イ) 資金収支

再整備に当たって資金収支が0からはじまるものと仮定し、資金収支を試算した。

建設費は基本的に企業債を財源とするが、一部対象外となるものがあることや、移行に伴う患者数の減により、単年度資金不足となることが想定されるため(当試算では最大約25億円の資金不足を想定している。)、再整備に際しては、一定の留保資金が必要とされる。しかしながら、再整備後、運営が軌道に乗ることで、5～10億円/年の資金余剰が見込まれる。



(6) 検討課題

ア 建設地・建設方法

早急な建替えが必要と考えるが、現時点では敷地拡大のための隣接地、周辺地域の移転適地も見出せていない状況である。したがって、建設地について、取得費用や立地条件などを勘案し、検討していく必要がある。

また、建設方法についても建設コスト低減に向けて検討していく必要がある。

イ 人員確保

近年、医師・看護師不足の状況にあるが、今回の構想では高度診療機能の向上を目指しており、医師をはじめ、看護師、助産師の人員確保が必須である。そのため、引き続き医療従事者の確保について、積極的に取り組む必要がある。

おわりに

将来構想を策定するにあたり、全職員に対し意見を募集した。職員からの意見から施設の老朽化や近年の機能拡充等により様々なひずみが生じていることを再認識するとともに、さらなる医療機能向上に取り組む必要性を実感した。

患者さんに対し良質な医療の提供及び良好な療養環境を築いていくことが最重要となるが、これを達するに職員にとって働きやすい環境づくりを行い、職員満足度を向上させ、その結果として患者満足度の向上にもつながると考えている。

この将来構想を実現させ、より充実した医療を提供することにより、横浜市民が医療に対する不安を感じることなく、安心して生活できることに資することを目指していく。

横浜市立市民病院 将来構想 資料一覧

資料 1	横浜市中期 4 か年計画【抜粋】	2
資料 2	横浜市中核病院の整備（よこはま保健医療プラン抜粋）	8
資料 3	横浜市将来人口推計 推計結果	9
資料 4	神奈川県疾患別入院受療率	10
資料 5	横浜市 入院患者数の推計	13
資料 6	神奈川県疾患別外来受療率	14
資料 7	横浜市 外来患者数の推計	17
資料 8	横浜市立市民病院周辺及び横浜市中核病院等の主な医療施設の配置状況	19
資料 9	MDC 別・医療機関別件数【市内シェア】（手術なし・あり計）	20
資料 10	横浜市内 DPC 対象病院 施設別 MDC 別比率	22
資料 11	横浜市内 DPC 対象病院 手術、化学療法、放射線療法、救急車搬送、全身麻酔の件数	25
資料 12	横浜市内 DPC 対象病院 救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC 別集計	26
資料 13	横浜市内の DPC 対象病院等における疾患別取扱件数（悪性腫瘍）	28
資料 14	医療機関別 2009 年治療実績（読売新聞記事 抜粋）	42
資料 15	一般社団法人 日本造血細胞移植学会 2008 年に実施された移植の診療科別報告件数（抜粋）	45
資料 16	横浜市内の DPC 対象病院等における疾患別取扱件数（脳血管疾患）	46
資料 17	横浜市内の DPC 対象病院等における疾患別取扱件数（急性心筋梗塞等）	51
資料 18	市民病院 収支実績及び見込み	53
資料 19	厚生労働省 患者調査 （全国推計退院患者数・構成割合、患者住所地退院患者数）	54
資料 20	退院患者数 推計 （H20（H21）横浜市－市民病院、H42 横浜市－市民病院、推移比較）	60
資料 21	地域医療支援病院 平均在院日数・市民病院延患者数推計	65
資料 22	救急車搬送患者数	66
資料 23	横浜市 二次救急医療体制の見直し図	67
資料 24	平成 22 年度横浜市市民意識調査：市政への要望（上位 5 位の経年変化）	68
資料 25	横浜市 分娩取扱施設の状況	69
資料 26	横浜市 出生時の体重別出生児数・母の年齢階級別出産児数	70
資料 27	周産期救急医療体制	71
資料 28	災害医療拠点病院の概要（横浜市防災計画 抜粋）	72
資料 29	主要部位別、性別、年齢別階層別罹患率（神奈川県）－2005 年－	74
資料 30	横浜市 がん罹患数 推計	76
資料 31	外来化学療法室実績	77
資料 32	横浜市がん検診のご案内（肺がん検診医療機関実施）	78
資料 33	平成 19 年国民健康・栄養調査結果概要について（抜粋）	79
資料 34	市民病院 建築物点検検査報告書（抜粋）	80
資料 35	全国自治体病院 1 床あたり施設延面積（一般病床 500 床以上）、横浜市中核病院等 1 床あたり施設面積	82
資料 36	病院建設費の比較	83
資料 37	市民病院 再整備後 収支試算	84
参考資料	診断群分類（DPC） 主要診断群コード一覧	97

施策11 市民の健康づくり・健康危機管理機能の充実

目標

- 一人ひとりが、自分にあった方法で、健康づくりに取り組むことができます。
- 感染症や食中毒など、身近に潜む健康危機に対して、予防策や拡大防止策が構築されています。
- 一人ひとりが健康で安心して生活でき、困難を抱えても自殺に至らないように相談体制の整備や啓発などが進んでいます。

現状と課題

■健康は市民の大きな関心事であり、自分の健康の維持・向上を考えたライフスタイルを送る人が増加する中、**それぞれに応じた健康づくりに気軽に取り組める環境**が求められています。

■**食を通して健康と人間性を育む食育**について、市民が生活の中に取り入れていけるように、**地域や企業などの連携による取組**が求められています。

さらに、近年の食品偽装事件や、ノロウイルス等による食中毒発生により、**食をめぐる不安が高まっており、食の安全を確保するための検査や指導の強化**などが求められています。

■新型インフルエンザなどの感染症の罹患リスクが高まっており、**感染症への適切な対応が必要**になっています。

■10年以降、毎年700人前後の市民が自殺により亡くなる状況が続いており、**総合的な自殺対策が必要**になっています。

自殺予防の取組～健康福祉局・南区

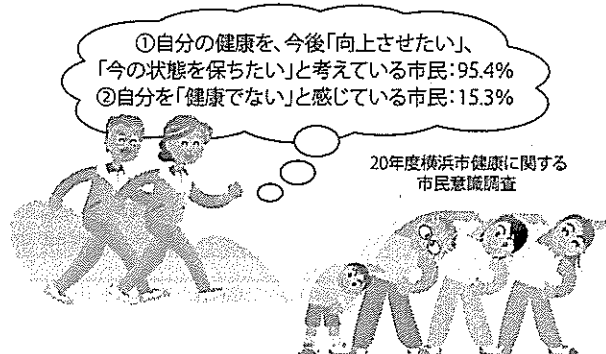
自殺は、生命・生活に関わる深刻な問題です。本市では18年度から自殺対策として普及啓発、職員研修、自死遺族支援などに取り組んでいます。

南区では、局の取組と連携しながら、自殺について正しい理解や対応力を深めるために、地域で活動する民生委員等への研修や、自殺対策をテーマにした出前講座などを行っています。

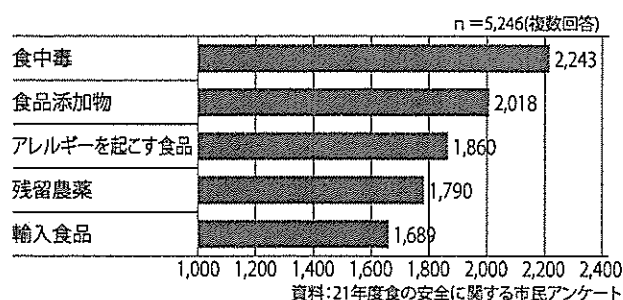


主なデータ

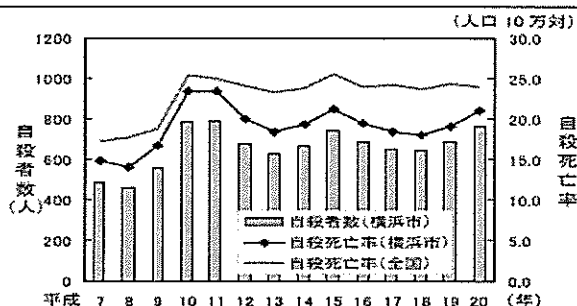
<健康に関する市民の意識>



<食の安全について関心のあること>



<横浜市の自殺者数と自殺死亡率>



計画上の見込額		68億円		
達成指標	指標	直近の現状値	目標値(25年度)	所管局
	① 朝食を食べる市民の割合(健康横浜21推進)	75.9%(20年度)	85%以上	健康福祉局
	② 食中毒及びノロウイルス感染症の発生届出件数	129件/年 (19~21年度平均)	110件/年	健康福祉局
	③ ゲートキーパー数 (自殺対策研修を受講した地域支援者数)	662人 (21年度)	累計4,000人 (全市)	健康福祉局

健康づくりを身近に ~区での取組~

各区では、ウォーキングや体操など、運動分野の参加型の取組を行い、健康づくりの推進に努めています。

戸塚区では、区民活動団体による「はまちゃん体操」の普及や「ウォーキングマップ」作成の取組など、健康づくり活動を行う団体の「つながり」を構築し、区内全域で健康づくりを広げること、地域コミュニティの活性化を目指しています。

また、栄区や南区などでは、特色ある取組として、公園の健康遊具を活用した健康づくりを推進しており、身近な地域での活動を支援しています。



目標達成に向けた主な事業

1	【新規】市民の健康づくりの推進・よこはま市民健康ポイント	所管局	健康福祉局【区】
「食習慣の改善」、「身体活動・運動の定着」、「禁煙・分煙の推進」の3分野を重点取組とする「健康横浜21」を推進し、生活習慣病の予防を進め、市民の主体的な健康づくりを支援します。また、22年度に策定した食育推進計画に基づき、食育を推進するほか、市民が健康づくりに取り組むきっかけの一つとして「よこはま市民健康ポイント」制度を導入します。			
想定事業量	次期「健康横浜21」計画の推進 【直近の現状値】21年度末:推進	計画上の見込額	6億円
2	食の安全強化対策事業	所管局	健康福祉局
市民の不安が高い残留農薬、動物用医薬品、遺伝子組換え食品、アレルギー物質を含む食品などの検査を強化するとともに、ノロウイルスの感染予防対策を強化します。			
想定事業量	検査検体数 6,500検体 【直近の現状値】21年度末:6,271検体	計画上の見込額	3億円
3	新型インフルエンザ対策事業	所管局	健康福祉局、消防局
新型インフルエンザの流行に備え、資器材等の備蓄や医療体制整備を図るとともに、「横浜市新型インフルエンザ対策行動計画」の見直しを行い、体制の充実強化を図ります。			
想定事業量	関係機関と医療体制に関する協定締結 【直近の現状値】21年度末:発熱外来18か所等	計画上の見込額	16億円
4	衛生研究所の再整備・機能強化	所管局	健康福祉局
健康危機管理体制を充実させるため、感染症・食中毒や食品の検査・研究拠点である衛生研究所を金沢区の富岡地区に移転・再整備し、検査研究機能の強化を図ります。			
想定事業量	衛生研究所検査のべ項目数 100,000項目/建設中 【直近の現状値】21年度末:95,000項目/-	計画上の見込額	36億円
5	自殺対策事業	所管局	健康福祉局、政策局 等
社会問題となっている自殺に対応するため、実態把握、普及啓発、人材育成、自死遺族支援、相談体制、ハイレスク対策など、関係者の連携による総合的な対策を、全市的な取組として進めます。			
想定事業量	講演会参加者数 8,000人(4か年) 【直近の現状値】21年度参加者数:1,616人	計画上の見込額	2億円

施策12 医療環境の充実

目標

- 身近な生活圏域の中で、安心して適切な医療を受けることができます。
- 産科・小児医療が充実し、安心して子どもを生み、育てることができます。
- 必要なときに適切な救急医療を受けることができます。

現状と課題

- 産科医師の確保が難しいことなどを理由に、分娩の取扱いを休止する医療機関があるなど、出産に対する不安の声が寄せられています。また、周産期救急を取り扱う医療機関や専用の病床も不足しています。
- 小児科でも救急に対応する医師の確保が難しく、救急を休止する医療機関があるため、小児救急の拠点となる病院に軽症の患者が集中するなど、救急医療機関の負担が大きくなっています。
- 多くの保護者が子どもの急病の際の対応に不安を抱えており、休日・夜間の小児救急と相談体制の充実へのニーズが高まっています。
- 救急隊の出場が増加傾向にある中、誰もが正しい救急知識を持ち、緊急時に適切な応急手当ができるとともに、速やかな救急出場・搬送と確実に受け入れられる救急医療体制の更なる充実が重要です。
- 脳卒中、心疾患、糖尿病、肝炎、アレルギー疾患など、患者のQOL(生活の質)に影響の大きい疾患について、市民の不安や心配の解消に向け、相談・情報提供機能の充実などを図る必要があります。
- がんは依然として死因の第一位であり、予防、早期発見から先端医療、緩和ケアまで、総合的な取組により、市民が最先端のがん治療を受けることができる環境づくりを進める必要があります。

産科や小児科、救急など、医師の確保が難しい。少ない医師の体制では疲弊してしまう。



(現場の声)

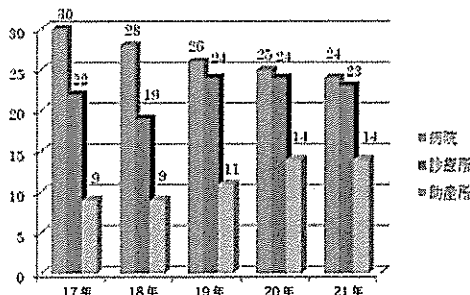
救急患者の受入体制

次のように対象により受入段階を分けています。

- (1)初期救急
簡単な投薬、応急処置などで帰宅することができる患者
- (2)二次救急
入院加療を要する中等症、重症の救急患者等
- (3)三次救急
重篤救急患者

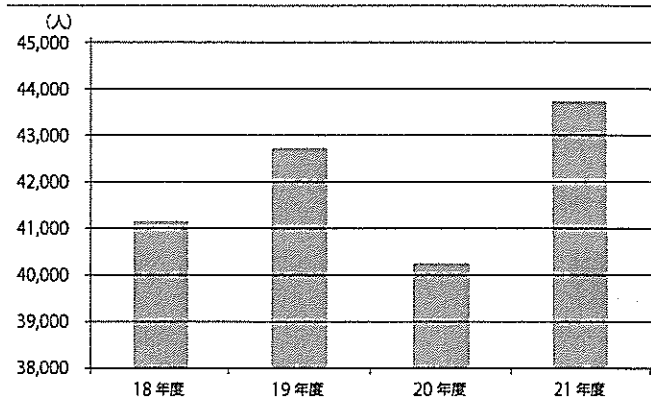
主なデータ

＜分娩取扱施設数の年次推移＞



資料：健康福祉局

＜二次救急医療施設の小児救急患者数＞



資料：健康福祉局

計画上の見込額		200億円		
達成指標	指標	直近の現状値	目標値(25年度)	所管局
	① 市政への満足度のうち「病院や救急医療など地域医療」を選択した市民の割合	10.4% (21年度)	15%	健康福祉局 消防局
	② 市内の出産取扱数	28,096件/年 (21年度)	30,000件/年	健康福祉局
	③ 緊急度等が高い傷病者に対する救急車等の現場到着時間	5.3分 (21年)	5.3分以内	消防局

救急医療体制の充実に向けて ～救命救急センターの整備～

救急医療の中でも、緊急を要する重篤傷病者への対応は、特に重要です。
その対応の中心となる救命救急センターは、22年4月に市民病院にも開設され、
現在は7か所が稼働しています。

【市内救命救急センターの設置状況】

横浜市立大学附属市民総合医療センター、昭和大学藤が丘病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、
国立病院機構横浜医療センター、済生会横浜市東部病院、横浜市立みなと赤十字病院、横浜市立市民病院



(市民病院の救命救急センター)

目標達成に向けた主な事業

1	【新規】産科拠点病院等産科医療の充実	所管局	健康福祉局
将来にわたり安定した産科・周産期救急医療体制の充実を図るとともに、新たに方面別に産科の拠点病院を整備します。			
想定事業量	産科拠点病院 3か所整備 【直近の現状値】21年度末:実施中	計画上の見込額	11億円

2	【新規】初期救急医療体制の充実	所管局	健康福祉局
休日・夜間診療における初期救急医療体制を引き続き確立するとともに、新たに南部方面の体制の充実を図ります。			
想定事業量	南部方面1か所整備 【直近の現状値】21年度末:実施中	計画上の見込額	16億円

3	【新規】救急医療情報・相談機能の充実	所管局	健康福祉局
救急医療に関する情報提供や電話相談に総合的に対応する「救急医療情報・相談センター(仮称)」を開設します。また、適切な救急医療の利用についての啓発をすすめます。			
想定事業量	救急医療情報・相談センター(仮称)1か所整備 【直近の現状値】21年度末:-	計画上の見込額	5億円

4	救急救命体制の充実・強化	所管局	消防局
救急需要に応じた救急隊等の確保・適正配置及び資器材整備を進めるとともに、救急に関する医療機関等とのデータ共有を進め、消防と医療の連携を図り、迅速な出場と搬送体制を整備します。			
想定事業量	事業推進 【直近での現状値】実施中	計画上の見込額	14億円

5	先端医療の提供	所管局	政策局、健康福祉局
横浜市立大学先端医科学研究センターが中心となって、基礎研究で得られた優れた成果を臨床現場で実践できる医療技術に橋渡ししていくための研究を行い、先端医療の提供を進めます。また、県立がんセンターに整備される重粒子線がん治療施設に対し、人材確保等の支援を行います。			
想定事業量	先進医療の承認件数 25件(保険適用済みを含む) 【直近での現状値】21年度末:15件	計画上の見込額	13億円*

※このほか、公立大学法人である横浜市立大学が独自に財源を確保して実施します。

行政運営 2

最適で確実な市政の推進
(4) 公営企業の自立的な経営改革の推進

市民生活に必要なサービスを提供している水道事業、交通事業や病院事業においては、地方公営企業法の全てが適用され、市長が事業ごとに管理者を任命し、その管理者が責任をもって経営を行う仕組みになっています。

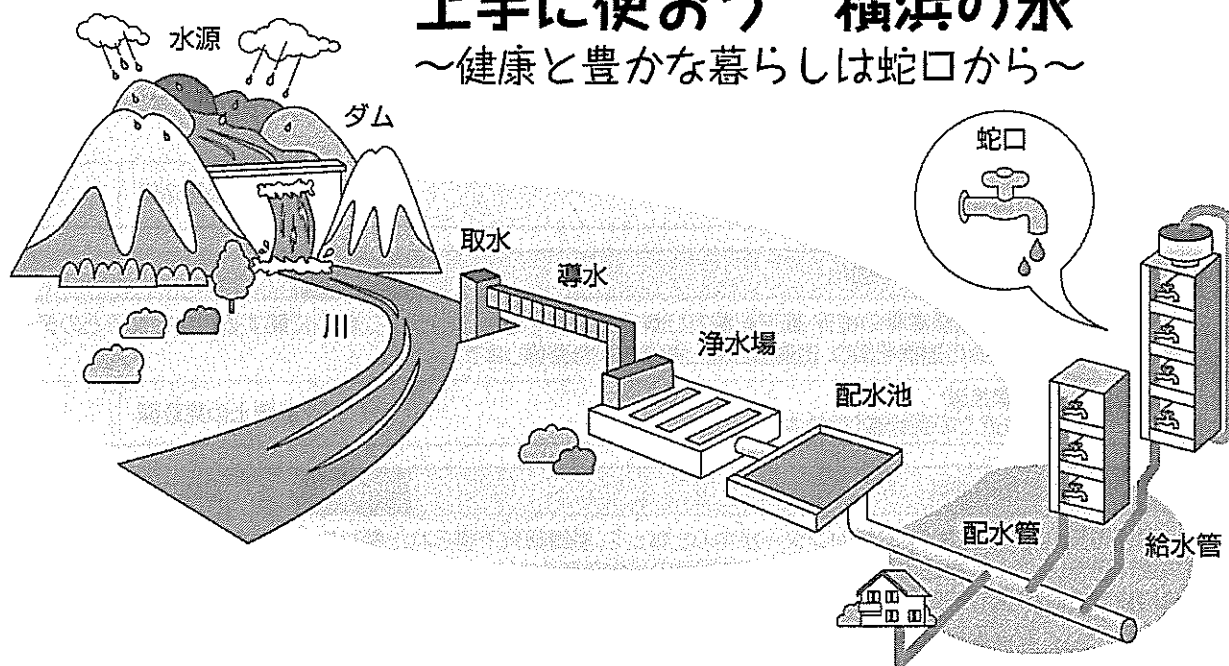
それぞれの公営企業においては、管理者が経営目標を定め、その目標を達成するために中期的な経営計画を策定し、事業の特徴に合わせた経営改革に取り組んでいます。

今後も、公営企業ごとに経営計画を策定し、自立的な経営を推進していきます。

(各公営企業の中期経営計画については、ホームページ等をご覧ください。)

各公営企業の取組

1	水道事業の経営改革の推進	所管局	水道局
	持続可能な経営を実現し、将来にわたって安全でおいしい水を安定して提供していくため、18年7月に公表した「横浜水道長期ビジョン・10か年プラン」の実施計画として策定した中期経営計画(21～23年度)に基づき、経営改革を推進しています。 これまでに培った技術力・ノウハウをいかし、国内外の水道事業の発展に貢献するため、引き続き経営改革を着実に推進します。		
主 な 目 標	・継続的な経営改革と簡素で効率的な執行体制の構築 ・人材の育成と技術の継承 ・健全な財務体質の実現		

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

2	交通事業の経営改革の推進	所管局	交通局
自主自立の経営が持続できる「改善型公営企業」として19年度に策定した「市営交通5か年経営プラン(19～23年度)」に基づき、経営改革を推進しています。 「改善型公営企業」として、引き続き事業継続について検証を行い、経営改革を推進します。			
主 な 目 標	・持続的な自主自立経営の実現 ・お客様満足度の向上 ・現行のバス営業路線を維持		



3	病院事業の経営改革の推進	所管局	病院経営局
「横浜市立病院中期経営プラン(21～23年度)」に基づき、市立病院として医療の質の向上を図ることにより、経営改革を推進しています。 今後も、脳血管医療センターの経営改善や市民病院の狭あい化対策等の課題に関する「横浜市立病院経営委員会」からの答申を踏まえ、市立病院の効率的な経営と医療機能の充実のため、本市全体の医療政策の中で、引き続き経営改革を推進します。			
主 な 目 標	・市民や患者の皆さまに対し、市立病院として質の高い医療の提供 ・自立的で効率的な経営の実現		



市民病院



脳血管医療センター



みなと赤十字病院

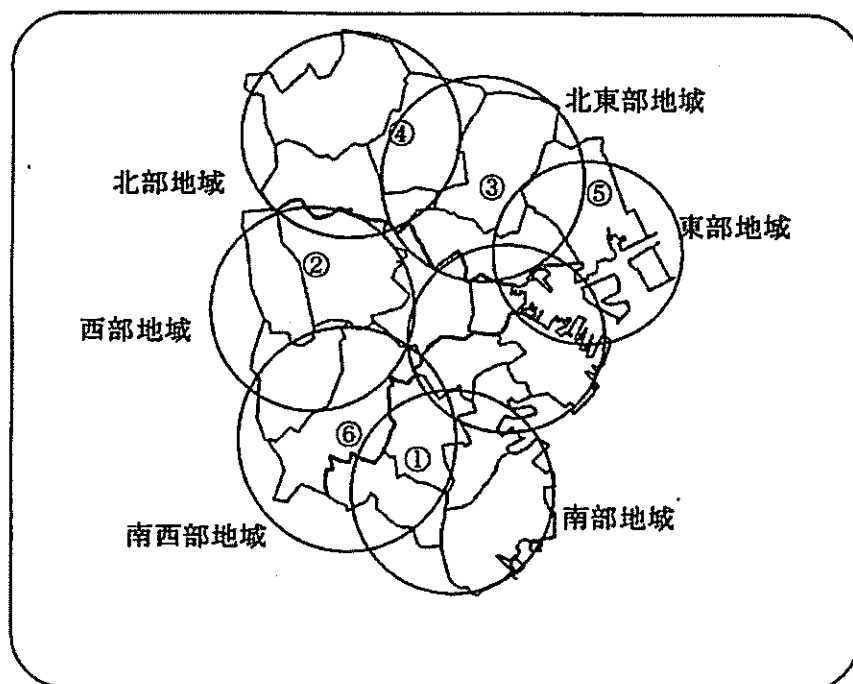
第6章 行財政運営

よこはま保健医療プラン（平成20年4月）より抜粋
 ※国立病院機構横浜医療センターについては、H22.4.1に指定されている。

○ 地域中核病院の整備 ○

横浜市では、市郊外部の人口急増等に対応するため、高度な医療機能を持った、地域の中核的な病院を、昭和50年代から計画的に整備してきました。市域を交通の便等から7つの地域に分け、比較的医療機能が充実している市中心部を除く6方面に民設民営の病院を誘致することで、市内の医療資源の整備を効果的に進めてきました。

昭和58年の済生会横浜市南部病院の開院から、現在までに、5つの地域中核病院が開設されましたが、6方面のうち、残る1方面である「南西部」については、国立病院機構横浜医療センター（戸塚区・平成22年再整備完了予定）を位置づけることとしています。



地域中核病院（番号は開設順）

- ① 済生会横浜市南部病院（港南区） 昭和58年開設
- ② 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院（旭区） 昭和62年開設
- ③ 横浜市北東部中核施設 横浜労災病院（港北区） 平成3年開設
- ④ 昭和大学横浜市北部病院（都筑区） 平成13年開設
- ⑤ 済生会横浜市東部病院（鶴見区） 平成19年開設
- ⑥ 国立病院機構横浜医療センター（戸塚区） 平成22年予定

横浜市将来人口推計 推計結果

横浜市統計ポータルサイト 横浜市将来人口推計より抜粋

Ⅱ 年齢3区分人口

① 人口

(単位:人)

	2010(H22)			2030(H42)			2030(H42)-2010(H22)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	増減率
総数	1,844,397	1,832,242	3,676,639	1,824,405	1,875,951	3,700,356	△19,992	43,709	23,717	0.6%
0～14歳	247,714	235,828	483,542	170,019	161,782	331,801	△77,695	△74,046	△151,741	△31.4%
15～64歳	1,262,172	1,187,047	2,449,219	1,178,690	1,126,253	2,304,943	△83,482	△60,794	△144,276	△5.9%
65歳以上	334,511	409,367	743,878	475,696	587,916	1,063,612	141,185	178,549	319,734	43.0%

② 構成比

(単位:人)

	2010(H22)			2030(H42)			2030(H42)-2010(H22)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0p	0.0p	0.0p	
0～14歳	13.4%	12.9%	13.2%	9.3%	8.6%	9.0%	△4.1p	△4.2p	△4.2p	
15～64歳	68.4%	64.8%	66.6%	64.6%	60.0%	62.3%	△3.8p	△4.8p	△4.3p	
65歳以上	18.1%	22.3%	20.2%	26.1%	31.3%	28.7%	7.9p	9.0p	8.5p	

Ⅲ 年齢階級別人口

(単位:人)

	2010(H22)			2030(H42)			2030(H42)-2010(H22)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
総数	1,844,397	1,832,242	3,676,639	1,824,405	1,875,951	3,700,356	△19,992	43,709	23,717	0.6%
0～4	78,489	74,422	152,911	54,218	51,393	105,611	△24,271	△23,029	△47,300	△30.9%
5～14	169,225	161,406	330,631	115,801	110,389	226,190	△53,424	△51,017	△104,441	△31.6%
15～24	184,703	168,762	353,465	164,339	152,898	317,237	△20,364	△15,864	△36,228	△10.2%
25～34	262,004	239,820	501,824	228,155	211,842	439,997	△33,849	△27,978	△61,827	△12.3%
35～44	320,913	305,229	626,142	223,852	211,091	434,943	△97,061	△94,138	△191,199	△30.5%
45～54	247,489	229,181	476,670	260,357	252,323	512,680	12,868	23,142	36,010	7.6%
55～64	247,063	244,055	491,118	301,987	298,099	600,086	54,924	54,044	108,968	22.2%
65～74	198,607	214,362	412,969	211,499	211,125	422,624	12,892	△3,237	9,655	2.3%
75歳以上	135,904	195,005	330,909	264,197	376,791	640,988	128,293	181,786	310,079	93.7%

(参考) 全国将来人口推計 推計結果

(単位:千人)

	2010(H22)			2030(H42)			2030(H42)-2010(H22)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	増減率
総数	61,868	65,309	127,176	55,279	59,944	115,224	△6,588	△5,365	△11,953	△9.4%
0～14歳	8,447	8,032	16,479	5,721	5,428	11,150	△2,726	△2,604	△5,330	△32.3%
15～64歳	40,851	40,433	81,285	33,922	33,482	67,404	△6,930	△6,951	△13,881	△17.1%
65歳以上	12,569	16,843	29,412	15,636	21,034	36,670	3,067	4,190	7,258	24.7%

2005年を基準に2030年(平成42年)までの推計をコーホート要因法により行った。
表の数値は、出生・死亡とも中位推計の値である。

神奈川県疾患別入院受療率

平成20年 患者調査 平成20年10月
 閲覧第131表(その2) 受療率(人口10万対)、性・年齢階級×傷病大分類×入院・外来・都道府県別(入院)
 注:(1) 全国には、住所不詳を含む。
 注:(2) 年齢には、年齢不詳を含む。

	総数	0~4歳	5~14	15~24	25~34	35~44	45~54	55~64	65~74	75歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
神奈川県												
総数	705	338	82	117	201	228	394	757	1391	3665	2339	2905
I 感染症及び寄生虫症	11	11	1	5	4	7	6	12	21	47	32	38
腸管感染症	2	4	0	2	1	1	1	1	3	6	4	5
結核	2	-	-	0	1	1	1	3	3	11	7	7
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	1	1	0	1	0	0	0	1	4	4	4	4
真菌症	1	-	-	-	0	0	-	1	1	3	2	2
その他の感染症及び寄生虫症	6	7	1	2	2	4	4	6	11	23	16	19
II 新生物	95	13	10	8	18	24	65	139	264	358	303	334
(悪性新生物)(再掲)	84	9	8	6	11	17	54	128	241	327	277	305
胃の悪性新生物	10	1	-	-	0	2	4	13	29	45	36	43
結腸及び直腸の悪性新生物	12	1	-	0	0	1	7	18	35	61	46	51
気管、気管支及び肺の悪性新生物	11	-	-	-	1	1	6	19	38	42	39	43
その他の悪性新生物	51	8	8	5	10	14	37	79	139	179	156	168
良性新生物及びその他の新生物	11	4	2	2	7	7	11	11	23	31	26	29
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3	5	4	1	0	1	1	2	5	15	9	11
貧血	2	0	1	-	0	1	1	1	3	9	5	6
その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1	5	3	1	0	-	-	1	2	5	3	4
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	18	8	1	1	2	4	12	17	37	103	65	80
甲状腺障害	1	0	-	-	1	1	1	0	0	3	1	2
糖尿病	12	-	-	0	1	3	9	13	29	68	45	54
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5	8	1	1	0	1	2	3	8	32	18	24
V 精神及び行動の障害	132	5	9	34	50	80	144	230	267	349	301	322
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	85	2	2	18	37	64	108	180	174	111	148	132
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	14	1	1	7	5	8	15	17	34	38	36	39
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	2	1	3	1	1	3	1	3	4	3	3
その他の精神及び行動の障害	32	0	5	7	6	7	17	32	55	196	114	148
VI 神経系の疾患	46	19	7	7	9	15	22	36	88	276	166	213
VII 眼及び付属器の疾患	6	-	1	1	1	1	2	7	13	37	23	29
白内障	4	-	-	-	0	0	1	4	8	30	17	22
その他の眼及び付属器の疾患	2	-	1	1	0	1	2	3	6	7	6	7
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2	3	1	0	1	1	1	4	2	4	3	4
外耳疾患	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中耳炎	0	3	1	-	0	-	-	0	-	0	0	0
その他の中耳及び乳突突起の疾患	0	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
内耳疾患	1	-	-	-	0	-	0	2	1	2	2	2
その他の耳疾患	1	-	-	0	0	1	0	1	1	1	1	2
IX 循環器系の疾患	152	4	2	0	6	14	50	119	296	1149	652	854
高血圧性疾患	3	-	-	-	0	0	0	1	3	26	13	17
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	29	4	0	-	2	3	10	27	58	211	122	157
虚血性心疾患	11	-	-	-	0	1	5	15	32	62	45	55
その他の心疾患	18	4	0	-	1	2	5	12	26	149	77	102
(脳血管疾患)(再掲)	111	-	1	0	3	9	34	80	210	869	485	642
脳梗塞	70	-	0	-	1	2	8	31	120	626	331	450
その他の脳血管疾患	41	-	1	0	2	7	25	50	90	242	153	192
その他の循環器系の疾患	9	-	1	0	1	2	6	11	25	44	33	38
X 呼吸器系の疾患	45	85	15	7	8	5	6	21	57	343	176	242
急性上気道感染症	1	5	1	1	1	1	-	1	0	2	1	1
肺炎	21	28	2	1	1	1	2	8	24	188	92	129
急性気管支炎及び急性細気管支炎	1	10	-	-	-	-	-	0	1	4	2	3
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	4	16	0	0	-	-	1	1	6	30	16	22
喘息	3	22	7	1	2	1	-	1	2	6	4	5
その他の呼吸器系の疾患	15	4	4	3	4	2	4	9	24	113	61	82
XI 消化器系の疾患	37	11	5	8	10	13	24	40	78	184	122	153
う蝕	0	-	-	-	-	0	-	-	-	0	0	0
歯肉炎及び歯周疾患	0	1	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-
その他の歯及び歯の支持組織の障害	0	-	-	1	1	0	-	1	0	-	0	-
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3	-	-	-	0	1	2	4	6	20	12	16
胃炎及び十二指腸炎	1	-	-	0	1	1	0	0	1	3	2	2
肝疾患	4	1	0	0	0	1	5	7	9	20	14	17
その他の消化器系の疾患	29	9	4	7	7	11	17	29	61	141	94	118
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	6	1	0	1	1	2	3	8	12	29	19	23
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	27	10	6	6	5	8	15	27	61	136	92	113
炎症性多発性関節障害	3	-	0	0	-	1	2	4	6	15	10	12
脊柱障害	11	0	1	2	2	4	5	12	28	58	41	50
骨の密度及び構造の障害	1	-	0	-	0	0	1	1	1	2	1	2
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	12	10	4	4	3	3	7	12	26	60	40	49
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	28	4	2	2	6	5	11	29	61	176	109	139
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	22	1	1	1	3	2	8	22	50	138	87	110
乳房及び女性生殖系の疾患	1	0	-	0	2	2	1	1	1	1	1	1
その他の腎尿路生殖系系の疾患	6	2	0	1	1	1	2	5	9	37	21	27
XV 妊娠、分娩及び産後	11	-	-	10	47	20	0	-	-	-	-	-
流産	0	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
妊娠高血圧症候群	0	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-
単胎自然分娩	5	-	-	3	20	8	0	-	-	-	-	-
その他の妊娠、分娩及び産後	6	-	-	5	26	10	0	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	4	103	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	3	30	5	3	2	2	2	2	1	0	1	1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9	10	5	0	0	2	3	10	16	48	29	38
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	58	8	6	19	18	21	21	42	90	375	209	278
骨折	38	4	4	9	10	12	12	22	53	288	151	207
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	19	4	2	10	8	10	9	20	37	87	58	71
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11	8	2	5	13	5	6	11	22	35	27	33
正常妊娠・産後・産後の管理	2	-	-	3	9	3	-	-	-	-	-	-
術の補てつ	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
その他の保健サービス	9	8	2	2	4	2	6	11	22	35	27	33

神奈川県疾患別入院受療率

	男											
	総数	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
神奈川県												
総数	678	386	97	105	146	231	442	903	1633	3502	2324	2831
I 感染症及び寄生虫症	12	14	1	4	5	8	6	16	25	49	34	39
腸管感染症	2	1	-	2	1	1	0	2	4	6	5	6
結核	3	-	-	0	1	2	1	4	6	14	9	9
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	1	1	-	0	0	-	0	1	3	1	2	2
真菌症	1	-	-	-	1	0	-	2	0	4	2	2
その他の感染症及び寄生虫症	6	11	1	2	2	6	4	7	12	24	16	20
II 新生物	110	13	13	9	13	17	63	170	337	537	411	468
(悪性新生物)(再掲)	100	9	10	7	10	15	56	158	312	497	380	434
胃の悪性新生物	14	-	-	-	1	2	5	19	46	81	59	71
結腸及び直腸の悪性新生物	15	-	-	0	1	1	9	23	45	92	62	71
気管、気管支及び肺の悪性新生物	15	-	-	-	-	2	7	26	56	61	58	63
その他の悪性新生物	56	9	10	7	8	10	35	90	165	263	201	229
良性新生物及びその他の新生物	9	4	3	2	3	2	7	12	24	40	30	34
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3	8	3	1	-	1	1	4	5	13	8	10
貧血	1	-	0	-	-	1	1	2	3	6	4	5
その他の血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2	8	3	1	-	-	-	2	2	6	3	5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	16	7	2	0	1	5	14	23	40	78	54	63
甲状腺障害	0	-	-	-	-	0	-	0	-	1	0	0
糖尿病	12	-	-	0	1	3	13	18	33	53	40	46
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4	7	2	-	0	1	2	5	8	24	14	17
V 精神及び行動の障害	127	4	14	27	48	89	156	251	271	262	268	273
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	84	3	1	17	40	72	117	190	158	90	133	114
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	10	-	1	3	3	6	15	13	25	20	23	24
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1	1	2	2	1	0	2	1	2	3	2	2
その他の精神及び行動の障害	32	-	8	5	4	10	23	48	87	149	110	132
VI 神経系の疾患	41	20	7	7	10	14	25	40	97	241	150	192
VII 眼及び付属器の疾患	5	-	1	0	1	0	3	9	11	33	19	23
白内障	3	-	-	-	0	0	0	5	6	24	12	15
その他の眼及び付属器の疾患	2	-	1	0	1	-	3	4	5	9	6	8
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2	5	2	-	1	1	0	3	2	4	3	4
外耳疾患	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中耳炎	0	4	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
その他の中耳及び乳突突起の疾患	0	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
内耳疾患	0	-	-	-	0	-	-	1	1	3	2	3
その他の耳疾患	0	-	-	-	0	1	0	1	1	1	1	1
IX 循環器系の疾患	143	4	2	0	6	20	61	166	381	1038	624	793
高血圧性疾患	2	-	-	-	0	0	1	2	3	20	9	13
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	30	4	-	-	1	4	16	41	74	213	125	157
虚血性心疾患	15	-	-	-	-	1	8	24	45	82	59	72
その他の心疾患	16	4	-	-	1	4	7	17	30	130	67	85
(脳血管疾患)(再掲)	99	-	1	0	4	13	39	108	269	742	444	570
脳梗塞	63	-	0	-	1	3	11	47	171	558	314	419
その他の脳血管疾患	36	-	1	0	2	10	28	61	98	184	130	150
その他の循環器系の疾患	11	-	0	-	1	2	7	15	34	64	46	53
X 呼吸器系の疾患	50	115	16	6	8	6	8	30	82	410	203	285
急性上気道感染症	1	5	2	1	1	1	-	1	0	3	1	2
肺炎	22	33	1	1	1	2	2	11	37	224	106	152
急性気管支炎及び急性細気管支炎	1	15	-	-	-	-	-	0	1	4	2	3
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	5	22	0	-	-	-	0	1	10	38	20	28
喘息	3	34	8	1	1	1	-	1	2	5	3	4
その他の呼吸器系の疾患	17	6	5	4	6	3	5	15	32	135	70	96
XI 消化器系の疾患	42	11	4	8	12	15	31	56	105	203	141	177
う蝕	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0
歯肉炎及び歯周疾患	0	2	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-
その他の歯及び歯の支持組織の障害	0	-	-	0	0	-	-	-	1	-	0	-
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	4	-	-	-	0	1	3	7	9	19	13	17
胃炎及び十二指腸炎	1	-	-	-	1	1	0	-	2	-	1	1
肝疾患	5	-	-	1	-	0	6	11	11	20	14	17
その他の消化器系の疾患	32	10	4	7	10	12	21	37	82	164	112	142
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	6	-	1	1	1	2	4	9	16	32	22	25
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	21	14	7	7	6	7	14	24	50	97	67	79
炎症性多発性関節障害	1	-	-	-	-	1	1	2	1	7	3	5
脊柱障害	11	-	-	2	2	3	6	15	32	54	40	48
骨の密度及び構造の障害	0	-	-	-	0	0	1	1	1	1	1	1
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	8	14	7	4	4	3	6	6	16	34	23	25
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	29	4	2	3	4	6	12	30	74	206	123	154
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	23	2	1	2	2	4	9	23	60	165	99	123
乳房及び女性生殖器系の疾患	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
その他の腎尿路生殖器系の疾患	6	2	1	1	1	2	3	7	15	41	24	31
XV 妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
妊娠高血圧症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単胎自然分娩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	5	105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	31	5	3	2	2	3	2	2	-	1	1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8	14	8	-	0	3	4	11	15	46	26	35
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	47	10	8	25	26	33	29	47	88	218	136	171
骨折	24	4	5	13	16	20	16	21	37	121	68	87
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	22	5	2	12	10	13	12	26	51	97	68	84
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10	7	1	3	1	2	6	14	31	37	33	39
正常妊娠・産じょくの管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
歯の補てつ	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
その他の保健サービス	9	7	1	3	1	2	6	14	31	37	33	39

神奈川県疾患別入院受療率

	女	総数	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
神奈川県													
総数		732	289	67	129	261	225	343	611	1156	3773	2349	2956
I 感染症及び寄生虫症		11	9	2	6	4	5	5	8	17	46	30	37
腸管感染症		2	7	1	3	1	2	1	1	1	6	3	4
結核		1	-	-	0	1	1	0	2	1	9	5	7
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患		1	-	0	1	0	0	0	4	6	5	5	5
真菌症		0	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	2
その他の感染症及び寄生虫症		5	2	0	2	1	2	3	6	10	23	16	19
II 新生物		79	13	7	6	24	32	67	108	194	239	215	231
(悪性新生物)(再掲)		67	9	5	4	13	20	51	98	173	215	192	206
胃の悪性新生物		5	1	-	-	-	1	3	6	13	22	17	21
結腸及び直腸の悪性新生物		10	2	-	-	-	1	5	12	26	41	33	35
気管、気管支及び肺の悪性新生物		8	-	-	-	1	0	5	13	21	29	24	28
その他の悪性新生物		45	6	5	4	11	18	38	67	114	123	118	122
良性新生物及びその他の新生物		12	4	1	2	11	12	16	9	21	25	23	25
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		3	2	4	1	1	1	-	1	5	16	10	11
貧血		2	1	2	-	1	1	-	0	2	12	6	8
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		1	1	2	1	0	-	-	0	3	4	3	3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患		20	10	-	2	3	4	10	10	34	120	73	92
甲状腺障害		1	1	-	-	1	1	2	-	1	5	3	3
糖尿病		13	-	-	0	1	2	6	8	26	78	49	59
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患		6	9	-	1	1	1	3	2	8	38	21	30
V 精神及び行動の障害		138	5	4	42	52	70	131	209	261	407	328	359
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		85	-	2	19	35	56	98	170	189	126	160	145
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)		19	2	-	11	8	9	16	22	43	50	46	50
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		3	2	-	4	2	2	5	2	4	4	4	4
その他の精神及び行動の障害		31	1	2	8	8	3	11	15	25	227	117	160
VI 神経系の疾患		51	18	8	7	8	15	19	32	79	300	179	228
VII 眼及び付属器の疾患		7	-	2	1	-	2	2	6	16	39	27	33
白内障		5	-	-	-	-	-	1	3	9	34	20	27
その他の眼及び付属器の疾患		3	-	2	1	-	2	1	3	7	6	6	6
VIII 耳及び乳突突起の疾患		2	2	1	0	1	0	1	5	3	4	3	5
外耳疾患		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中耳炎		0	2	1	-	-	-	-	0	-	1	0	0
その他の中耳及び乳突突起の疾患		0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
内耳疾患		1	-	-	-	1	-	1	3	1	2	1	2
その他の耳疾患		1	-	-	0	-	0	0	2	2	2	2	2
IX 循環器系の疾患		161	4	3	1	5	7	37	73	214	1222	674	899
高血圧性疾患		3	-	-	-	-	-	-	0	3	30	15	21
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))		28	4	0	-	2	1	5	13	42	210	119	156
虚血性心疾患		8	-	-	-	1	0	1	7	20	48	33	42
その他の心疾患		20	4	0	-	1	1	3	6	22	161	85	114
(脳血管疾患)(再掲)		123	-	1	-	2	5	28	53	152	953	517	696
脳梗塞		77	-	-	-	1	1	5	14	71	672	345	473
その他の脳血管疾患		46	-	1	-	1	4	23	38	81	281	172	223
その他の循環器系の疾患		7	-	1	1	1	1	5	7	16	30	23	26
X 呼吸器系の疾患		41	53	14	8	8	3	4	12	32	299	154	209
急性上気道感染症		1	5	1	2	1	0	-	-	-	0	0	0
肺炎		20	22	3	1	2	1	1	5	11	164	81	112
急性気管支炎及び急性細気管支炎		1	5	-	-	-	-	-	-	0	4	2	3
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患		3	10	1	0	-	-	1	1	2	24	12	17
喘息		3	10	6	1	3	1	-	1	3	7	5	6
その他の呼吸器系の疾患		14	2	3	3	2	1	2	4	17	99	54	72
XI 消化器系の疾患		33	10	6	7	7	11	17	25	52	171	108	134
う蝕		0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
歯肉炎及び歯周疾患		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の歯及び歯の支持組織の障害		0	-	-	1	1	0	-	1	-	-	-	-
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		3	-	-	-	-	0	0	1	3	21	11	16
胃炎及び十二指腸炎		1	-	-	0	1	-	-	1	0	5	2	3
肝疾患		4	2	1	-	1	1	3	2	8	20	13	16
その他の消化器系の疾患		25	8	5	6	4	9	13	20	40	126	79	99
XII 皮膚及び皮下組織の疾患		5	2	-	-	1	1	2	7	8	27	17	21
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患		33	6	5	5	4	8	15	31	71	162	112	139
炎症性多発性関節障害		5	-	0	0	-	2	2	5	10	21	15	18
脊柱障害		12	1	2	1	2	4	3	9	24	61	41	52
骨の密度及び構造の障害		1	-	1	-	-	-	1	-	1	3	2	3
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患		17	5	1	4	2	2	9	17	36	77	55	67
XIV 腎尿路生殖系の疾患		28	3	1	1	7	4	10	27	48	157	98	127
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全		21	-	1	-	4	0	8	21	41	120	77	100
乳房及び女性生殖系の疾患		2	1	-	1	3	4	1	3	3	2	2	3
その他の腎尿路生殖系の疾患		5	2	-	-	-	-	1	3	4	35	18	24
XV 妊娠、分娩及び産後		23	-	-	22	100	42	1	-	-	-	-	-
流産		1	-	-	3	3	2	-	-	-	-	-	-
妊娠高血圧症候群		0	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
単胎自然分娩		9	-	-	7	42	18	0	-	-	-	-	-
その他の妊娠、分娩及び産後		12	-	-	12	55	22	0	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態		4	101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常		3	29	5	2	2	2	1	2	1	1	1	1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		9	7	1	0	-	1	3	9	17	49	32	40
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		69	7	4	12	9	9	14	38	92	480	269	359
骨折		53	5	2	4	4	3	8	23	68	400	219	298
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響		16	2	2	8	5	6	6	15	23	80	49	62
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		13	8	3	6	26	8	6	8	13	33	22	29
正常妊娠・産後の管理		4	-	-	5	19	5	-	-	-	-	-	-
歯の補綴		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の保健サービス		9	8	3	1	7	2	6	8	13	33	22	29

資料5

横浜市 入院患者数の推計(受療率による試算)

(単位:人)

	H22		H42		差引	
	患者数	構成比	患者数	構成比	合計	率
総数	27,079		38,719		11,641	(43.0%)
総数2(除くⅤ 精神及び行動の障害を)	22,107	100.0%	32,551	100.0%	10,444	(47.2%)
I 感染症及び寄生虫症	431	2.0%	572	1.8%	140	(32.5%)
II 新生物	3,598	16.3%	4,857	14.9%	1,259	(35.0%)
(悪性新生物)(再掲)	3,195	14.5%	4,362	13.4%	1,167	(36.5%)
胃の悪性新生物	366	1.7%	527	1.6%	161	(44.0%)
結腸及び直腸の悪性新生物	480	2.2%	697	2.1%	216	(45.0%)
気管、気管支及び肺の悪性新生物	429	1.9%	588	1.8%	159	(37.0%)
その他の悪性新生物	1,920	8.7%	2,551	7.8%	632	(32.9%)
良性新生物及びその他の新生物	399	1.8%	492	1.5%	93	(23.4%)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	116	0.5%	156	0.5%	41	(35.0%)
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	689	3.1%	1,018	3.1%	329	(47.8%)
甲状腺障害	24	0.1%	33	0.1%	9	(38.9%)
糖尿病	476	2.2%	701	2.2%	225	(47.3%)
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	195	0.9%	293	0.9%	98	(50.4%)
V 精神及び行動の障害	4,971	—	6,168	—	1,197	(24.1%)
VI 神経系の疾患	1,772	8.0%	2,630	8.1%	859	(48.5%)
VII 眼及び付属器の疾患	241	1.1%	360	1.1%	119	(49.4%)
白内障	152	0.7%	250	0.8%	98	(64.2%)
その他の眼及び付属器の疾患	91	0.4%	114	0.4%	23	(25.7%)
VIII 耳及び乳様突起の疾患	64	0.3%	76	0.2%	12	(19.2%)
IX 循環器系の疾患	5,962	27.0%	9,671	29.7%	3,708	(62.2%)
高血圧性疾患	105	0.5%	187	0.6%	82	(77.5%)
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	1,149	5.2%	1,838	5.6%	688	(59.9%)
虚血性心疾患	441	2.0%	656	2.0%	215	(48.6%)
その他の心疾患	705	3.2%	1,175	3.6%	469	(66.6%)
(脳血管疾患)(再掲)	4,359	19.7%	7,153	22.0%	2,793	(64.1%)
脳梗塞	2,767	12.5%	4,756	14.6%	1,989	(71.9%)
その他の脳血管疾患	1,587	7.2%	2,391	7.3%	804	(50.7%)
その他の循環器系の疾患	348	1.6%	498	1.5%	150	(43.2%)
X 呼吸器系の疾患	1,777	8.0%	2,809	8.6%	1,032	(58.1%)
急性上気道感染症	33	0.1%	31	0.1%	△2	(△5.1%)
肺炎	837	3.8%	1,417	4.4%	580	(69.3%)
急性気管支炎及び急性細気管支炎	31	0.1%	38	0.1%	8	(25.2%)
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	156	0.7%	243	0.7%	87	(55.6%)
喘息	113	0.5%	112	0.3%	△1	(△0.8%)
その他の呼吸器系の疾患	605	2.7%	960	2.9%	354	(58.5%)
XI 消化器系の疾患	1,433	6.5%	2,025	6.2%	591	(41.3%)
う蝕	1	0.0%	3	0.0%	1	(94.4%)
歯肉炎及び歯周疾患	2	0.0%	1	0.0%	△0	(△30.9%)
その他の歯及び歯の支持組織の障害	9	0.0%	9	0.0%	0	(2.7%)
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	121	0.5%	189	0.6%	67	(55.5%)
胃炎及び十二指腸炎	24	0.1%	33	0.1%	8	(34.0%)
肝疾患	169	0.8%	239	0.7%	69	(41.0%)
その他の消化器系の疾患	1,093	4.9%	1,542	4.7%	450	(41.1%)
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	218	1.0%	315	1.0%	97	(44.4%)
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,032	4.7%	1,460	4.5%	428	(41.4%)
XIV 腎尿路生殖生殖器系の疾患	1,105	5.0%	1,681	5.2%	576	(52.1%)
XV 妊娠、分娩及び産後	407	1.8%	337	1.0%	△71	(△17.4%)
XVI 周産期に発生した病態	158	0.7%	109	0.3%	△49	(△30.9%)
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	122	0.5%	101	0.3%	△21	(△16.9%)
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	334	1.5%	482	1.5%	148	(44.3%)
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,240	10.1%	3,384	10.4%	1,145	(51.1%)
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	416	1.9%	517	1.6%	101	(24.3%)

※推計方法

H22: Σ H22 年齢別人口(横浜市将来推計人口より) $\times$ H20 年齢別受療率(厚生労働省患者調査3閲覧第131-2表より)H42: Σ H42 年齢別人口(横浜市将来推計人口より) $\times$ H20 年齢別受療率(厚生労働省患者調査3閲覧第131-2表より)

横浜市 医療施設病床数

	平成20年度
合計	29,110
除く精神病床	23,648
病院計	27,901
精神病床	5,462
結核病床	226
感染症病床	26
療養病床	3,437
一般病床	18,750
一般診療所	1,209

神奈川県 疾患別外来受療率

平成20年

閲覧第131表(その3)

患者調査 平成20年10月

受療率(人口10万対)、性・年齢階級×傷病大分類×入院-外来・都道府県別(外来)

注:(1) 全国には、住所不詳を含む。

注:(2) 総数には、年齢不詳を含む。

	総数	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
神奈川県												
総数	4442	4208	2590	1679	2363	2592	3398	5500	9119	10861	9841	10804
I 感染症及び寄生虫症	119	145	153	49	62	92	106	123	227	169	203	196
腸管感染症	16	65	54	10	12	9	4	8	13	7	11	9
結核	1	1	-	-	0	0	1	1	2	3	2	2
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	34	44	81	27	15	32	26	26	48	29	40	45
真菌症	30	2	-	6	16	28	34	44	62	58	60	59
その他の感染症及び寄生虫症	38	33	18	6	18	23	40	45	102	73	90	82
II 新生物	179	21	4	21	51	100	181	275	465	488	474	505
(悪性新生物)(再掲)	130	3	3	5	16	40	115	205	394	412	401	432
胃の悪性新生物	15	-	-	0	0	3	11	26	40	67	51	57
結腸及び直腸の悪性新生物	21	-	-	-	2	5	18	32	69	70	69	80
気管、気管支及び肺の悪性新生物	11	-	-	-	3	2	4	20	39	36	38	36
その他の悪性新生物	82	3	3	5	11	31	82	127	246	239	243	259
良性新生物及びその他の新生物	49	18	2	16	35	60	67	70	71	76	73	73
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12	12	4	19	18	10	8	8	11	25	17	19
貧血	7	8	-	13	12	6	6	2	6	13	9	9
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	5	4	6	6	4	2	5	5	11	8	10
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	228	8	11	11	39	76	202	421	715	539	641	663
甲状腺疾患	18	5	1	3	8	17	21	39	28	31	29	32
糖尿病	116	-	1	4	9	29	82	219	381	310	351	390
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	95	3	9	5	21	31	99	164	306	198	260	241
V 精神及び行動の障害	129	25	47	92	121	145	140	183	143	180	159	173
統合失調症、統合失調症傾向及び妄想性障害	36	1	7	23	51	42	51	53	29	18	24	25
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	42	-	1	34	31	50	41	68	51	73	60	66
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	34	-	15	25	22	36	43	46	47	45	46	50
その他の精神及び行動の障害	18	25	24	10	17	18	5	16	17	44	29	33
VI 神経系の疾患	69	15	41	12	42	42	47	86	154	194	170	193
VII 眼及び付属器の疾患	189	50	54	72	61	74	109	186	470	757	589	710
白内障	65	-	-	-	-	1	2	43	214	430	304	407
その他の眼及び付属器の疾患	123	50	54	72	61	73	107	142	255	326	285	303
VIII 耳及び乳突突起の疾患	60	164	92	10	18	16	29	57	133	146	139	157
外耳疾患	10	26	21	-	6	0	5	16	18	8	14	15
中耳炎	26	128	61	5	1	6	18	37	72	52	71	71
その他の中耳及び乳突突起の疾患	8	1	1	-	1	-	0	4	38	32	36	36
内耳疾患	6	-	-	0	7	2	7	8	10	22	15	16
その他の耳疾患	11	9	10	5	3	8	12	11	30	13	23	19
IX 循環器系の疾患	529	6	14	10	23	63	310	758	1514	2463	1909	2226
高血圧性疾患	361	1	0	1	6	42	224	557	1050	1614	1285	1470
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	95	3	2	2	6	10	47	106	230	445	320	386
虚血性心疾患	46	1	-	-	1	2	27	52	134	242	179	218
その他の心疾患	40	2	2	2	5	7	21	54	96	203	141	168
(脳血管疾患)(再掲)	59	1	0	1	4	6	24	75	165	315	227	279
脳梗塞	43	-	-	1	3	4	21	43	115	248	170	213
その他の脳血管疾患	16	1	0	-	1	2	2	32	50	67	57	66
その他の循環器系の疾患	23	1	11	6	7	6	15	20	69	99	77	90
X 呼吸器系の疾患	429	2216	794	223	272	260	249	257	421	509	458	499
急性上気道感染症	175	913	322	107	154	116	120	96	142	117	131	132
肺炎	5	23	1	5	0	1	2	2	3	25	13	18
急性気管支炎及び急性細気管支炎	56	301	81	15	41	65	39	24	44	48	46	43
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	20	63	8	10	1	10	21	23	31	55	41	45
喘息	88	710	239	33	33	26	36	49	47	78	60	71
その他の呼吸器系の疾患	85	206	143	52	42	43	32	63	153	185	167	189
XI 消化器系の疾患	926	392	566	463	669	770	889	1395	1680	1185	1472	1390
う蝕	190	342	348	164	174	147	162	178	219	106	172	154
歯肉炎及び歯肉腫	310	-	122	109	226	215	351	562	630	348	512	467
その他の歯及び歯の支持組織の障害	217	-	83	116	208	301	192	300	376	128	272	195
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	38	-	-	6	11	13	37	69	103	106	104	105
胃炎及び十二指腸炎	49	-	1	17	14	33	38	76	114	147	128	137
肝疾患	20	3	2	1	2	12	21	46	47	36	43	46
その他の消化器系の疾患	101	47	10	50	34	50	88	165	189	313	241	286
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	181	292	149	206	160	104	162	187	213	286	243	274
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	528	46	52	46	110	210	395	662	1397	2090	1686	1990
炎症性多発性関節障害	40	-	5	5	18	29	60	63	81	78	80	77
脊柱障害	289	1	11	23	65	135	216	366	793	1087	915	1055
骨の密度及び構造の障害	31	-	-	1	1	2	1	18	68	253	146	203
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	167	45	36	17	26	43	117	216	454	672	545	655
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	180	14	8	43	152	153	137	216	336	509	408	446
糸球体疾患、腎臓管間質性疾患及び腎不全	60	3	3	7	12	20	53	113	146	180	160	166
乳房及び女性生殖系の疾患	53	1	0	24	122	94	58	39	27	24	26	30
その他の腎尿路生殖系系の疾患	67	11	5	12	18	39	27	64	163	305	222	249
XV 妊娠、分娩及び産後	7	-	0	2	32	13	1	-	-	-	-	-
流産	2	-	-	0	6	4	-	-	-	-	-	-
妊娠高血圧症候群	0	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-
早産自然分娩	1	-	0	-	2	1	1	-	-	-	-	-
その他の妊娠、分娩及び産後	5	-	-	2	23	8	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	2	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天畸形、変形及び染色体異常	9	64	23	7	4	4	1	3	7	10	8	11
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	56	33	33	25	40	32	43	85	94	127	108	139
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	208	171	235	148	189	167	166	201	294	338	313	317
骨折	58	8	66	37	22	24	46	76	106	158	128	131
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	149	163	169	110	167	143	120	124	188	180	185	186
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	403	490	309	218	302	259	221	395	846	845	845	897
正常妊娠・産後・産後の管理	26	-	-	19	111	47	1	-	-	-	-	-
産後の補てつ	186	-	20	54	52	105	92	261	516	608	554	634
その他の保健サービス	191	490	288	145	138	107	128	135	329	237	290	263

[illegible]

神奈川 疾患別外来受療率
平成20年
閲覧第131表(子の3)

	女											
	総数	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上(再掲)	70歳以上(再掲)
神奈川												
総数	5065	3930	2350	2093	3171	3285	3974	6181	9655	10726	10143	10924
I 感染症及び寄生虫症	122	113	136	75	74	110	105	121	247	124	191	158
腸管感染症	15	66	34	14	15	8	6	2	21	5	14	9
結核	1	-	-	-	1	1	1	-	4	1	3	1
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	38	40	77	40	19	48	25	28	52	25	40	37
真菌症	31	2	-	11	22	35	47	40	59	36	48	41
その他の感染症及び寄生虫症	38	5	25	10	17	19	26	51	112	56	86	70
II 新生物	187	26	7	37	83	156	251	297	373	313	345	333
(悪性新生物)(再掲)	117	4	5	11	21	49	136	211	295	248	274	270
胃の悪性新生物	9	-	-	1	1	2	16	14	20	26	23	24
結腸及び直腸の悪性新生物	18	-	-	-	3	3	19	31	46	55	50	59
気管、気管支及び肺の悪性新生物	9	-	-	-	-	1	2	11	40	22	31	26
その他の悪性新生物	81	4	5	10	18	43	99	154	190	145	169	162
良性新生物及びその他の新生物	70	22	2	25	61	107	115	86	77	65	72	63
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13	4	1	13	19	17	9	11	14	16	15	13
貧血	8	3	-	11	12	11	7	4	9	11	10	8
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	2	1	2	6	6	2	7	5	5	5	6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	251	7	10	20	50	75	163	458	774	549	671	681
甲状腺障害	26	3	2	6	16	34	34	53	30	32	31	35
糖尿病	103	-	2	5	6	18	52	196	314	278	297	339
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	121	4	6	9	28	23	77	210	430	240	343	307
V 精神及び行動の障害	147	21	29	135	154	173	142	188	152	206	177	214
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	33	-	2	30	55	34	51	35	37	17	28	34
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	53	-	1	40	50	63	48	84	56	82	68	82
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	44	-	14	47	29	50	42	62	56	57	56	66
その他の精神及び行動の障害	17	21	12	18	20	25	1	8	3	49	24	33
VI 神経系の疾患	79	27	43	13	52	49	65	72	189	184	187	199
VII 眼及び付属器の疾患	240	50	66	98	69	73	140	226	607	842	714	826
白内障	88	-	-	-	-	1	1	56	283	481	373	471
その他の眼及び付属器の疾患	152	50	66	98	69	72	139	170	324	361	341	355
VIII 耳及び乳突突起の疾患	69	178	86	19	23	15	33	65	162	147	155	163
外耳疾患	11	25	30	-	12	1	2	18	17	12	15	20
中耳炎	24	138	40	8	-	6	1	13	42	60	50	63
その他の中耳及び乳突突起の疾患	9	-	-	-	1	-	-	6	40	36	38	37
内耳疾患	8	-	-	0	7	2	11	14	14	22	18	16
その他の耳疾患	16	16	16	10	4	7	19	14	49	17	34	27
IX 循環器系の疾患	549	2	11	6	29	51	232	723	1411	2461	1890	2222
高血圧性疾患	410	-	1	1	7	37	172	548	1093	1818	1423	1656
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	69	2										

横浜市 外来患者数の推計(受療率による試算)

(単位:人)

	H22		H42		差引	
	患者数	構成比	患者数	構成比	合計	率
総数	165,844		195,859		30,015	(18.1%)
総数2(除くⅤ 精神及び行動の障害を)	161,052	100.0%	190,695	100.0%	29,642	(18.4%)
I 感染症及び寄生虫症	4,402	2.7%	4,664	2.4%	262	(5.9%)
II 新生物	6,772	4.2%	8,489	4.5%	1,717	(25.4%)
(悪性新生物)(再掲)	4,916	3.1%	6,439	3.4%	1,523	(31.0%)
胃の悪性新生物	595	0.4%	842	0.4%	247	(41.5%)
結腸及び直腸の悪性新生物	791	0.5%	1,048	0.5%	258	(32.6%)
気管、気管支及び肺の悪性新生物	427	0.3%	562	0.3%	135	(31.7%)
その他の悪性新生物	3,102	1.9%	3,984	2.1%	882	(28.4%)
良性新生物及びその他の新生物	1,855	1.2%	2,048	1.1%	193	(10.4%)
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	455	0.3%	496	0.3%	41	(9.1%)
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	8,525	5.3%	10,591	5.6%	2,066	(24.2%)
甲状腺障害	683	0.4%	790	0.4%	107	(15.7%)
糖尿病	4,304	2.7%	5,519	2.9%	1,216	(28.2%)
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,542	2.2%	4,287	2.2%	746	(21.1%)
V 精神及び行動の障害	4,792	—	5,165	—	372	(7.8%)
VI 神経系の疾患	2,609	1.6%	3,171	1.7%	562	(21.5%)
VII 眼及び付属器の疾患	7,150	4.4%	9,468	5.0%	2,317	(32.4%)
白内障	2,536	1.6%	3,918	2.1%	1,382	(54.5%)
その他の眼及び付属器の疾患	4,612	2.9%	5,547	2.9%	935	(20.3%)
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2,236	1.4%	2,551	1.3%	315	(14.1%)
IX 循環器系の疾患	20,191	12.5%	28,761	15.1%	8,570	(42.4%)
高血圧性疾患	13,750	8.5%	19,422	10.2%	5,672	(41.3%)
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	3,290	2.0%	4,820	2.5%	1,530	(46.5%)
虚血性心疾患	1,764	1.1%	2,601	1.4%	837	(47.4%)
その他の心疾患	1,516	0.9%	2,209	1.2%	693	(45.7%)
(脳血管疾患)(再掲)	2,267	1.4%	3,354	1.8%	1,086	(47.9%)
脳梗塞	1,650	1.0%	2,483	1.3%	833	(50.5%)
その他の脳血管疾患	616	0.4%	867	0.5%	251	(40.7%)
その他の循環器系の疾患	885	0.5%	1,170	0.6%	285	(32.2%)
X 呼吸器系の疾患	15,679	9.7%	15,029	7.9%	△650	(△4.1%)
急性上気道感染症	6,358	3.9%	5,757	3.0%	△601	(△9.5%)
肺炎	188	0.1%	253	0.1%	65	(34.7%)
急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,039	1.3%	1,849	1.0%	△190	(△9.3%)
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	752	0.5%	900	0.5%	148	(19.8%)
喘息	3,185	2.0%	2,826	1.5%	△359	(△11.3%)
その他の呼吸器系の疾患	3,165	2.0%	3,452	1.8%	288	(9.1%)
X I 消化器系の疾患	34,272	21.3%	37,165	19.5%	2,893	(8.4%)
う蝕	6,961	4.3%	6,594	3.5%	△367	(△5.3%)
歯肉炎及び歯周疾患	11,457	7.1%	12,649	6.6%	1,191	(10.4%)
その他の歯及び歯の支持組織の障害	8,005	5.0%	8,013	4.2%	8	(0.1%)
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,444	0.9%	1,841	1.0%	398	(27.6%)
胃炎及び十二指腸炎	1,848	1.1%	2,334	1.2%	485	(26.3%)
肝疾患	736	0.5%	883	0.5%	147	(19.9%)
その他の消化器系の疾患	3,808	2.4%	4,836	2.5%	1,028	(27.0%)
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6,632	4.1%	7,137	3.7%	504	(7.6%)
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,059	12.5%	26,875	14.1%	6,816	(34.0%)
炎症性多発性関節障害	1,486	0.9%	1,744	0.9%	258	(17.4%)
脊柱障害	10,982	6.8%	14,548	7.6%	3,567	(32.5%)
骨の密度及び構造の障害	1,221	0.8%	2,005	1.1%	784	(64.2%)
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	6,366	4.0%	8,573	4.5%	2,207	(34.7%)
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	6,741	4.2%	8,273	4.3%	1,532	(22.7%)
X V 妊娠、分娩及び産後	260	0.2%	215	0.1%	△45	(△17.2%)
X VI 周産期に発生した病態	65	0.0%	45	0.0%	△20	(△30.9%)
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	330	0.2%	298	0.2%	△32	(△9.6%)
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見 で他に分類されないもの	2,082	1.3%	2,444	1.3%	362	(17.4%)
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7,649	4.7%	8,180	4.3%	531	(6.9%)
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	14,953	9.3%	16,848	8.8%	1,895	(12.7%)

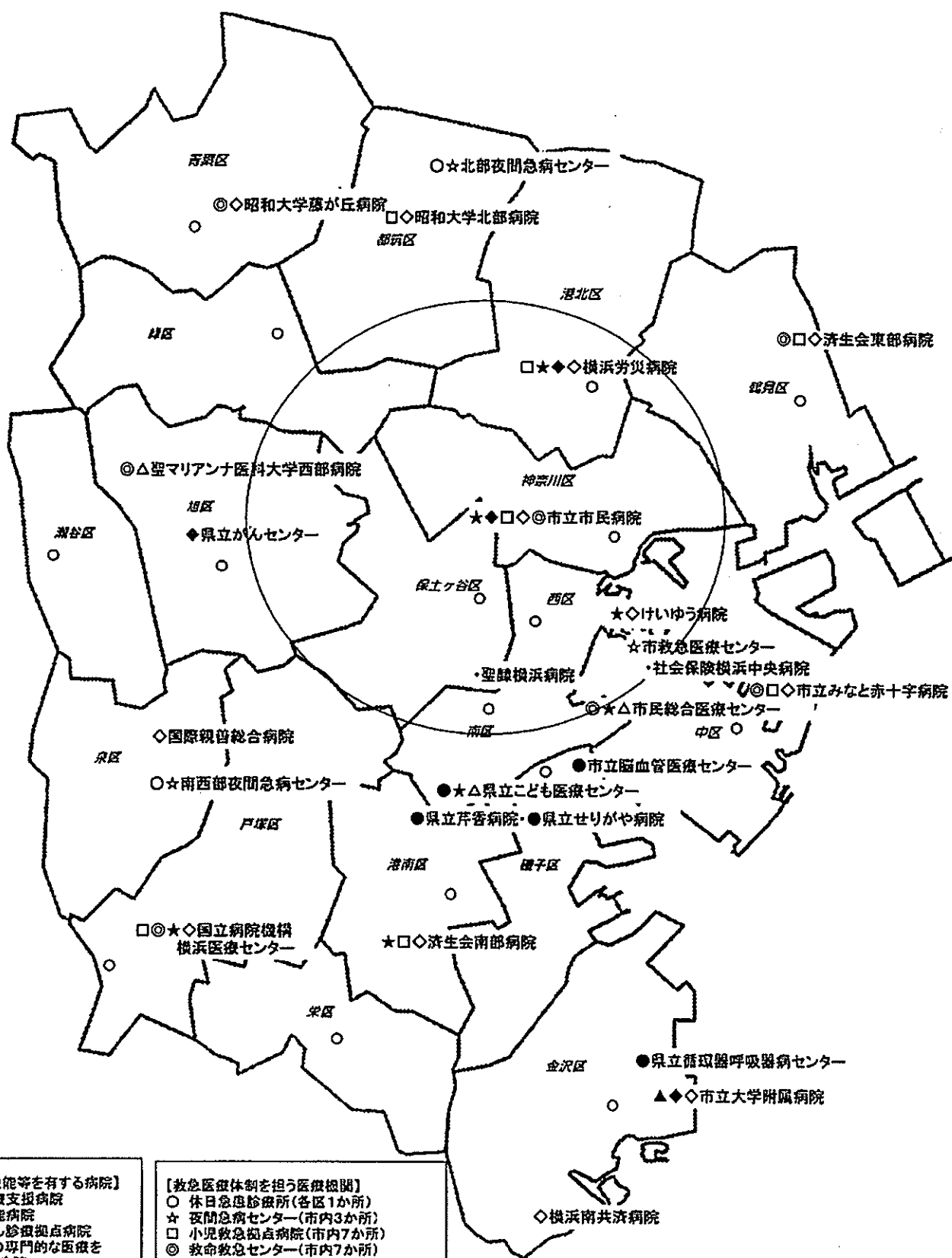
※推計方法

H22: ΣH22 年齢別人口(横浜市将来推計人口より)×H20 年齢別受療率(厚生労働省患者調査3閲覧第131-3表より)

H42: ΣH42 年齢別人口(横浜市将来推計人口より)×H20 年齢別受療率(厚生労働省患者調査3閲覧第131-3表より)

横浜市の主な医療施設の配置状況

平成22年4月



【専門的な機能等を有する病院】

- ★ 地域医療支援病院
- ▲ 特定機能病院
- ◆ 地域がん診療拠点病院
- その他の専門的な医療を提供する病院
(国立病院機構・県立の病院等)

【救急医療体制を担う医療機関】

- 休日急患診療所(各区1か所)
- ☆ 夜間急病センター(市内3か所)
- 小児救急拠点病院(市内7か所)
- ◎ 救命救急センター(市内7か所)
- △ 周産期センター(三次救急)(市内3か所)
- ◇ 周産期救急連携病院(市内12か所)

①MDC別・医療機関別件数【市内シェア】
(手術なし・あり計)

施設名	病床数		01		02		03		04		05		06		07		08	
			神経		眼科		耳鼻		呼吸		循環		消化		筋骨		皮膚	
			DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数	
横浜市民病院	650	5.2%	369	5.4%	181	3.6%	195	4.1%	1,275	9.2%	479	3.6%	1,811	7.0%	323	4.7%	81	5.1%
横浜市民みなと赤十字病院	654	5.3%	311	4.5%	147	2.9%	413	8.7%	814	5.9%	813	6.0%	1,249	4.9%	357	5.2%	51	3.2%
公立大学法人 横浜国立大学 附属病院	623	5.0%	344	5.0%	324	6.5%	268	5.7%	257	1.9%	359	2.7%	1,371	5.3%	617	9.0%	67	4.2%
公立大学法人 横浜国立大学 附属 市民総合医療センター	720	5.8%	404	5.9%	393	7.8%	263	5.6%	524	3.8%	860	6.4%	1,313	5.1%	564	8.2%	97	6.1%
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	518	4.2%	379	5.5%	264	5.3%	202	4.3%	477	3.4%	583	4.3%	815	3.2%	308	4.5%	64	4.0%
昭和大学横浜市北部病院	661	5.3%	150	2.2%	509	10.2%	284	6.0%	632	4.6%	630	4.7%	2,176	8.5%	268	3.9%	55	3.5%
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	510	4.1%	457	6.7%	99	2.0%	44	0.9%	640	4.6%	339	2.5%	857	3.3%	167	2.4%	62	3.9%
独立行政法人 労働者健康福 祉機構 横浜労災病院	650	5.2%	847	12.3%	347	6.9%	380	8.0%	914	6.6%	928	6.9%	1,032	4.0%	601	8.7%	173	10.9%
恩賜財団済生会横浜市南部病院	500	4.0%	254	3.7%	312	6.2%	295	6.2%	751	5.4%	715	5.3%	1,419	5.5%	294	4.3%	194	12.2%
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	556	4.5%	420	6.1%	37	0.7%	72	1.5%	698	5.0%	1,902	14.1%	1,403	5.5%	306	4.4%	51	3.2%
神奈川県立がんセンター	415	3.3%	49	0.7%	0	0.0%	128	2.7%	587	4.2%	0	0.0%	1,282	5.0%	190	2.8%	0	0.0%
社会保険横浜中央病院	350	2.8%	91	1.3%	73	1.5%	29	0.6%	144	1.0%	234	1.7%	571	2.2%	102	1.5%	50	3.2%
聖隷横浜病院	300	2.4%	141	2.1%	95	1.9%	294	6.2%	450	3.2%	293	2.2%	394	1.5%	40	0.6%	28	1.8%
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	410	3.3%	76	1.1%	544	10.9%	254	5.4%	400	2.9%	452	3.4%	995	3.9%	312	4.5%	81	5.1%
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	591	4.7%	321	4.7%	283	5.6%	379	8.0%	535	3.9%	594	4.4%	889	3.5%	720	10.5%	57	3.6%
医療法人五星会 菊名記念病院	218	1.8%	149	2.2%	0	0.0%	37	0.8%	318	2.3%	673	5.0%	688	2.7%	47	0.7%	15	0.9%
昭和大学藤が丘病院	602	4.8%	122	1.8%	297	5.9%	246	5.2%	447	3.2%	556	4.1%	1,167	4.5%	408	5.9%	84	5.3%
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	97	0.8%	20	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	83	0.6%	121	0.9%	303	1.2%	52	0.8%	10	0.6%
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	188	1.5%	80	1.2%	70	1.4%	103	2.2%	189	1.4%	48	0.4%	328	1.3%	191	2.8%	12	0.8%
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	292	2.3%	127	1.9%	134	2.7%	15	0.3%	170	1.2%	113	0.8%	369	1.4%	134	1.9%	31	2.0%
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	397	3.2%	72	1.0%	181	3.6%	66	1.4%	396	2.9%	349	2.6%	685	2.7%	122	1.8%	39	2.5%
医療法人社団恵生会 上白根病院	150	1.2%	106	1.5%	0	0.0%	31	0.7%	227	1.6%	54	0.4%	373	1.5%	47	0.7%	0	0.0%
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	199	1.6%	209	3.0%	31	0.6%	34	0.7%	198	1.4%	56	0.4%	542	2.1%	63	0.9%	13	0.8%
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	455	3.7%	301	4.4%	90	1.8%	275	5.8%	443	3.2%	702	5.2%	885	3.4%	115	1.7%	127	8.0%
医療法人社団明芳会 横浜新 都市脳神経外科病院	216	1.7%	371	5.4%	0	0.0%	35	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	0.2%	0	0.0%
金沢文庫病院	147	1.2%	60	0.9%	54	1.1%	14	0.3%	99	0.7%	42	0.3%	212	0.8%	22	0.3%	16	1.0%
医療法人柏堤会(財団)戸塚共 立第1病院	148	1.2%	54	0.8%	86	1.7%	114	2.4%	230	1.7%	84	0.6%	355	1.4%	35	0.5%	13	0.8%
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	300	2.4%	162	2.4%	227	4.5%	114	2.4%	242	1.7%	466	3.5%	1,021	4.0%	218	3.2%	0	0.0%
神奈川県立循環器呼吸器病センター	179	1.4%	12	0.2%	0	0.0%	42	0.9%	952	6.9%	722	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
湘南泉病院	156	1.3%	161	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	280	2.0%	24	0.2%	115	0.4%	16	0.2%	18	1.1%
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	153	1.2%	168	2.4%	53	1.1%	24	0.5%	66	0.5%	17	0.1%	292	1.1%	49	0.7%	0	0.0%
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	183	1.5%	57	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	155	1.1%	37	0.3%	204	0.8%	15	0.2%	13	0.8%
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	260	2.1%	19	0.3%	182	3.6%	80	1.7%	291	2.1%	211	1.6%	578	2.2%	170	2.5%	83	5.2%
計	12448	100.0%	6,863	100.0%	5,013	100.0%	4,730	100.0%	13,884	100.0%	13,456	100.0%	25,694	100.0%	6,889	100.0%	1,585	100.0%

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「MDC別・医療機関別件数」より抜粋した。

①MDC別・医療機関別件数【市内シェア】
(手術なし・あり計)

平成21年																							
09		10		11		12		13		14		15		16		17		18		計			
乳房		内分		腎尿		女性		血液		新生		小児		外傷		精神		その他					
DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数		DPC患者数			
51	4.6%	226	6.2%	501	6.1%	348	5.5%	323	13.3%	161	9.3%	126	10.1%	395	5.8%	29	37.2%	115	6.6%	6,989	6.3%		
57	5.2%	142	3.9%	501	6.1%	231	3.6%	197	8.1%	96	5.5%	66	5.3%	501	7.3%	0	0.0%	180	10.4%	6,126	5.5%		
48	4.4%	238	6.5%	389	4.7%	535	8.4%	199	8.2%	145	8.4%	24	1.9%	94	1.4%	0	0.0%	120	6.9%	5,399	4.8%		
167	15.2%	301	8.2%	540	6.6%	399	6.3%	213	8.7%	151	8.7%	45	3.6%	288	4.2%	0	0.0%	85	4.9%	6,607	5.9%		
59	5.4%	200	5.5%	187	2.3%	259	4.1%	130	5.3%	139	8.0%	42	3.4%	249	3.6%	0	0.0%	56	3.2%	4,413	4.0%		
44	4.0%	178	4.9%	439	5.3%	587	9.2%	100	4.1%	196	11.3%	86	6.9%	277	4.0%	0	0.0%	60	3.5%	6,671	6.0%		
10	0.9%	140	3.8%	161	2.0%	525	8.3%	38	1.6%	104	6.0%	63	5.0%	212	3.1%	0	0.0%	52	3.0%	3,970	3.6%		
63	5.7%	324	8.9%	774	9.4%	339	5.3%	135	5.5%	151	8.7%	94	7.5%	469	6.8%	39	50.0%	74	4.3%	7,684	6.9%		
78	7.1%	161	4.4%	397	4.8%	335	5.3%	73	3.0%	77	4.5%	109	8.7%	285	4.2%	0	0.0%	83	4.8%	5,832	5.2%		
67	6.1%	276	7.6%	540	6.6%	271	4.3%	58	2.4%	113	6.5%	90	7.2%	377	5.5%	0	0.0%	157	9.1%	6,838	6.1%		
103	9.4%	59	1.6%	251	3.0%	586	9.2%	227	9.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55	3.2%	3,517	3.2%		
25	2.3%	74	2.0%	216	2.6%	0	0.0%	39	1.6%	0	0.0%	14	1.1%	233	3.4%	0	0.0%	24	1.4%	1,919	1.7%		
0	0.0%	125	3.4%	185	2.2%	155	2.4%	71	2.9%	32	1.8%	44	3.5%	104	1.5%	0	0.0%	33	1.9%	2,484	2.2%		
93	8.5%	117	3.2%	290	3.5%	547	8.6%	68	2.8%	71	4.1%	59	4.7%	150	2.2%	0	0.0%	47	2.7%	4,556	4.1%		
83	7.6%	148	4.1%	572	6.9%	266	4.2%	132	5.4%	143	8.3%	51	4.1%	348	5.1%	0	0.0%	83	4.8%	5,604	5.0%		
0	0.0%	60	1.6%	147	1.8%	0	0.0%	28	1.1%	0	0.0%	49	3.9%	259	3.8%	0	0.0%	89	5.1%	2,559	2.3%		
70	6.4%	148	4.1%	386	4.7%	582	9.2%	210	8.6%	151	8.7%	31	2.5%	268	3.9%	0	0.0%	99	5.7%	5,272	4.7%		
0	0.0%	104	2.8%	65	0.8%	0	0.0%	15	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	136	2.0%	0	0.0%	35	2.0%	944	0.8%		
0	0.0%	35	1.0%	107	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	29	2.3%	91	1.3%	10	12.8%	0	0.0%	1,293	1.2%		
0	0.0%	33	0.9%	74	0.9%	0	0.0%	10	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	350	5.1%	0	0.0%	34	2.0%	1,594	1.4%		
21	1.9%	38	1.0%	175	2.1%	0	0.0%	44	1.8%	0	0.0%	53	4.2%	280	4.1%	0	0.0%	70	4.0%	2,591	2.3%		
0	0.0%	24	0.7%	41	0.5%	0	0.0%	21	0.9%	0	0.0%	24	1.9%	133	1.9%	0	0.0%	33	1.9%	1,114	1.0%		
13	1.2%	27	0.7%	151	1.8%	37	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	13	1.0%	233	3.4%	0	0.0%	16	0.9%	1,636	1.5%		
35	3.2%	176	4.8%	329	4.0%	0	0.0%	31	1.3%	0	0.0%	30	2.4%	214	3.1%	0	0.0%	76	4.4%	3,829	3.4%		
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	179	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	601	0.5%		
0	0.0%	24	0.7%	26	0.3%	0	0.0%	10	0.4%	0	0.0%	27	2.2%	38	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	644	0.6%		
0	0.0%	112	3.1%	98	1.2%	0	0.0%	13	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	172	2.5%	0	0.0%	13	0.8%	1,379	1.2%		
0	0.0%	27	0.7%	481	5.8%	354	5.6%	11	0.5%	0	0.0%	33	2.6%	142	2.1%	0	0.0%	14	0.8%	3,512	3.1%		
0	0.0%	12	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1,740	1.6%		
0	0.0%	49	1.3%	102	1.2%	0	0.0%	13	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	46	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	824	0.7%		
0	0.0%	19	0.5%	13	0.2%	0	0.0%	12	0.5%	0	0.0%	10	0.8%	51	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	774	0.7%		
0	0.0%	26	0.7%	29	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.8%	92	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	638	0.6%		
12	1.1%	29	0.8%	72	0.9%	0	0.0%	15	0.6%	0	0.0%	30	2.4%	197	2.9%	0	0.0%	27	1.6%	1,996	1.8%		
1,099	100.0%	3,652	100.0%	8,239	100.0%	6,356	100.0%	2,436	100.0%	1,730	100.0%	1,252	100.0%	6,863	100.0%	78	100.0%	1,730	100.0%	111,549	100.0%		

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「MDC別・医療機関別件数」より抜粋した。

横浜市内 DPC対象病院 施設別MDC別比率(平成21年7～12月退院患者)

施設名	比率									
	MDC01 神経	MDC02 眼科	MDC03 耳鼻	MDC04 呼吸	MDC05 循環	MDC06 消化	MDC07 筋骨	MDC08 皮膚	MDC09 乳房	MDC10 内分
横浜市民立市民病院	5.2%	2.6%	2.8%	18.1%	6.8%	25.6%	4.5%	1.2%	0.8%	3.2%
横浜市立みなと赤十字病院	5.0%	2.4%	6.7%	13.2%	13.2%	20.3%	5.8%	0.9%	0.9%	2.3%
公立大学法人 横浜市立大学 附属病院	6.3%	5.9%	4.9%	4.7%	6.6%	25.2%	11.4%	1.3%	1.0%	4.4%
公立大学法人 横浜市立大学 附属 市民総合医療センター	5.9%	5.7%	3.8%	7.7%	12.6%	19.2%	8.3%	1.4%	2.4%	4.4%
聖マリアンナ医科大学横浜市 西部病院	8.0%	5.7%	4.3%	10.1%	12.3%	17.2%	6.5%	1.4%	1.2%	4.3%
昭和大学横浜市北部病院	2.3%	7.5%	4.2%	9.3%	9.3%	32.3%	4.0%	0.8%	0.6%	2.7%
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	11.2%	2.5%	1.2%	15.6%	8.3%	20.9%	4.1%	1.7%	0.5%	3.4%
独立行政法人 労働者健康福 祉機構 横浜労災病院	10.8%	4.4%	4.8%	11.6%	11.8%	13.1%	7.6%	2.2%	0.8%	4.1%
恩賜財団済生会横浜市南部病 院	4.3%	5.3%	4.9%	12.6%	12.0%	23.8%	4.9%	3.3%	1.3%	2.7%
恩賜財団 済生会 横浜市東 部病院	6.0%	0.6%	1.0%	9.8%	27.0%	19.7%	4.3%	0.8%	1.0%	4.0%
神奈川県立がんセンター	1.3%	0.0%	3.5%	16.2%	0.0%	35.3%	5.3%	0.2%	5.5%	1.9%
社会保険横浜中央病院	4.6%	4.5%	1.5%	7.4%	11.9%	29.4%	5.2%	2.5%	1.3%	4.0%
聖隷横浜病院	5.5%	3.7%	11.4%	17.5%	11.4%	15.3%	1.6%	1.2%	0.6%	4.9%
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	1.8%	11.9%	5.5%	8.7%	9.8%	21.6%	6.8%	1.8%	2.0%	2.5%
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	5.6%	4.9%	6.6%	9.4%	10.3%	15.5%	12.5%	1.1%	1.5%	2.6%
医療法人五星会 菊名記念病院	5.7%	0.0%	1.4%	12.3%	26.0%	26.6%	2.0%	0.7%	0.2%	2.7%
昭和大学藤が丘病院	2.3%	5.4%	4.6%	8.4%	10.1%	21.2%	7.5%	1.5%	1.2%	3.0%
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	2.7%	0.0%	0.5%	8.5%	12.3%	31.8%	5.3%	1.3%	0.1%	10.5%
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	6.1%	5.3%	7.8%	14.4%	4.3%	24.8%	14.4%	1.1%	0.0%	2.7%
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	7.8%	8.3%	0.9%	10.5%	7.0%	22.7%	8.3%	2.3%	0.0%	2.2%
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	3.1%	7.0%	2.5%	15.0%	13.2%	26.0%	4.6%	1.6%	0.8%	1.7%
医療法人社団恵生会 上白根病院	9.2%	0.0%	2.8%	19.9%	5.2%	32.4%	4.1%	1.0%	0.3%	2.3%
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	12.5%	1.9%	2.1%	11.9%	3.4%	32.5%	3.8%	0.8%	1.3%	1.7%
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	7.8%	2.4%	7.1%	11.5%	18.2%	22.9%	3.0%	3.3%	1.0%	4.6%
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	58.5%	0.0%	5.7%	1.6%	0.6%	0.5%	2.8%	0.2%	0.0%	0.5%
金沢文庫病院	8.5%	8.1%	2.0%	15.2%	6.4%	30.1%	4.4%	2.4%	0.9%	3.7%
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	3.9%	6.0%	8.0%	16.2%	5.9%	24.9%	2.9%	0.9%	0.1%	7.9%
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	4.3%	6.2%	3.0%	6.6%	12.5%	27.3%	5.8%	0.2%	0.0%	0.9%
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0.7%	0.0%	2.3%	53.4%	40.2%	0.4%	0.2%	0.3%	0.0%	0.7%
湘南泉病院	19.0%	0.0%	0.2%	33.5%	2.8%	13.6%	2.1%	2.2%	0.0%	5.9%
財団法人横浜労働者福祉協会 汐田総合病院	20.6%	6.9%	2.9%	8.3%	2.7%	36.1%	6.0%	1.0%	0.7%	2.5%
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	9.5%	0.0%	0.4%	23.0%	5.6%	30.2%	3.1%	1.9%	0.4%	4.1%
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	1.1%	9.4%	4.0%	14.5%	10.4%	28.5%	8.4%	4.1%	0.8%	1.6%
全国平均	6.5%	4.7%	4.0%	11.8%	10.3%	23.2%	5.7%	1.1%	1.3%	3.1%

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料1「施設別MDC別比率(平成21年7月～12月退院患者数)」より抜粋した。

横浜市内 DPC対象病院 施設別MDC別比率(平成21年7～12月退院患者)

施設名										件数
	MDC11 腎尿	MDC12 女性	MDC13 血液	MDC14 新生	MDC15 小児	MDC16 外傷	MDC17 精神	MDC18 その他	全体	全体
横浜市民立市民病院	7.1%	5.8%	4.6%	2.5%	1.8%	5.6%	0.4%	1.6%	100.0%	7,107
横浜市立みなと赤十字病院	8.1%	4.3%	3.2%	1.6%	1.1%	8.1%	0.0%	2.9%	100.0%	6,187
公立大学法人 横浜市立大学 附属病院	7.1%	10.5%	3.7%	2.7%	0.4%	1.8%	0.0%	2.2%	100.0%	5,460
公立大学法人 横浜市立大学 附属 市民総合医療センター	7.9%	9.1%	3.1%	2.2%	0.7%	4.2%	0.0%	1.2%	100.0%	6,848
聖マリアンナ医科大学横浜市 西部病院	4.0%	10.1%	2.8%	4.9%	0.9%	5.2%	0.0%	1.2%	100.0%	4,751
昭和大学横浜市北部病院	6.5%	9.0%	1.6%	3.6%	1.3%	4.1%	0.1%	0.9%	100.0%	6,789
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	4.0%	13.9%	1.1%	3.4%	1.6%	5.3%	0.1%	1.3%	100.0%	4,099
独立行政法人 労働者健康福 祉機構 横浜労災病院	9.8%	6.5%	1.7%	2.1%	1.2%	6.0%	0.5%	0.9%	100.0%	7,885
恩賜財団済生会横浜市南部病 院	6.7%	7.3%	1.4%	1.5%	1.8%	4.8%	0.1%	1.4%	100.0%	5,976
恩賜財団 済生会 横浜市東 部病院	7.6%	6.6%	0.9%	1.6%	1.3%	5.4%	0.1%	2.2%	100.0%	7,131
神奈川県立がんセンター	6.9%	16.1%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%	3,635
社会保険横浜中央病院	11.1%	0.2%	2.1%	0.0%	0.7%	11.9%	0.1%	1.6%	100.0%	1,986
聖隷横浜病院	7.2%	7.7%	3.1%	1.7%	1.7%	4.0%	0.3%	1.3%	100.0%	2,573
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	6.3%	12.6%	1.5%	1.6%	1.3%	3.3%	0.0%	1.0%	100.0%	4,611
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	9.9%	6.9%	2.3%	2.5%	0.9%	6.1%	0.0%	1.4%	100.0%	5,758
医療法人五星会 菊名記念病院	5.7%	0.2%	1.3%	0.0%	1.9%	10.0%	0.1%	3.4%	100.0%	2,593
昭和大学藤が丘病院	7.0%	13.2%	3.9%	3.0%	0.6%	5.0%	0.1%	1.9%	100.0%	5,688
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	6.6%	0.3%	1.9%	0.2%	0.3%	13.9%	0.1%	3.5%	100.0%	986
医療法人 横浜博助会 西横浜国際総合病院	8.1%	0.1%	0.5%	0.0%	2.3%	6.9%	0.8%	0.4%	100.0%	1,322
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	4.6%	0.1%	0.7%	0.0%	0.4%	21.7%	0.4%	2.1%	100.0%	1,622
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	6.6%	0.2%	1.7%	0.4%	2.1%	10.7%	0.3%	2.6%	100.0%	2,646
医療法人社団恵生会 上白根病院	3.8%	0.1%	2.0%	0.1%	2.1%	11.6%	0.3%	2.9%	100.0%	1,155
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	9.1%	2.3%	0.7%	0.0%	0.8%	14.0%	0.0%	1.5%	100.0%	1,670
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	8.5%	0.0%	1.0%	0.2%	0.8%	5.5%	0.2%	2.0%	100.0%	3,863
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	28.2%	0.5%	0.3%	100.0%	634
金沢文庫病院	3.8%	0.6%	2.0%	0.0%	3.8%	5.4%	0.4%	2.3%	100.0%	704
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	6.9%	0.1%	1.5%	0.0%	0.6%	12.1%	0.6%	1.5%	100.0%	1,424
社会福祉法人 鏡香福祉協会 国際医療総合病院	13.0%	12.4%	0.5%	2.0%	0.9%	3.8%	0.0%	0.6%	100.0%	3,741
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0.3%	0.0%	0.6%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.4%	100.0%	1,797
湘南泉病院	12.1%	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%	6.1%	0.0%	0.4%	100.0%	848
財団法人横浜労働者福祉協会 汐田総合病院	1.7%	0.0%	1.5%	0.0%	1.3%	6.3%	0.6%	0.9%	100.0%	815
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	5.5%	0.1%	0.4%	0.0%	1.5%	13.6%	0.0%	0.4%	100.0%	675
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	3.5%	0.2%	0.8%	0.0%	1.5%	9.8%	0.0%	1.3%	100.0%	2,030
全国平均	7.8%	6.6%	2.3%	2.1%	1.3%	6.3%	0.2%	1.6%	100.0%	

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料1「施設別MDC別比率(平成21年7月～12月退院患者数)」より抜粋した。

施設名	総数	手術、化学療法、放射線療法、救急車搬送のうち										全身麻酔	
		手術有		化学療法有		放射線療法有		救急車搬送有		いずれか有			
地域中核病院等													
横浜市民病院	7107	2861	40.3%	859	8.3%	49	0.7%	979	13.8%	4199	59.1%	1486	20.9%
横浜市立みなと赤十字病院	6187	2562	41.4%	510	8.2%	103	1.7%	1550	25.1%	4059	65.6%	1143	18.5%
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	5460	2714	49.7%	846	15.5%	240	4.4%	211	3.9%	3611	66.1%	1677	30.7%
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	6848	3568	52.1%	617	9.0%	87	1.3%	795	11.6%	4482	65.4%	1856	27.1%
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	4751	2025	42.6%	386	8.1%	0	0.0%	492	10.4%	2710	57.0%	1129	23.8%
昭和大学横浜市北部病院	6789	3525	51.9%	1107	16.3%	95	1.4%	328	4.8%	4751	70.0%	1902	28.0%
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	4099	1604	39.1%	408	10.0%	33	0.8%	721	17.6%	2486	60.6%	417	10.2%
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	7885	3518	44.6%	523	6.6%	414	5.3%	1202	15.2%	5181	65.7%	1762	22.3%
恩賜財団済生会横浜市南部病院	5976	2569	43.0%	343	5.7%	27	0.5%	873	14.6%	3484	58.3%	1212	20.3%
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	7131	3196	44.8%	366	5.1%	92	1.3%	1016	14.2%	4137	58.0%	1578	22.1%
その他病院													
神奈川県立がんセンター	3635	1464	40.3%	1670	45.9%	191	5.3%	42	1.2%	2990	82.3%	967	26.6%
社会保険横浜中央病院	1986	782	39.4%	85	4.3%	0	0.0%	412	20.7%	1137	57.3%	368	18.5%
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	5758	2947	51.2%	242	4.2%	1	0.0%	557	9.7%	3489	60.6%	1684	29.2%
医療法人五星会 菊名記念病院	2593	1170	45.1%	44	1.7%	0	0.0%	775	29.9%	1728	66.6%	503	19.4%
昭和大学藤が丘病院	5688	2864	50.4%	756	13.3%	74	1.3%	596	10.5%	3885	68.3%	1549	27.2%
聖隷横浜病院	2573	938	36.5%	108	4.2%	0	0.0%	496	19.3%	1437	55.8%	419	16.3%
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	986	514	52.1%	33	3.3%	0	0.0%	194	19.7%	652	66.1%	254	25.8%
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	1322	497	37.6%	44	3.3%	0	0.0%	174	13.2%	683	51.7%	299	22.6%
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	1622	736	45.4%	26	1.6%	0	0.0%	331	20.4%	977	60.2%	415	25.6%
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	2646	1231	46.5%	67	2.5%	0	0.0%	530	20.0%	1651	62.4%	672	25.4%
医療法人社団恵生会 上白根病院	1155	356	30.8%	28	2.4%	0	0.0%	273	23.6%	598	51.8%	235	20.3%
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	1670	700	41.9%	67	4.0%	0	0.0%	396	23.7%	1045	62.6%	299	17.9%
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	3863	1777	46.0%	188	4.9%	0	0.0%	660	17.1%	2358	61.0%	816	21.1%
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	634	218	34.4%	2	0.3%	0	0.0%	246	38.8%	414	65.3%	113	17.8%
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	4611	2437	52.9%	429	9.3%	53	1.1%	418	9.1%	3110	67.4%	1301	28.2%
金沢文庫病院	704	190	27.0%	25	3.6%	0	0.0%	117	16.6%	304	43.2%	58	8.2%
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	1424	448	31.5%	9	0.6%	0	0.0%	537	37.7%	865	60.7%	164	11.5%
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	3741	1879	50.2%	322	8.6%	0	0.0%	352	9.4%	2417	64.6%	1011	27.0%
神奈川県立循環器呼吸器病センター	1797	392	21.8%	232	12.9%	57	3.2%	141	7.8%	746	41.5%	196	10.9%
湘南泉病院	848	111	13.1%	2	0.2%	0	0.0%	133	15.7%	232	27.4%	31	3.7%
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	815	299	36.7%	69	8.5%	0	0.0%	151	18.5%	469	57.5%	127	15.6%
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	675	169	25.0%	46	6.8%	0	0.0%	80	11.9%	275	40.7%	112	16.6%
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	2030	868	42.8%	167	8.2%	0	0.0%	263	13.0%	1187	58.5%	373	18.4%

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料1「手術、化学療法、放射線療法、救急車搬送、全身麻酔の割合」より抜粋した。

※7～12月(6ヶ月)データ。

※手術有りは様式1から取得(輸血は除く)。

※化学療法有りは悪性腫瘍の分類に該当し、Fファイルに抗悪性腫瘍剤があった場合有りとする。

※全身麻酔はL007開放点滴式全身麻酔またはL008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を行った場合有りとする。

横浜市内 DPC対象病院 救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC別集計

施設名	MDC															
	01		02		03		04		05		06		07		08	
	神経	（率）	眼科	（率）	耳鼻	（率）	呼吸	（率）	循環	（率）	消化	（率）	筋骨	（率）	皮膚	（率）
	よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に		よる救急搬送に	
横浜市民病院	172	6.8%	-	-	31	8.6%	195	7.4%	230	7.2%	177	6.7%	-	-	-	-
横浜市立みなと赤十字病院	206	8.1%	-	-	24	6.7%	249	9.4%	230	7.2%	255	9.6%	41	12.4%	-	-
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	20	0.8%	-	-	14	3.9%	37	1.4%	23	0.7%	60	2.3%	-	-	-	-
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	115	4.5%	-	-	-	-	88	3.3%	365	11.4%	75	2.8%	13	3.9%	-	-
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	110	4.3%	-	-	-	-	57	2.2%	174	5.4%	61	2.3%	-	-	-	-
昭和大学横浜市北部病院	45	1.8%	-	-	-	-	68	2.6%	42	1.3%	47	1.8%	-	-	-	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	212	8.4%	-	-	23	6.4%	135	5.1%	129	4.0%	79	3.0%	-	-	-	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	227	9.0%	-	-	34	9.5%	174	6.6%	350	10.9%	170	6.4%	20	6.1%	-	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	103	4.1%	-	-	25	7.0%	178	6.7%	260	8.1%	173	6.5%	24	7.3%	-	-
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	199	7.9%	-	-	-	-	116	4.4%	280	8.7%	159	6.0%	13	3.9%	-	-
神奈川県立がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	0.7%	-	-	-	-
社会保険横浜中央病院	44	1.7%	-	-	10	2.8%	44	1.7%	41	1.3%	71	2.7%	23	7.0%	-	-
聖隷横浜病院	71	2.8%	-	-	28	7.8%	99	3.7%	58	1.8%	65	2.5%	-	-	-	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	32	1.3%	-	-	10	2.8%	85	3.2%	55	1.7%	109	4.1%	10	3.0%	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	-	-	-	-	-	-	52	2.0%	23	0.7%	74	2.8%	22	6.7%	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	105	4.2%	-	-	18	5.0%	75	2.8%	75	2.3%	84	3.2%	16	4.8%	-	-
医療法人五星会 菊名記念病院	82	3.2%	-	-	19	5.3%	127	4.8%	138	4.3%	129	4.9%	25	7.6%	-	-
昭和大学藤が丘病院	54	2.1%	-	-	-	-	78	3.0%	216	6.7%	88	3.3%	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	11	0.4%	-	-	-	-	16	0.6%	12	0.4%	49	1.8%	16	4.8%	-	-
医療法人 横浜博萌会 西横浜国際総合病院	28	1.1%	-	-	-	-	40	1.5%	16	0.5%	30	1.1%	10	3.0%	-	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	36	1.4%	-	-	-	-	53	2.0%	12	0.4%	46	1.7%	25	7.6%	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	36	1.4%	-	-	22	6.1%	103	3.9%	85	2.6%	113	4.3%	21	6.4%	-	-
医療法人社団 恵生会 上白根病院	42	1.7%	-	-	20	5.6%	58	2.2%	16	0.5%	40	1.5%	10	3.0%	-	-
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	97	3.8%	-	-	24	6.7%	76	2.9%	11	0.3%	84	3.2%	10	3.0%	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	141	5.6%	-	-	18	5.0%	125	4.7%	157	4.9%	111	4.2%	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	139	5.5%	-	-	28	7.8%	-	-	-	-	-	-	13	3.9%	-	-
金沢文庫病院	13	0.5%	-	-	-	-	17	0.6%	-	-	34	1.3%	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	34	1.3%	-	-	-	-	117	4.4%	38	1.2%	115	4.3%	18	5.5%	-	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	100	4.0%	-	-	-	-	26	1.0%	82	2.6%	82	3.1%	-	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	-	-	-	-	-	-	47	1.8%	81	2.5%	-	-	-	-	-	-
湘南泉病院	12	0.5%	-	-	-	-	68	2.6%	-	-	14	0.5%	-	-	-	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	43	1.7%	-	-	11	3.1%	18	0.7%	11	0.3%	28	1.1%	-	-	-	-
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	-	-	-	-	-	-	22	0.8%	-	-	12	0.5%	-	-	-	-
合計	2,529	100.0%	0		359	100.0%	2,643	100.0%	3,210	100.0%	2,652	100.0%	330	100.0%	0	

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料1「救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC別集計」より抜粋した。

09 乳房		10 内分		11 腎尿		12 女性		13 血液		14 新生		15 小児		16 外傷		17 精神		18 その他		計	
よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)	よる搬送に	救急車に (率)
-	-	35	8.0%	32	5.1%	-	-	15	5.7%	-	-	36	14.3%	133	5.0%	11	25.0%	25	5.4%	1,092	6.5%
-	-	44	10.0%	75	11.9%	14	10.9%	37	14.1%	-	-	23	9.1%	333	12.4%	-	-	90	19.6%	1,621	9.7%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	3.9%	172	1.0%
-	-	15	3.4%	13	2.1%	18	14.0%	12	4.6%	-	-	16	6.3%	186	7.0%	-	-	20	4.3%	936	5.6%
-	-	20	4.6%	15	2.4%	-	-	15	5.7%	11	16.7%	-	-	84	3.1%	-	-	14	3.0%	561	3.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	19.7%	12	4.8%	66	2.5%	-	-	-	-	293	1.8%
-	-	12	2.7%	17	2.7%	13	10.1%	11	4.2%	-	-	21	8.3%	125	4.7%	-	-	11	2.4%	788	4.7%
-	-	37	8.4%	32	5.1%	13	10.1%	26	9.9%	14	21.2%	25	9.9%	214	8.0%	23	52.3%	13	2.8%	1,372	8.2%
-	-	19	4.3%	40	6.4%	12	9.3%	16	6.1%	-	-	21	8.3%	69	2.6%	-	-	26	5.7%	966	5.8%
-	-	26	5.9%	37	5.9%	19	14.7%	12	4.6%	18	27.3%	17	6.7%	172	6.4%	-	-	30	6.5%	1,098	6.6%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	0.1%
-	-	17	3.9%	26	4.1%	-	-	11	4.2%	-	-	-	-	113	4.2%	-	-	11	2.4%	411	2.5%
-	-	36	8.2%	38	6.0%	-	-	16	6.1%	-	-	19	7.5%	60	2.2%	-	-	11	2.4%	501	3.0%
-	-	11	2.5%	25	4.0%	14	10.9%	-	-	-	-	-	-	33	1.2%	-	-	10	2.2%	394	2.4%
-	-	-	-	12	1.9%	-	-	-	-	-	-	11	4.4%	50	1.9%	-	-	-	-	244	1.5%
-	-	10	2.3%	34	5.4%	-	-	30	11.4%	-	-	10	4.0%	77	2.9%	-	-	30	6.5%	564	3.4%
-	-	21	4.8%	43	6.8%	-	-	12	4.6%	-	-	21	8.3%	135	5.0%	-	-	39	8.5%	791	4.7%
-	-	16	3.7%	13	2.1%	16	12.4%	14	5.3%	10	15.2%	-	-	104	3.9%	-	-	35	7.6%	644	3.9%
-	-	15	3.4%	11	1.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	45	1.7%	-	-	13	2.8%	188	1.1%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	1.0%	-	-	-	-	152	0.9%
-	-	-	-	17	2.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	129	4.8%	-	-	-	-	318	1.9%
-	-	18	4.1%	32	5.1%	-	-	11	4.2%	-	-	-	-	73	2.7%	-	-	22	4.8%	536	3.2%
-	-	-	-	13	2.1%	-	-	-	-	-	-	10	4.0%	52	1.9%	-	-	-	-	261	1.6%
-	-	-	-	13	2.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	81	3.0%	-	-	-	-	396	2.4%
-	-	24	5.5%	26	4.1%	-	-	12	4.6%	-	-	10	4.0%	71	2.7%	-	-	28	6.1%	723	4.3%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	2.2%	-	-	-	-	239	1.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.4%	-	-	-	-	74	0.4%
-	-	51	11.6%	31	4.9%	-	-	13	4.9%	-	-	-	-	102	3.8%	10	22.7%	14	3.0%	543	3.3%
-	-	11	2.5%	19	3.0%	10	7.8%	-	-	-	-	-	-	33	1.2%	-	-	-	-	363	2.2%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128	0.8%
-	-	-	-	15	2.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	109	0.7%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	0.6%	-	-	-	-	126	0.8%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	0.9%	-	-	-	-	57	0.3%
0		438	100.0%	629	100.0%	129	100.0%	263	100.0%	66	100.0%	252	100.0%	2,675	100.0%	44	100.0%	460	100.0%	16,679	100.0%

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料1「救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC別集計」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 合計

平成21年7月～12月 退院患者

DPC疾患コード 疾患名	MDC04		MDC08		MDC13			
	呼吸器器のがん		消化器のがん		血液がん		全体	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜州市市民病院	331	8.8	688	7.4	235	20.2	1,674	7.6
横浜市立みなと赤十字病院	183	4.8	411	4.5	113	9.7	1,041	4.7
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	122	3.2	759	8.4	108	9.3	1,823	8.3
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	204	5.4	736	8.1	133	11.4	1,719	7.8
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	119	3.1	248	2.7	72	6.2	649	3.0
昭和大学横浜市北部病院	200	5.3	1,311	14.5	44	3.8	2,048	9.3
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	141	3.7	338	3.7	0	-	660	3.0
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	255	6.7	298	3.3	77	6.6	1,811	7.3
恩賜財団済生会横浜市南部病院	105	2.8	433	4.8	0	-	894	4.1
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	220	5.8	453	5.0	0	-	1,082	4.9

神奈川県立がんセンター	535	14.2	1,107	12.3	148	12.7	2,994	13.6
-------------	-----	------	-------	------	-----	------	-------	------

その他病院

社会保険横浜中央病院	32	0.8	98	1.1	0	-	155	0.7
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	111	2.9	213	2.4	62	5.3	879	4.0
医療法人五星会 菊名記念病院	23	0.6	51	0.6	0	-	101	0.5
昭和大学藤が丘病院	213	5.6	493	5.5	134	11.5	1,257	5.7
聖隷横浜病院	55	1.5	29	0.3	20	1.7	135	0.6
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	14	0.2	0	-	14	0.1
医療法人 横浜博萌会 西横浜国際総合病院	11	0.3	51	0.6	0	-	62	0.3
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	12	0.1
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	33	0.9	66	0.7	0	-	160	0.7
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	35	0.4	0	-	35	0.2
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	10	0.3	61	0.7	0	-	110	0.5
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	117	3.1	216	2.4	0	-	485	2.2
医療法人社団 明芳会 横浜新都市臨神外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	88	2.3	385	4.3	17	1.5	810	3.7
金沢文庫病院	0	-	13	0.1	0	-	13	0.1
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	21	0.2	0	-	21	0.1
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	70	1.9	315	3.5	0	-	702	3.2
湘南泉病院	18	0.5	0	-	0	-	18	0.1
神奈川県立循環器呼吸器病センター	506	13.4	0	-	0	-	506	2.3
財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	65	0.7	0	-	65	0.3
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	41	0.5	0	-	41	0.2
財団法人 船員保険会 横浜船員保険病院	78	2.1	107	1.2	0	-	197	0.9
合 計	3,780	100.0	9,036	100.0	1,163	100.0	21,973	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 1/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	010010		03001x		030150		040010	
	脳腫瘍		頭頸部悪性腫瘍		口腔・咽頭の腫瘍		縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜州市立市民病院	0	-	38	7.4	0	-	0	-
横浜州市立みなと赤十字病院	0	-	0	-	0	-	0	-
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	85	12.4	92	17.9	15	16.3	0	-
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	56	8.2	100	19.4	0	-	14	100.0
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	24	3.5	0	-	13	14.1	0	-
昭和大学横浜市北部病院	0	-	37	7.2	19	20.7	0	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	48	7.0	0	-	0	-	0	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	369	53.9	65	12.6	23	25.0	0	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	20	3.9	0	-	0	-
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	17	2.5	0	-	0	-	0	-
神奈川県立がんセンター	39	5.7	115	22.3	0	-	0	-
その他病院								
社会保険横浜中央病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	35	5.1	0	-	11	12.0	0	-
医療法人五星会 菊名記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	11	1.6	35	6.8	0	-	0	-
聖隷横浜病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県看護協会 けいゆう病院	0	-	13	2.5	11	12.0	0	-
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	0	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	0	-	0	-	0	-
合 計	684	100.0	515	100.0	92	100.0	14	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 2/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	040040		040050		060010		060020	
	肺の悪性腫瘍		胸壁腫瘍、胸膜腫瘍		食道の悪性腫瘍 (頸部を含む。)		胃の悪性腫瘍	
	計	割合 (%)	計	割合 (%)	計	割合 (%)	計	割合 (%)
地域中核病院等								
横浜国立大学病院	331	8.8	0	-	54	7.1	102	4.8
横浜国立大学みなと赤十字病院	183	4.9	0	-	43	5.7	107	5.1
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	122	3.3	0	-	144	19.0	115	5.4
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	190	5.1	0	-	73	9.7	226	10.7
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	119	3.2	0	-	0	-	89	4.2
昭和大学横浜北部病院	200	5.3	0	-	122	16.1	196	9.3
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	141	3.8	0	-	12	1.6	74	3.5
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	255	6.8	0	-	24	3.2	103	4.9
恩賜財団済生会横浜南部病院	93	2.5	12	54.5	0	-	125	5.9
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	210	5.6	10	45.5	58	7.7	140	6.6
神奈川県立がんセンター	535	14.3	0	-	177	23.4	280	13.2

その他病院

社会保険横浜中央病院	32	0.9	0	-	0	-	11	0.5
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	111	3.0	0	-	0	-	71	3.4
医療法人五里会 菊名記念病院	23	0.6	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	213	5.7	0	-	49	6.5	138	6.5
聖隷横浜病院	55	1.5	0	-	0	-	18	0.9
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	11	0.3	0	-	0	-	16	0.8
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	33	0.9	0	-	0	-	11	0.5
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	10	0.3	0	-	0	-	11	0.5
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	117	3.1	0	-	0	-	87	4.1
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	88	2.4	0	-	0	-	56	2.6
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	11	0.5
社会福祉法人 顕善福祉協会 国際顕善総合病院	70	1.9	0	-	0	-	60	2.8
湘南泉病院	18	0.5	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	506	13.5	0	-	0	-	0	-
財団法人横浜労働者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	12	0.6
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	11	0.5
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	78	2.1	0	-	0	-	44	2.1
合 計	3,744	100.0	22	100.0	756	100.0	2,114	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 3/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	060030		060035		060040		060050	
	小腸の悪性腫瘍		大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍		直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍		肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜市立市民病院	0	-	175	7.5	147	12.4	115	6.4
横浜市立みなと赤十字病院	0	-	107	4.6	84	5.4	75	4.2
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	0	-	89	3.8	56	4.7	219	12.3
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	0	-	90	3.9	56	4.7	239	13.4
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	-	23	1.0	30	2.5	106	5.9
昭和大学横浜市北部病院	0	-	604	25.9	268	22.7	46	2.6
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	-	86	3.7	41	3.5	100	5.6
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	-	61	2.6	34	2.9	31	1.7
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	95	4.1	64	5.4	127	7.1
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	0	-	97	4.2	66	5.6	68	3.8
神奈川県立がんセンター	27	69.2	116	5.0	90	7.6	207	11.6

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	-	28	1.2	18	1.5	41	2.3
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	-	36	1.5	17	1.4	55	3.1
医療法人五星会 菊名記念病院	0	-	23	1.0	0	-	28	1.6
昭和大学藤が丘病院	0	-	82	3.5	53	4.5	107	6.0
聖隷横浜病院	0	-	11	0.5	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	14	0.8
医療法人 横浜博愛会 西横浜国際総合病院	0	-	35	1.5	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	31	1.3	13	1.1	11	0.6
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	-	25	1.1	0	-	10	0.6
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	12	30.8	22	0.9	0	-	16	0.9
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	-	78	3.3	20	1.7	13	0.7
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県聖友会 けいゆう病院	0	-	179	7.7	89	7.5	44	2.5
金沢文庫病院	0	-	13	0.6	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	-	10	0.4	0	-	0	-
社会福祉法人 聖恵福祉協会 国際聖恵総合病院	0	-	142	6.1	57	4.8	43	2.4
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	27	1.2	0	-	26	1.5
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	-	30	1.3	0	-	0	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	18	0.8	0	-	45	2.5
合 計	39	100.0	2,333	100.0	1,183	100.0	1,786	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 4/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	060060		06007x		070040		070042	
	胆膵、肝外胆管の悪性腫瘍		膵臓、脾臓の腫瘍		骨軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く。)		上肢等の皮膚の悪性腫瘍	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜市立市民病院	40	15.4	35	6.2	0	—	0	—
横浜市立みなと赤十字病院	0	—	15	2.7	33	12.5	0	—
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	57	22.0	79	14.0	34	12.9	0	—
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	16	6.2	36	6.4	10	3.8	0	—
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	—	0	—	0	—	0	—
昭和大学横浜市北部病院	31	12.0	44	7.8	15	5.7	0	—
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	10	3.9	15	2.7	0	—	0	—
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	12	4.6	33	5.8	0	—	12	100.0
恩賜財団済生会横浜市南部病院	10	3.9	12	2.1	10	3.8	0	—
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	14	5.4	10	1.8	0	—	0	—
神奈川県立がんセンター	55	21.2	155	27.4	142	54.0	0	—

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	—	0	—	0	—	0	—
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	—	34	6.0	19	7.2	0	—
医療法人五星会 菊名記念病院	0	—	0	—	0	—	0	—
昭和大学藤が丘病院	14	5.4	50	8.8	0	—	0	—
聖隷横浜病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	—	0	—	0	—	0	—
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	—	18	3.2	0	—	0	—
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	—	0	—	0	—	0	—
財団法人 神奈川県看護協会 けいゆう病院	0	—	17	3.0	0	—	0	—
金沢文庫病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	—	0	—	0	—	0	—
社会福祉法人 顕善福祉協会 国際顕善総合病院	0	—	13	2.3	0	—	0	—
湘南泉病院	0	—	0	—	0	—	0	—
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	—	0	—	0	—	0	—
財団法人横浜労働福祉協会 汐田総合病院	0	—	0	—	0	—	0	—
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	—	0	—	0	—	0	—
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	—	0	—	0	—	0	—
合 計	259	100.0	566	100.0	263	100.0	12	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 5/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード	070045		090010		100020		100180	
疾患名	黒色腫		乳房の悪性腫瘍		甲状腺の悪性腫瘍		副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜市立市民病院	0	-	53	5.0	0	-	0	-
横浜市立みなと赤十字病院	0	-	54	5.1	0	-	0	-
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	10	100.0	46	4.4	22	12.1	21	13.0
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	0	-	167	15.8	32	17.6	14	8.7
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	-	53	5.0	0	-	0	-
昭和大学横浜市北部病院	0	-	41	3.9	54	29.7	0	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	-	0	-	0	-	0	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	-	61	5.8	18	9.9	109	67.7
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	76	7.2	0	-	0	-
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	0	-	67	6.3	0	-	17	10.6

神奈川県立がんセンター	0	-	102	9.7	40	22.0	0	-
-------------	---	---	-----	-----	----	------	---	---

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	-	25	2.4	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	-	81	7.7	0	-	0	-
医療法人五星会 菊名記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	0	-	69	6.5	0	-	0	-
聖隷横浜病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博済会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	21	2.0	0	-	0	-
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	12	1.1	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	-	27	2.6	16	8.8	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	0	-	89	8.4	0	-	0	-
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	0	-
社会福祉法人 社会福祉協会 国際社会福祉総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器医療センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	12	1.1	0	-	0	-
合 計	10	100.0	1,056	100.0	182	100.0	161	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 6/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード	11001x		110050		110060		110070	
疾患名	腎腫瘍		後腹膜疾患		腎盂・尿管の悪性腫瘍		膀胱腫瘍	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜市民病院	12	12.5	0	-	0	-	80	8.6
横浜市民みなと赤十字病院	0	-	0	-	0	-	82	6.6
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	15	15.6	0	-	0	-	46	4.9
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	27	28.1	0	-	0	-	76	8.1
聖マリアンナ医科大学横浜西都病院	0	-	0	-	0	-	33	3.5
昭和大学横浜市北部病院	0	-	0	-	0	-	50	5.4
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	-	0	-	0	-	13	1.4
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	-	0	-	13	36.1	107	11.5
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	0	-	0	-	32	3.4
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	14	14.6	0	-	13	36.1	62	6.6
神奈川県立がんセンター	17	17.7	15	27.8	0	-	76	8.1

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	-	17	31.5	10	27.8	90	9.6
医療法人五星会 菊名記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	0	-	0	-	0	-	36	3.9
聖隷横浜病院	0	-	0	-	0	-	13	1.4
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	0	-	0	-	11	1.2
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	10	18.5	0	-	17	1.8
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	-	0	-	0	-	41	4.4
医療法人社団 明芳会 横浜西都市東神庭外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	11	11.5	12	22.2	0	-	25	2.7
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	0	-
社会福祉法人 現世福祉協会 国際医療総合病院	0	-	0	-	0	-	63	6.8
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	0	-	0	-	0	-
合 計	96	100.0	54	100.0	36	100.0	933	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 7/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	110080		120010		120020		120050	
	前立腺の悪性腫瘍		卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍		子宮頸・体部の悪性腫瘍		絨毛性疾患	
	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)	計	割合(%)
地域中核病院等								
横浜市立市民病院	151	9.2	25	2.7	81	6.2	0	-
横浜市立みなと赤十字病院	128	7.8	20	2.2	37	2.8	0	-
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	135	8.2	101	10.9	212	16.1	0	-
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	107	6.5	14	1.5	43	3.3	0	-
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	-	50	5.4	37	2.8	0	-
昭和大学横浜市北部病院	102	6.2	82	8.8	77	5.9	16	100.0
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	-	78	8.4	42	3.2	0	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	93	5.7	45	4.8	66	5.0	0	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	73	4.5	83	8.9	62	4.7	0	-
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	162	9.9	15	1.6	42	3.2	0	-
神奈川県立がんセンター	97	5.9	191	20.5	370	28.1	0	-

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	170	10.4	32	3.4	28	2.1	0	-
医療法人五星会 菊名記念病院	27	1.8	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	0	-	132	14.2	134	10.2	0	-
聖隷横浜病院	18	1.1	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	12	0.7	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	29	1.8	0	-	0	-	0	-
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	68	4.2	0	-	0	-	0	-
医療法人社団明芳会 横浜新緑市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	64	3.9	10	1.1	85	6.5	0	-
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	0	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	202	12.3	52	5.6	0	-	0	-
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人横浜労働者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団育英会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	0	-	0	-	0	-
合 計	1,638	100.0	930	100.0	1,316	100.0	16	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(悪性腫瘍) 8/8

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名	130010		130030		130040		130060	
	急性白血病		非ホジキンリンパ 腫		多発性骨髄腫、免 疫系悪性新生物		骨髄異形成症候 群	
	計	割合 (%)	計	割合 (%)	計	割合 (%)	計	割合 (%)
地域中核病院等								
横浜市内市民病院	35	11.9	147	19.8	30	55.6	23	31.9
横浜市内みなと赤十字病院	31	10.8	55	7.4	0	-	27	37.5
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	31	10.6	77	10.3	0	-	0	-
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	43	14.7	90	12.1	0	-	0	-
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	19	6.5	53	7.1	0	-	0	-
昭和大学横浜市北部病院	0	-	44	5.9	0	-	0	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	-	0	-	0	-	0	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	14	4.8	53	7.1	10	18.5	0	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	0	-	0	-	0	-
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立がんセンター	50	17.1	98	13.2	0	-	0	-

その他病院

社会保険横浜中央病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	12	4.1	28	3.8	0	-	22	30.6
医療法人五星会 菊名記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
昭和大学藤が丘病院	58	19.8	62	8.3	14	25.9	0	-
聖隷横浜病院	0	-	20	2.7	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人 横浜博萌会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	0	-	17	2.3	0	-	0	-
金沢文庫病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	0	-	0	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
湘南泉病院	0	-	0	-	0	-	0	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	-	0	-	0	-	0	-
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人 船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	0	-	0	-	0	-
合 計	293	100.0	744	100.0	54	100.0	72	100.0

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名	040040							
	肺の悪性腫瘍							
	件数					平均在院日数		
	手術ありなし		手術なし	計	割合 (%)	手術あり		手術なし
手術等サブ分類	97	01	99			97	01	99
地域中核病院等								
横浜国立市民病院	31	47	253	331	8.8	25.5	17.3	16.4
横浜国立みなと赤十字病院	17	18	150	183	4.9	31.1	9.8	11.4
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	10	25	87	122	3.3	33.0	14.7	13.0
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	0	45	145	190	5.1	-	13.6	17.9
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	0	0	119	119	3.2	-	-	10.9
昭和大学横浜北部病院	0	28	172	200	5.3	-	18.8	14.5
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	19	122	141	3.8	-	23.0	23.6
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	14	42	199	255	6.8	30.3	9.6	17.4
恩賜財団済生会横浜南部病院	0	0	93	93	2.5	-	-	20.5
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	0	32	178	210	5.6	-	9.7	14.6
神奈川県立がんセンター	17	123	395	535	14.3	32.8	11.9	17.2
その他の病院								
社会保険横浜中央病院	0	0	32	32	0.9	-	-	19.9
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	0	111	111	3.0	-	-	20.8
医療法人五会会 菊名記念病院	0	0	23	23	0.6	-	-	13.9
昭和大学藤が丘病院	0	31	182	213	5.7	-	13.0	15.8
聖隷横浜病院	0	0	55	55	1.5	-	-	10.0
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	-	-	-	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	0	11	11	0.3	-	-	21.7
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	0	33	33	0.9	-	-	14.5
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	0	0	0	-	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	10	10	0.3	-	-	14.5
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	41	78	117	3.1	-	14.4	16.5
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	0	0	0	-	-	-	-
財団法人 神奈川県養友会 けいゆう病院	0	14	74	88	2.4	-	19.4	21.5
金沢文庫病院	0	0	0	0	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	0	0	0	-	-	-	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	0	70	70	1.9	-	-	4.4
湘南泉病院	0	0	18	18	0.5	-	-	13.7
神奈川県立循環器呼吸器病センター	24	62	420	506	13.5	32.7	13.7	15.8
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	0	-	-	-	-
医療法人社団育英会 牧野記念病院	0	0	0	0	-	-	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	78	78	2.1	-	-	12.6
合 計	113	525	3,106	3,744	100.0	-	-	-

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名	060020													
	胃の悪性腫瘍													
	件数							平均在院日数						
	手術あり						手術なし	手術あり						手術なし
手術ありなし							計							割合(%)
地域中核病院等 手術等サブ分類	97	01	02	03	04	99	計	97	01	02	03	04	99	
横浜国立市民病院	17	17	26	24	0	18	102	4.8	23.7	18.5	18.8	7.7	-	14.7
横浜市立みなと赤十字病院	13	0	20	0	13	61	107	5.1	23.4	-	23.1	-	11.1	6.9
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	11	22	18	0	24	40	115	5.4	35.4	19.0	19.5	-	8.1	5.8
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	11	33	41	71	19	51	226	10.7	15.2	27.4	21.8	9.6	8.1	10.7
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	16	11	18	0	0	44	89	4.2	24.3	27.0	20.8	-	-	9.3
昭和大学横浜北部病院	33	35	32	0	60	36	196	9.3	41.5	20.5	17.2	-	6.8	10.5
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	0	15	0	0	59	74	3.5	-	-	31.5	-	-	10.1
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	24	35	0	0	44	103	4.9	-	35.7	29.2	-	-	16.5
恩賜財団済生会横浜南部病院	20	11	22	15	0	57	125	5.9	21.4	24.1	22.5	17.0	-	11.4
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	0	12	32	14	16	66	140	6.6	-	16.4	14.1	10.7	8.2	8.3
神奈川県立がんセンター	10	35	49	12	54	120	280	13.2	38.7	18.8	14.9	16.4	11.3	8.8
その他の病院														
社会保険横浜中央病院	0	0	0	0	0	11	11	0.5	-	-	-	-	-	26.3
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	13	16	14	0	28	71	3.4	-	20.9	21.2	17.6	-	16.1
医療法人五里会 菊名記念病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
昭和大学藤が丘病院	10	15	16	30	11	56	138	6.5	40.5	31.9	19.8	9.8	7.5	9.2
聖隷横浜病院	0	0	0	0	0	18	18	0.9	-	-	-	-	-	17.6
医療法人柏樹会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人 横浜博助会 西横浜国際総合病院	0	0	0	0	0	16	16	0.8	-	-	-	-	-	13.9
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜中央総合病院	0	0	11	0	0	0	11	0.5	-	-	27.0	-	-	-
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	11	0	0	0	11	0.5	-	-	17.5	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	11	0	15	19	0	42	87	4.1	20.1	-	28.5	14.3	-	11.3
医療法人社団明芳会 横浜新都市神外科病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
財団法人 神奈川県看護協会 けいゆう病院	0	0	22	0	0	34	56	2.6	-	-	20.5	-	-	14.3
金沢文庫病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人柏樹会(財団) 戸塚共立第1病院	0	0	0	0	0	11	11	0.5	-	-	-	-	-	10.1
社会福祉法人 聖善福祉協会 国際医療総合病院	10	10	15	0	15	10	60	2.8	17.7	35.9	35.5	-	10.4	22.1
湘南泉病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	0	0	12	12	0.6	-	-	-	-	-	15.6
医療法人社団 胃腸会 牧野記念病院	0	0	0	0	0	11	11	0.5	-	-	-	-	-	8.1
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	10	0	0	34	44	2.1	-	-	39.3	-	-	6.8
合 計	162	238	424	199	212	879	2,114	100.0	-	-	-	-	-	-

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名	060035													
	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍													
	件数							平均在院日数						
	手術あり					計	割合 (%)	手術あり					手術なし	
	97	01	02	03	99			97	01	02	03	99		
地域中核病院等	手術等サブ分類													
横浜市民病院	37	65	0	14	59	175	7.5	13.9	18.0	-	2.8	8.5		
横浜市立みなと赤十字病院	28	33	0	15	33	107	4.8	6.0	24.4	-	2.8	5.0		
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	23	29	0	0	37	89	3.8	16.3	16.2	-	-	4.8		
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	0	58	0	32	0	90	3.9	-	16.6	-	4.2	-		
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	0	23	0	0	0	23	1.0	-	20.6	-	-	-		
昭和大学横浜市北部病院	40	87	0	78	399	604	25.9	13.5	19.6	-	5.0	4.8		
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	21	0	0	65	86	3.7	-	26.4	-	-	10.7		
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	13	26	0	0	22	61	2.6	23.5	27.4	-	-	12.6		
恩賜財団済生会横浜南部病院	17	46	0	10	22	95	4.1	16.5	19.4	-	4.0	10.3		
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	17	64	0	0	16	97	4.2	16.2	14.2	-	-	13.1		
神奈川県立がんセンター	24	39	0	12	41	116	5.0	11.7	18.4	-	3.6	6.3		
その他の病院														
社会保険横浜中央病院	0	0	0	0	28	28	1.2	-	-	-	-	4.9		
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	25	0	0	11	36	1.5	-	21.5	-	-	15.9		
医療法人五里会 菊名記念病院	10	13	0	0	0	23	1.0	18.0	26.1	-	-	-		
昭和大学藤が丘病院	0	23	0	0	59	82	3.5	-	20.9	-	-	6.1		
聖隷横浜病院	0	11	0	0	0	11	0.5	-	50.8	-	-	-		
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-		
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	14	0	0	21	35	1.5	-	26.1	-	-	5.1		
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-		
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	31	0	0	0	31	1.3	-	27.9	-	-	-		
医療法人社団恵生会 上白根病院	13	12	0	0	0	25	1.1	19.2	40.5	-	-	-		
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	12	0	0	10	22	0.9	-	28.5	-	-	5.4		
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	11	19	0	29	19	78	3.3	9.7	19.3	-	2.6	12.4		
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-		
財団法人 神奈川県登友会 けいゆう病院	13	32	0	0	134	179	7.7	12.7	25.4	-	-	5.9		
金沢文庫病院	0	0	0	0	13	13	0.6	-	-	-	-	4.7		
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	10	0	0	0	10	0.4	-	43.9	-	-	-		
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	22	0	0	120	142	6.1	-	26.5	-	-	3.8		
湘南泉病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-		
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-		
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	12	0	0	0	15	27	1.2	28.0	-	-	-	5.1		
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	0	0	0	30	30	1.3	-	-	-	-	6.9		
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	18	0	0	0	18	0.8	-	38.8	-	-	-		
合 計	256	733	0	190	1,154	2,333	100.0	-	-	-	-	-		

本表の数値は、平成22年8月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料13

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード		060050											
疾患名		肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)											
手術ありなし	手術等サブ分類	件数						平均在院日数					
		手術あり					計	割合 (%)	手術あり				
		97	01	02	03	99			97	01	02	03	99
地域中核病院													
	横浜市民病院	67	0	0	10	38	115	6.4	15.1	-	-	14.8	14.1
	横浜立みなと赤十字病院	49	0	0	0	28	75	4.2	15.4	-	-	-	9.2
	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	60	10	22	35	92	219	12.3	13.6	19.1	25.6	17.0	8.4
	公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	86	0	13	90	50	239	13.4	9.0	-	12.2	9.1	6.8
	聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	47	0	0	0	59	106	5.9	16.7	-	-	-	14.4
	昭和大学横浜北部病院	31	0	0	0	15	46	2.6	14.4	-	-	-	17.9
	独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	38	0	0	30	32	100	5.6	20.1	-	-	15.6	16.2
	独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	16	0	0	0	15	31	1.7	17.6	-	-	-	14.5
	恩賜財団済生会横浜南部病院	52	0	0	53	22	127	7.1	14.8	-	-	6.5	12.0
	恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	42	0	0	15	11	68	3.8	9.7	-	-	4.1	9.2
神奈川県立がんセンター		77	0	18	23	89	207	11.6	11.0	-	20.7	7.1	10.8
その他の病院													
	社会保険横浜中央病院	22	0	0	0	19	41	2.3	15.4	-	-	-	16.5
	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	37	0	0	0	18	55	3.1	17.1	-	-	-	21.1
	医療法人五星会 菊名記念病院	13	0	0	0	15	28	1.6	20.3	-	-	-	13.5
	昭和大学藤が丘病院	53	0	12	10	32	107	6.0	12.3	-	20.8	12.6	12.6
	聖隷横浜病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	14	0	0	0	0	14	0.8	11.9	-	-	-	-
	医療法人 横浜博研会 西横浜国際総合病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	11	0	0	0	0	11	0.6	20.7	-	-	-	-
	医療法人社団専生会 上白根病院	10	0	0	0	0	10	0.6	13.2	-	-	-	-
	医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	0	0	16	16	0.9	-	-	-	-	17.5
	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	0	0	13	0	13	0.7	-	-	-	5.5	-
	医療法人社団明芳会 横浜新都市臨海総合病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	財団法人 神奈川県看護協会 けいゆう病院	31	0	0	0	13	44	2.5	23.3	-	-	-	21.6
	金沢文庫病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	社会福祉法人 親善福祉協会 国際医療総合病院	10	0	0	12	21	43	2.4	13.7	-	-	17.1	12.7
	湘南泉病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	16	0	0	0	10	26	1.5	21.1	-	-	-	5.1
	医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	27	0	0	0	18	45	2.5	10.6	-	-	-	6.9
合 計		809	10	65	291	611	1,786	100.0	-	-	-	-	-

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名	090010					
	乳房の悪性腫瘍				平均在院日数	
	件数					
	手術あり	手術なし	計	割合 (%)	手術あり	手術なし
手術ありなし 手術等サブ分類	97	99			97	99
地域中核病院等						
横浜国立市民病院	53	0	53	5.0	10.9	-
横浜国立みなと赤十字病院	25	29	54	5.1	12.4	7.1
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	46	0	46	4.4	9.8	-
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	154	13	167	15.8	9.5	16.2
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	41	12	53	5.0	8.9	15.7
昭和大学横浜北部病院	24	17	41	3.9	10.0	10.6
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	0	0	-	-	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	35	26	61	5.8	8.9	7.5
恩賜財団済生会横浜南部病院	59	17	76	7.2	9.1	16.9
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	67	0	67	6.3	7.2	-
神奈川県立がんセンター	63	39	102	9.7	11.2	8.8
その他の病院						
社会保険横浜中央病院	12	13	25	2.4	8.6	12.7
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	81	0	81	7.7	5.6	-
医療法人五里会 菊名記念病院	0	0	0	-	-	-
昭和大学藤が丘病院	51	18	69	6.5	8.5	3.2
聖隷横浜病院	0	0	0	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	-	-	-
医療法人 横浜博萌会 西横浜国際総合病院	0	0	0	-	-	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	21	0	21	2.0	21.7	-
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	0	0	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	12	0	12	1.1	13.3	-
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	27	0	27	2.6	7.5	-
医療法人社団明芳会 横浜新都市国神経外科病院	0	0	0	-	-	-
財団法人 神奈川県立友会 けいゆう病院	71	18	89	8.4	10.1	20.0
金沢文庫病院	0	0	0	-	-	-
医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	0	0	-	-	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	0	0	-	-	-
湘南泉病院	0	0	0	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	-	-	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	-	-	-
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	0	0	-	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	12	0	12	1.1	12.3	-
合 計	854	202	1,056	100.0	-	-

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料14

医療機関別実績(読売新聞調べ)

肺がん
(2009年実績)

医療機関名	手術 (人)	平均在 院日数 (日)	定位照 射 (人)
県立がんセンター	211	11	0
東海大学	149	8	10
県立循環器呼吸器病センター	120	10	0
北里大学	100	14	16
横須賀共済病院	79	12	0
聖マリアンナ医科大学病院	77	20	-
横浜市立大学市民総合医療センター	67	10	0
横浜市立市民病院	61	12	12
済生会横浜市東部病院	59	6	0
横浜栄共済病院	53	7~8	0
市立川崎病院	51	23	1
相模原協同病院	44	12	44
昭和大学藤が丘病院	44	7	0
昭和大学横浜市北部病院	39	18	11
藤沢市民病院	34	16	0
茅ヶ崎市立病院	31	10	-
平塚共済病院	29	13	0
横浜市立大学附属病院	25	12	1
横須賀市立うわまち病院	23	8	0
けいゆう病院	22	19	0
横浜市立みなと赤十字病院	19	10	9
東名厚木病院	18	19	0
日本医大武蔵小杉病院	14	13	0
横浜南共済病院	12	14	0
川崎市立井田病院	11	25	12
国際親善病院	11	14	0
聖隷横浜病院	4	10	0
平塚市民病院	3	12	10
秦野赤十字病院	2	14	0

神奈川県

大腸がん
(2009年実績)

医療機関名	合計 (件)	結腸 がん (件)	直腸 がん (件)	腹腔 鏡手 術 (件)
昭和大学横浜市北部病院	356	223	133	236
横浜市立市民病院	264	146	118	45
北里大学東病院	249	162	87	144
済生会横浜市東部病院	246	154	92	84
横浜市立大学市民総合医療センター	228	152	76	110
横須賀共済病院	203	141	62	27
東海大学	202	118	84	23
済生会横浜市南部病院	183	114	69	22
藤沢市民病院	164	106	58	9
横浜市立大学附属病院	158	90	68	64
横浜市立みなと赤十字病院	156	105	51	16
相模原協同病院	153	75	78	18
県立がんセンター	142	82	60	50
日本医大武蔵小杉病院	132	81	51	40
聖マリアンナ医科大学病院	132	91	41	88
市立川崎病院	123	71	52	34
昭和大学藤が丘病院	111	60	51	80
横浜南共済病院	100	68	32	3
国際親善病院	97	61	36	27
北里大学病院	96	68	28	53
川崎市立多摩病院	93	59	34	11
けいゆう病院	88	67	21	14
小田原市立病院	88	61	27	34
平塚市民病院	85	42	43	18
聖マリアンナ医科大学横浜西都病院	82	50	32	31
茅ヶ崎市立病院	82	65	17	4
川崎幸病院	81	56	27	22
大和市立病院	80	43	37	13
平塚共済病院	80	50	30	0
秦野赤十字病院	76	50	26	34
山近記念総合病院	73	55	18	35
川崎市立井田病院	67	46	21	4
横浜労災病院	66	45	21	6
聖マリアンナ医科大学東横病院	58	41	17	40
東名厚木病院	51	28	23	6
聖隷横浜病院	48	36	12	0
横浜船員保険病院	47	33	14	5
相模野病院	43	23	20	19
横浜救済会病院	36	26	10	10
横須賀市立うわまち病院	28	18	10	10
川崎社会保険病院	25	12	13	7

神奈川県

医療機関別実績(読売新聞調べ)

胃がん
(2009年実績)

医療機関名	合計 (件)	うち縮 小手術 ※ (件)	うち腹 腔鏡手 術 (件)	内視鏡 治療 (件)	うち粘 膜下層 剥離術 (件)
北里大学東病院	203	29	29	310	243
県立がんセンター	178	-	87	127	127
横浜市立大学市民総合医療センター	146	7	87	-	210
横須賀共済病院	146	12	31	78	45
東海大学病院	143	63	5	90	44
昭和大学横浜市北部病院	142	3	105	140	112
横浜国立大学市民病院	102	22	8	107	70
済生会横浜市東部病院	102	8	30	51	49
横浜市立大学附属病院	98	15	38	98	70
藤沢市民病院	93	11	0	78	47
聖マリアンナ医科大学病院	87	5	26	100	95
昭和大学藤が丘病院	80	0	40	64	60
日本医大武蔵小杉病院	78	11	21	43	15
相模原協同病院	78	0	1	2	0
横浜国立大学みなと赤十字病院	75	8	0	84	22
市立川崎病院	69	28	14	47	45
けいゆう病院	63	2	5	32	26
横浜南共済病院	60	3	0	47	37
茅ヶ崎市立病院	58	-	-	50	38
平塚市民病院	58	0	8	22	18
平塚共済病院	55	0	0	20	18
小田原市立病院	51	3	3	12	5
川崎幸病院	50	1	6	50	15
国際親善病院	49	4	18	25	16
川崎市立多摩病院	48	3	0	36	27
聖野赤十字病院	45	2	2	10	2
山近記念総合病院	45	6	12	4	3
川崎市立井田病院	38	18	0	11	-
大和市立病院	38	0	5	15	-
横浜船員保険病院	32	3	2	12	11
聖マリアンナ医科大学東横病院	29	3	15	36	31
横浜救済会病院	27	2	4	4	0
川崎病院	25	2	0	8	8
社会保険相模野病院	25	0	0	5	0
東名厚木病院	22	0	0	2	2
横須賀市立うわまち病院	22	0	1	1	0
聖隷横浜病院	21	14	0	7	7

※幽門保存胃切除術、噴門側胃切除術の合計数。

肝臓がん
(2009年実績)

医療機関名	手術と ラジオ 波治療 の合計 (件)	手術 (件)	ラジオ 波 (件)	転移性 の肝が んの手 術 (件)
横浜国立大学市民総合医療センター	171	11	160	13
北里大学東病院	155	28	127	17
済生会横浜市南西部病院	93	3	90	15
横浜市立大学附属病院	88	24	64	36
聖マリアンナ医科大学病院	77	36	41	13
県立がんセンター	76	37	39	17
東海大学病院	55	23	32	11
平塚市民病院	52	16	36	3
済生会横浜市東部病院	43	9	34	23
横須賀共済病院	38	20	18	20
横浜南共済病院	31	3	28	8
小田原市立病院	28	21	5	11
昭和大学藤が丘病院	26	19	7	10
横浜国立大学市民病院	25	3	22	16
川崎市立多摩病院	24	0	24	5
聖マリアンナ医科大学東横病院	20	6	14	5
横浜国立大学みなと赤十字病院	39	24	15	14
横浜労災病院	18	14	2	13
国際親善病院	15	5	10	6
聖野赤十字病院	15	5	10	2
横浜救済会病院	12	8	4	6
昭和大学横浜市北部病院	12	7	5	18
大和市立病院	12	2	10	7
市立川崎病院	11	3	8	6
相模原協同病院	10	3	7	11
日本医大武蔵小杉病院	9	5	4	3
藤沢市民病院	7	2	5	7
川崎市立井田病院	6	4	2	0
けいゆう病院	5	2	3	2
茅ヶ崎市立病院	5	-	5	-
横浜船員保険病院	4	2	2	4
山近記念総合病院	4	2	2	1
東名厚木病院	2	2	0	3
社会保険相模野病院	1	1	0	2
聖隷横浜病院	1	1	0	3
平塚共済病院	1	0	1	7

資料14

医療機関別実績(読売新聞調べ)

血液がん

(2008年、移植件数は06～08の合計)

医療機関名		血液がん 患者数	うち悪性 リンパ腫	自家造血 幹細胞移 植の件数	同種造血 幹細胞移 植の件数
成人					
神奈川県	横浜市立市民病院	176	25	26	12
	関東労災病院	163	73	15	0
	東海大学	160	64	28	55
	藤沢市民病院	120	49	0	0
	県立がんセンター	117	81	17	86
	横浜市立大学市民総合医療センター	115	54	28	49
	横須賀共済病院	100	37	1	0
	横浜市立大学附属病院	95	36	34	35
	横浜市立みなと赤十字病院	78	36	3	0
	横浜労災病院	77	33	13	-
	昭和大学藤が丘病院	76	34	9	0
	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	68	19	21	21
	聖隷横浜病院	68	26	0	0
	大和市立病院	54	21	0	0
	けいゆう病院	25	11	0	0

表 2.1 2008 年に実施された移植の診療科別報告件数 Reported transplants conducted in 2008
(集計データセット 2:1991 から 2008 年の移植)
(Dataset 2: transplants between 1991 and 2008)

一般社団法人 日本造血細胞移植学会資料より抜粋

施設名	診療科	自家移植	血縁者間 骨髄移植	末梢血幹 細胞移植	非血縁者間 骨髄移植	同種 臍帯血	その他	合計
Hospital	Clinic	Auto- transplant	Rel-BMT	Rel- PBSCT	UR-BMT	Allo- CBT	Others	Total
国立国際医療センター戸山病院	血液内科	35	1	4	4	1	0	45
東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科	0(1)	0(1)	0	0	0(4)	0	0(6)
東京医科歯科大学医学部附属病院	血液内科	10	0	2	5	1	0	18
(独) 国立病院機構 東京医療センター	血液内科	2	0	1	1	1	0	5
横浜市立大学附属病院	小児科	3	1	0	2	2	0	8
横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・ 感染症内科	12	4	1	5	3	0	25
神奈川県立がんセンター	化学療法科	9	1	0	1	0	0	11
神奈川県立がんセンター	血液科	3	7	2	8	3	0	23
聖マリアンナ医科大学病院	小児科	0	2	0	0	0	0	2
聖マリアンナ医科大学病院	血液・腫瘍内科	0	0	0	0(1)	0(1)	0	0(2)
東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科	1	4	1	9	3(7)	0	18(22)
東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科	0(15)	0(1)	2(3)	14(17)	1(2)	0	17(38)
神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科	11	2	0	8	5	0	26
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科	10	4	2	9	3(4)	0	28(29)
昭和大学藤が丘病院	小児科	1	0	0	0	3	0	4
横浜市立市民病院	血液腫瘍内科	9	0	5	0	0	0	14
新潟大学医歯学総合病院	小児科	0	0	1	0	1	0	2
新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科	10	3	5	3	2	0	23
新潟県立がんセンター新潟病院	小児科	1(3)	0(2)	0	0(1)	1	0	2(7)
新潟県立がんセンター新潟病院	内科	0(24)	0	0(3)	1(3)	0	0	1(30)
長岡赤十字病院	血液内科	0	2	2	0	2	0	6
富山県立中央病院	内科	8	1	15	5	1	0	30
黒部市民病院	内科	3	0	2	0	0	0	5
富山大学附属病院	小児科	3	0	1	1	1	0	6
金沢大学附属病院	小児科	0	2	0	2	1	0	5
金沢大学附属病院	血液内科	5	1	2	12	2(3)	0	22(23)
金沢医科大学病院	血液・リウマチ 膠原病科	4	0	0	0	1	0	5
石川県立中央病院	血液内科	5	0	4	2	2	0	13
福井大学医学部附属病院	小児科	0	0	1	3	0	0	4
福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍科	0(1)	0	0	0	0	0	0(1)
山梨大学医学部附属病院	小児科	0	0	0	1	2	0	3
山梨大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	3	0	2	0	0	0	5
山梨県立中央病院	化学療法科	2	0	0	0	3	0	5
信州大学医学部附属病院	小児科	0	1	2	1	2	0	6
信州大学医学部附属病院	血液内科	11	4	4	9	3	0	31
長野赤十字病院	血液内科	11	4	2(3)	10(12)	6(8)	0	33(38)
岐阜大学医学部附属病院	小児科	0(1)	3	0	0	0	0	3(4)
岐阜大学医学部附属病院	血液感染症内科	3	2	1	0	6	0	12
岐阜市民病院	小児科	2	2	1	0	0	0	5
浜松医科大学附属病院	小児科	0	0	0	3	1	0	4
浜松医科大学附属病院	第三内科	0(5)	0(2)	0	1(3)	0(2)	0	1(12)
県西部浜松医療センター	血液科	2	3	0	0	4	0	9
静岡県立総合病院	血液内科	1	1	0	1	0	0	3
聖隷福祉事業団総合病院聖隷 浜松病院	小児科	1	0	0	0	0	0	1
地方(独) 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科	12	4	0	10	1	0	27
静岡赤十字病院	血液内科	4	2	1	5(6)	1	0	13(14)
静岡済生会総合病院	血液内科	0(3)	0	0(2)	0	0	0	0(5)
静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科	0(9)	0(2)	0(2)	0(1)	0(10)	0	0(24)

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数(脳血管疾患)

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件)

DPC疾患コード 疾患名 手術等サブ分類	010020		010040		010060		合計	割合 (%)
	くも膜下出血、破 裂脳動脈瘤		非外傷性頭蓋内血 腫(非外傷性硬膜 下血腫以外)		脳梗塞			
	計	割合 (%)	計	割合 (%)	計	割合 (%)		
地域中核病院等								
横浜国立大学市民病院	0	-	32	7.8	128	4.8	158	5.1
横浜国立大学みなと赤十字病院	10	13.3	44	10.5	127	4.8	181	5.8
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	0	-	12	2.9	54	2.1	66	2.1
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	0	-	0	-	86	3.3	86	2.8
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	12	16.0	19	4.5	109	4.2	140	4.5
昭和大学横浜市北部病院	0	-	11	2.6	44	1.7	55	1.8
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	17	22.7	41	9.8	120	4.6	178	5.7
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	10	13.3	59	14.0	196	7.5	265	8.5
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	-	14	3.3	136	5.2	150	4.8
恩賜財団済生会横浜市東部病院	15	20.0	48	11.4	146	5.6	209	6.7

その他病院

神奈川県立がんセンター	0	-	0	-	0	-	0	-
社会保険横浜中央病院	0	-	0	-	67	2.6	67	2.2
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	-	19	4.5	103	3.9	122	3.9
医療法人五里会 菊名記念病院	0	-	18	3.8	91	3.5	107	3.4
昭和大学藤が丘病院	0	-	0	-	12	0.5	12	0.4
聖隷横浜病院	0	-	12	2.9	70	2.7	82	2.6
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	-	0	-	14	0.5	14	0.4
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	-	0	-	49	1.9	49	1.6
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	-	0	-	73	2.8	73	2.3
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	-	0	-	39	1.5	39	1.3
医療法人社団 恵生会 上白根病院	0	-	0	-	77	2.9	77	2.5
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	0	-	0	-	120	4.6	120	3.9
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	-	35	8.3	159	6.1	194	6.2
医療法人社団 明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	11	14.7	27	6.4	192	7.3	230	7.4
財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	0	-	0	-	38	1.4	38	1.2
医療法人社団 愛友会 金沢文庫病院	0	-	0	-	41	1.6	41	1.3
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	-	0	-	35	1.3	35	1.1
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	-	19	4.5	64	2.4	83	2.7
湘南泉病院	0	-	0	-	120	4.6	120	3.9
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	-	0	-	0	-	0	-
財団法人横浜労働者福祉協会 汐田総合病院	0	-	12	2.9	65	2.5	77	2.5
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	-	0	-	36	1.4	36	1.2
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	-	0	-	12	0.5	12	0.4
合 計	75	100.0	420	100.0	2,621	100.0	3,116	100.0

横浜国立大学脳血管医療センター	29		110		355		494	
-----------------	----	--	-----	--	-----	--	-----	--

本表の数値は、平成22年8月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。
 ・横浜国立大学脳血管医療センターについてはDPC対象病院でないため、同期間の退院患者数の実績を元に集計した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名 手術ありなし 手術等サブ分類	010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤													
	件数								平均在院日数					
	手術あり					平均なし	計	割合 (%)	手術あり					手術なし
	97	01	02	03	99				97	01	02	03	99	
	横浜	市立	市民	病院										
横浜市立市民病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
横浜市立みなと赤十字病院	0	10	0	0	0	0	10	13.3	-	37.0	-	-	-	-
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	12	0	0	0	0	12	16.0	-	39.5	-	-	-	-
昭和大学横浜市北部病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	17	0	0	0	0	17	22.7	-	47.8	-	-	-	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	10	0	0	0	0	10	13.3	-	55.1	-	-	-	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
恩賜財団済生会横浜市東部病院	0	15	0	0	0	0	15	20.0	-	32.9	-	-	-	-

その他病院

神奈川県立がんセンター	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
社会保険横浜中央病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人五星会 菊名記念病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
昭和大学藤が丘病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
聖隷横浜病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人 横浜博萌会 西横浜国際総合病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団明芳会 横浜新都市臨神外科病院	0	11	0	0	0	0	11	14.7	-	26.9	-	-	-	-
財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団 愛友会 金沢文庫病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
湘南泉病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
合 計	0	75	0	0	0	0	75	100.0	-	-	-	-	-	-

脳血管医療センター	0	8	4	3	14	29
-----------	---	---	---	---	----	----

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

資料16

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名 手術ありなし 手術等サブ分類	010040 非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)									
	件数						平均在院日数			
	手術あり				計	割合 (%)	手術あり			
	97	01	02	99			97	01	02	99
横浜州市立市民病院	0	0	0	32	32	7.6	-	-	-	25.2
横浜州市立みなと赤十字病院	0	0	0	44	44	10.5	-	-	-	25.5
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	0	0	0	12	12	2.9	-	-	-	23.1
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
聖マリアンナ医科大学横浜西西部病院	0	0	0	19	19	4.5	-	-	-	10.5
昭和大学横浜市北部病院	0	0	0	11	11	2.6	-	-	-	14.0
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	0	0	41	41	9.8	-	-	-	21.2
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	0	0	59	59	14.0	-	-	-	15.5
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	0	0	14	14	3.3	-	-	-	26.4
恩賜財団済生会横浜市東部病院	0	0	0	48	48	11.4	-	-	-	20.5

その他病院

神奈川県立がんセンター	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
社会保険横浜中央病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	0	0	19	19	4.5	-	-	-	27.9
医療法人五星会 菊名記念病院	0	0	0	18	18	3.8	-	-	-	18.6
昭和大学区丘病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
聖隷横浜病院	0	0	0	12	12	2.9	-	-	-	19.8
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人 横浜博明会 西横浜西野総合病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	0	0	35	35	8.3	-	-	-	24.5
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	0	0	27	27	6.4	-	-	-	15.0
財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人社団 愛友会 金沢文庫病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団)戸塚共立第1病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
社会福祉法人 県済福協会 西野総合病院	0	0	0	19	19	4.5	-	-	-	38.5
湘南泉病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	12	12	2.9	-	-	-	15.9
医療法人社団青葉会 牧野記念病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
合 計	0	0	0	420	420	100.0	-	-	-	-

横浜市立脳血管医療センター	4	2	5	99	110
---------------	---	---	---	----	-----

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名 手術ありなし 手術等サブ分類	010060 脳梗塞									
	件数						平均在院日数			
	手術あり			手術なし	計	割合 (%)	手術あり			手術なし
	97	01	02	99			97	01	02	99
横浜州市市民病院	13	0	0	113	126	4.8	43.7	-	-	21.6
横浜国立大学附属横浜赤十字病院	21	0	0	108	127	4.8	27.7	-	-	22.6
公立大学法人 横浜国立大学附属病院	0	0	0	54	54	2.1	-	-	-	17.0
公立大学法人 横浜国立大学附属 市民総合医療センター	10	0	0	78	88	3.3	57.0	-	-	14.6
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	13	0	0	98	109	4.2	43.2	-	-	18.1
昭和大学横浜北部病院	0	0	0	44	44	1.7	-	-	-	15.6
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	13	0	0	107	120	4.6	71.5	-	-	22.6
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	0	0	198	198	7.5	-	-	-	17.7
恩賜財団済生会横浜南部病院	15	0	0	121	136	5.2	63.0	-	-	22.7
恩賜財団済生会横浜東部病院	16	0	0	130	146	5.6	30.0	-	-	13.3

その他病院

神奈川県立がんセンター	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
社会保険横浜中央病院	11	0	0	58	67	2.6	48.6	-	-	26.2
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	15	0	0	88	103	3.9	58.2	-	-	21.5
医療法人五里会 菊名記念病院	10	0	0	81	91	3.5	37.9	-	-	20.2
昭和大学横浜が丘病院	0	0	0	12	12	0.5	-	-	-	15.8
聖隷横浜病院	0	0	0	70	70	2.7	-	-	-	20.5
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	14	14	0.5	-	-	-	13.7
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	0	0	49	49	1.9	-	-	-	21.1
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	14	0	0	59	73	2.8	17.1	-	-	21.0
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	0	0	39	39	1.5	-	-	-	12.9
医療法人社団 恵生会 上白根病院	17	0	0	60	77	2.9	44.6	-	-	18.1
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院	18	0	0	102	120	4.6	29.1	-	-	14.2
国家公務員共済組合連合会 横浜東共済病院	0	11	0	148	159	6.1	-	41.6	-	22.9
医療法人社団 明芳会 横浜新都市国神経外科病院	0	0	0	192	192	7.3	-	-	-	14.3
財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院	0	0	0	38	38	1.4	-	-	-	22.8
金沢文庫病院	0	0	0	41	41	1.6	-	-	-	18.7
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	0	0	35	35	1.3	-	-	-	12.8
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	0	0	64	64	2.4	-	-	-	26.0
湘南泉病院	22	0	0	98	120	4.6	54.2	-	-	9.8
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
財団法人 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	65	65	2.5	-	-	-	13.8
医療法人社団 青葉会 牧野記念病院	0	0	0	36	36	1.4	-	-	-	10.2
財団法人 船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	0	12	12	0.5	-	-	-	29.7
合 計	208	11	0	2,402	2,621	100.0	-	-	-	-

横浜国立大学附属血管医療センター	14	12	5	324	355
------------------	----	----	---	-----	-----

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

横浜市内のDPC対象病院等における疾患別取扱件数

平成21年7月～12月 退院患者

(単位:件、日)

DPC疾患コード 疾患名 手術ありなし 手術等サブ分類	050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞											
	件数							平均在院日数				
	手術あり				手術なし 99	計	割合 (%)	手術あり				手術なし
	97	01	02	03				97	01	02	03	
	97	01	02	03	99	計	割合 (%)	97	01	02	03	99
横浜市立市民病院	0	0	0	32	0	32	5.7	-	-	-	16.5	-
横浜市立みなと赤十字病院	0	0	0	29	0	29	5.2	-	-	-	14.7	-
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	0	0	0	13	0	13	2.3	-	-	-	15.7	-
公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	0	0	0	59	10	69	12.3	-	-	-	19.0	14.8
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	0	0	0	11	0	11	2.0	-	-	-	21.7	-
昭和大学横浜市北部病院	0	0	0	27	0	27	4.8	-	-	-	16.2	-
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター	0	0	0	20	0	20	3.6	-	-	-	24.9	-
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	0	0	0	26	0	26	4.6	-	-	-	15.1	-
恩賜財団済生会横浜市南部病院	0	0	0	38	0	38	6.8	-	-	-	20.6	-
恩賜財団済生会横浜市東部病院	0	0	0	40	0	40	7.1	-	-	-	15.5	-

その他病院

神奈川県立がんセンター	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
社会保険横浜中央病院	0	0	0	10	0	10	1.8	-	-	-	24.8	-
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	0	0	0	15	0	15	2.7	-	-	-	23.5	-
医療法人五里会 菊名記念病院	0	0	0	38	0	38	6.8	-	-	-	11.0	-
昭和大学藤が丘病院	0	0	0	47	0	47	8.4	-	-	-	15.3	-
聖隷横浜病院	0	0	0	12	0	12	2.1	-	-	-	18.2	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第2病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人 横浜博明会 西横浜国際総合病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人財団 明理会 東戸塚記念病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	0	0	0	22	0	22	3.9	-	-	-	15.5	-
医療法人社団恵生会 上白根病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	0	0	0	38	0	38	6.8	-	-	-	23.9	-
医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	0	0	0	12	0	12	2.1	-	-	-	22.3	-
医療法人社団 愛友会 金沢文庫病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人柏堤会(財団) 戸塚共立第1病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	0	0	0	31	0	31	5.5	-	-	-	13.7	-
湘南泉病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
神奈川県立循環器呼吸器病センター	0	0	0	32	0	32	5.7	-	-	-	18.5	-
財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
医療法人社団得楽会 牧野記念病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
財団法人船員保険会 横浜船員保険病院	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
合 計	0	0	0	552	10	562	100.0	-	-	-	-	-

本表の数値は、平成22年6月30日 平成22年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 平成21年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要(案)の参考資料2「疾患別手術別集計 施設別」より抜粋した。

市民病院 収支実績及び見込み

(単位:百万円)

	H21決算	H22見込	H23見込	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
収益	16,007	17,606	18,936	18,917	18,905	18,896	18,889
入院収益	10,094	11,648	12,517	12,517	12,517	12,517	12,517
外来収益	3,777	3,904	4,123	4,123	4,123	4,123	4,123
繰入金	1,219	1,205	1,309	1,307	1,295	1,286	1,279
その他	917	849	987	970	970	970	970
費用	15,613	16,518	18,538	18,583	18,573	18,467	18,469
人件費	8,555	9,009	10,345	10,345	10,345	10,345	10,345
材料費	3,760	4,025	4,484	4,484	4,484	4,484	4,484
経費等	2,512	2,689	2,886	2,878	2,859	2,845	2,835
減価償却費等	786	795	823	876	885	793	805
経常損益	394	1,088	398	334	332	429	420
特別損失							
累積欠損金	△4,108	△3,020	△2,622	△2,288	△1,956	△1,527	△1,107
資本的収入	1,070	811	1,224	1,344	1,064	952	1,027
企業債	687	400	734	500	500	500	500
国庫補助金等		5	88				
繰入金	383	406	402	844	564	452	527
資本的支出	1,455	1,244	1,710	2,263	1,699	1,498	1,665
備品購入費等	374	612	1,090	762	762	762	762
企業償還金	1,081	632	620	1,501	937	736	903
差引	△385	△433	△486	△919	△635	△546	△638
資金収支	795	1,450	735	291	582	676	587
留保資金累計	1,635	3,085	3,820	4,111	4,693	5,369	5,956
企業債残高	6,495	6,263	6,377	5,376	4,939	4,703	4,300

※試算条件

H22:上半期実績に基づく決算見込み

H23:医師、看護婦の増員及び診療機能の向上に伴う入院単価増を想定

H24:原則H23と同条件、減価償却費、企業債利息等は前条件による推定額

留保資金(H21末):流動資産－流動負債－脳血管医療センター預託金

全国 推計退院患者数

厚生労働省 平成20年患者調査より抜粋

平成20年
上巻第29表患者調査 平成20年9月 千人
推計退院患者数、性・年齢階級×傷病分類×病院—一般診療所別

病院	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44
総数	1139.7	25.8	28.2	14.6	10.7	16	25.5	35.8	45	43.1	34.2
I 感染症及び寄生虫症	35.3	1.7	2.1	1.3	0.9	1.1	1.5	1.2	1.2	1.2	1
腸管感染症(再掲)	14.7	0.4	1.1	0.9	0.7	0.7	0.9	0.7	0.6	0.6	0.5
結核(再掲)	2.4	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	4.2	0.2	0.4	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
真菌症(再掲)	0.7	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0
II 新生物	218.8	0.2	0.9	0.6	0.5	0.7	1.2	1.9	3.2	5	6.7
(悪性新生物)(再掲)	187.3	0.1	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.7	1.3	2.6	4
胃の悪性新生物(再掲)	20.9	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.2	0.3
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	30.3	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.3	0.5
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	24.4	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.3
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.7	0.9	1.1
甲状腺障害(再掲)	1.4	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1
糖尿病(再掲)	19.8	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8
V 精神及び行動の障害	35.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.9	1.6	1.9	2.4	2.7	2.6
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	12.8	0	0	0	0	0.3	0.5	0.8	1.1	1.3	1.2
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)(再掲)	8.3	-	0	0	0	0.1	0.3	0.4	0.6	0.7	0.6
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	3	0	0	0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
VI 神経系の疾患	35.2	0.4	1	1	0.7	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.3
VII 眼及び付属器の疾患	37.4	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
白内障(再掲)	25.6	-	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1
VIII 耳及び乳突突起の疾患	8.9	0.1	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
IX 循環器系の疾患	154.8	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.7	1	1.7	2.3
高血圧性疾患(再掲)	3.9	0	-	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	75.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8	1
虚血性心疾患(再掲)	41.3	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.3	0.6
脳血管疾患(再掲)	56	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7
X 呼吸器系の疾患	95.6	4.2	12.8	4.5	1.6	1.8	2.2	2	2.1	1.8	1.4
急性上気道感染症(再掲)	7.5	1.1	1.9	0.7	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2
肺炎(再掲)	36.8	0.7	3.9	1.1	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	4.9	0.9	1.5	0.3	0.1	0	0	0	0	0	0
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	6.2	0.9	1.3	0.1	0	0	0	0	0	0	0
喘息(再掲)	10.2	0.4	3.7	1.7	0.6	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
XI 消化器系の疾患	135.3	0.7	2	1.4	1.6	2.2	3	3.1	3.8	4.8	4.8
う蝕(再掲)	0.3	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	9.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	9.2	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	2.1	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
肝疾患(再掲)	10.5	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	14.8	0.2	0.6	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	53.1	0.3	0.9	0.4	0.5	0.8	0.9	1	1.4	1.7	1.7
炎症性多発性関節障害(再掲)	7	0	0	0.1	0.1	0.1	0	0.1	0.1	0.2	0.2
関節症(再掲)	9.6	0	-	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1
脊柱障害(再掲)	23.7	0	0	0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.8	0.9	0.9
骨の密度及び構造の障害(再掲)	0.9	-	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0
XIV 泌尿生殖器系の疾患	57.1	0.8	0.7	0.5	0.3	0.7	1.1	1.7	2.5	2.7	2.6
糸球体疾患、腎臓細管間質性疾患及び腎不全(再掲)	25.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6
前立腺肥大(症)(再掲)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
乳房及び女性生殖系の疾患(再掲)	8.3	0.1	0	0	0	0.1	0.4	0.9	1.4	1.3	1
XV 妊娠、分娩及び産後	55.2	-	-	-	0	0.9	5.8	14.6	19.4	11.8	2.4
妊娠高血圧症候群(再掲)	1	-	-	-	-	0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1
XVI 周産期に発生した病態	13.4	13.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天畸形、変形及び染色体異常	8	1.8	2.5	0.8	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24.5	0.5	1.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	101.4	0.3	1.5	1.8	2.3	4.2	4	3.4	3.5	3.8	3.4
骨折(再掲)	55.6	0.1	0.4	1	1.2	1.6	1.4	1.2	1.4	1.4	1.4
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.2	1.1	1.5	1.8	1.4	0.9
歯の補綴(再掲)	0.2	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0

全国 推計退院患者数

平成20年
上巻第29表

病院	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	不詳
総数	36.4	47.1	77.3	93.4	107.2	128.3	133.9	113.2	71.6	50.4	3.1
I 感染症及び寄生虫症	1.1	1.3	2.1	2.3	2.6	2.8	3.2	3	2	1.4	0.1
腸管感染症(再掲)	0.4	0.4	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.1	0.6	0.6	0
結核(再掲)	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2	0
真菌症(再掲)	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0
II 新生物	8.7	11.8	21.1	27.1	31.3	33.8	31.1	19.9	8.7	3.8	0.5
(悪性新生物)(再掲)	6.1	9.6	18.6	24.3	28.6	31	28.6	18.2	8	3.5	0.4
胃の悪性新生物(再掲)	0.4	0.8	1.9	2.6	3.2	3.7	3.5	2.4	1.2	0.6	0
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	0.8	1.6	3.3	4.1	4.9	5.1	4.6	2.9	1.3	0.6	0.1
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	0.5	0.9	2.2	3.2	4	4.5	4.4	2.7	1	0.3	0
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.7	0.8	0.9	0.7	0.5	0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.2	1.8	2.8	3.2	3.3	3.7	3.9	3.7	2.6	1.9	0.1
甲状腺障害(再掲)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0	0
糖尿病(再掲)	0.9	1.3	2.2	2.5	2.5	2.6	2.4	1.7	0.9	0.4	0
V 精神及び行動の障害	2.3	2.3	2.9	2.6	2.6	2.5	2.4	2.1	1.5	1.1	0.1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	1.1	1.1	1.4	1.2	1.1	0.7	0.5	0.3	0.1	0.1	0
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.2	0.1	0
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0
VI 神経系の疾患	1.4	1.6	2.5	2.8	3.1	3.7	4.1	3.6	2.1	1.2	0.1
VII 眼及び付属器の疾患	0.6	1	2.3	3.4	4.6	6.6	7.3	5.8	2.5	0.7	0.1
白内障(再掲)	0.2	0.4	1.1	2	3.1	5.1	5.9	4.8	2.1	0.6	0.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.4	0.5	0.8	0.9	1.1	1	0.8	0.6	0.3	0.1	0
IX 循環器系の疾患	3.5	5.7	10.9	14.8	18.2	22.4	24.2	21.6	14.5	11.2	0.4
高血圧性疾患(再掲)	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.6	0.4	0
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	1.7	2.8	5.6	7.7	9.5	11.4	11.8	10	6.3	5.1	0.2
虚血性心疾患(再掲)	1.1	1.9	4	5.3	6.5	7.4	6.9	4.4	1.7	0.8	0.1
脳血管疾患(再掲)	1.1	1.8	3.5	4.8	6	7.6	8.9	8.8	6.6	5.1	0.2
X 呼吸器系の疾患	1.3	1.6	2.6	3.4	4.4	6.5	9.6	11.6	9.9	9.7	0.3
急性上気道感染症(再掲)	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0
肺炎(再掲)	0.3	0.4	0.8	1.2	1.7	2.8	4.5	5.9	5.4	5.9	0.1
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	0	0	0.1	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.5	0.3	0
喘息(再掲)	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.2	0.2	0
XI 消化器系の疾患	5.7	7.2	11.2	12.9	13.9	16	16.2	12.7	7.3	4.5	0.4
う蝕(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	0.4	0.6	0.9	1	0.9	0.9	1.1	1	0.7	0.5	0
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0
肝疾患(再掲)	0.6	0.8	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	0.8	0.4	0.2	0
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	0.5	0.6	0.9	1	1.2	1.4	1.6	1.6	1.2	1	0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	2.6	4.2	4.7	5.5	7	7.5	5.6	2.8	1.4	0.2
炎症性多発性関節障害(再掲)	0.3	0.5	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.6	0.3	0.2	0
関節症(再掲)	0.2	0.4	0.7	0.9	1.1	1.8	2.1	1.4	0.4	0.2	0
脊柱障害(再掲)	1	1.2	1.8	2.2	2.6	3.3	3.4	2.4	1.3	0.5	0.1
骨の密度及び構造の障害(再掲)	0	0	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0
XIV 泌尿路生殖系の疾患	2.3	2.6	4	4.5	5.2	6.1	6.3	5.6	3.8	2.9	0.2
糸球体疾患、腎臓細管間質性疾患及び腎不全(再掲)	0.7	0.9	1.8	2.1	2.4	2.9	3.3	3.2	2.2	1.6	0.1
前立腺肥大(症)(再掲)	0	0	0.2	0.5	0.7	1	0.8	0.5	0.2	0.1	0
乳房及び女性生殖系の疾患(再掲)	0.7	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.1	0	0	0
XV 妊娠、分娩及び産後	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2
妊娠高血圧症候群(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0	0	0
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.6	0.8	1.3	1.7	1.9	2.5	3	3.1	2.1	1.8	0.1
XX 損傷、中毒及びその他の外国の影響	3.5	3.8	5.9	6.3	6.8	8.6	10.8	11.3	9.2	6.7	0.3
骨折(再掲)	1.5	1.7	2.9	3	3.5	4.9	6.7	7.8	6.9	5.3	0.2
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.8	1.2	1.5	1.1	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0
歯の補てつ(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

全国 推計退院患者数 構成割合

平成20年

上巻第29表

厚生労働省 平成20年患者調査より抜粋

患者調査 平成20年9月

全国 年齢階層別傷病分類割合(各年齢層の退院患者数合計を100%として各疾患が構成割合を示す)

推計退院患者数、性・年齢階級×傷病分類×病院—一般診療所別総数

病院	総数	0~4歳	5~14	15~24	25~34	35~44
総数	1139.7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
I 感染症及び寄生虫症	35.3	7.0%	8.7%	6.3%	2.9%	2.8%
腸管感染症(再掲)	14.7	2.8%	6.3%	3.9%	1.6%	1.4%
結核(再掲)	2.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	4.2	1.1%	0.4%	0.5%	0.2%	0.3%
真菌症(再掲)	0.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
II 新生物	218.8	2.0%	4.3%	4.6%	6.2%	15.1%
(悪性新生物)(再掲)	187.3	0.9%	2.4%	1.7%	2.4%	8.5%
胃の悪性新生物(再掲)	20.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	30.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.0%
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	24.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.5%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7.1	0.7%	1.6%	0.5%	0.5%	0.5%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.4	1.3%	2.8%	1.4%	1.3%	2.6%
甲状腺障害(再掲)	1.4	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%
糖尿病(再掲)	19.8	0.0%	0.4%	0.5%	0.7%	1.8%
V 精神及び行動の障害	35.2	0.4%	1.6%	6.0%	5.3%	6.9%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	12.8	0.0%	0.0%	1.9%	2.3%	3.2%
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	8.3	0.0%	0.0%	1.0%	1.2%	1.7%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	3	0.0%	0.4%	1.0%	0.5%	0.5%
VI 神経系の疾患	35.2	2.6%	6.7%	3.6%	2.4%	3.4%
VII 眼及び付属器の疾患	37.4	0.6%	1.6%	1.2%	0.7%	0.9%
白内障(再掲)	25.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	8.9	1.1%	2.0%	0.7%	0.6%	0.8%
IX 循環器系の疾患	154.8	0.7%	2.4%	1.9%	2.1%	5.2%
高血圧性疾患(再掲)	3.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	75.4	0.4%	0.8%	0.7%	0.9%	2.3%
虚血性心疾患(再掲)	41.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.2%
脳血管疾患(再掲)	56	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	1.4%
X 呼吸器系の疾患	95.6	31.5%	24.1%	9.6%	5.0%	4.1%
急性上気道感染症(再掲)	7.5	5.6%	3.6%	1.9%	1.2%	0.6%
肺炎(再掲)	36.8	8.5%	6.3%	1.2%	0.7%	0.8%
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	4.9	4.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	6.2	4.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
喘息(再掲)	10.2	7.6%	9.1%	0.5%	0.4%	0.5%
X I 消化器系の疾患	135.3	5.0%	11.9%	12.5%	8.4%	12.4%
う蝕(再掲)	0.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	0.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	9.2	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	0.8%
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	2.1	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%
肝疾患(再掲)	10.5	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	0.9%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	14.8	1.5%	2.0%	1.7%	1.0%	1.3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	53.1	2.2%	3.6%	4.1%	2.9%	4.4%
炎症性多発性関節障害(再掲)	7	0.0%	0.8%	0.2%	0.2%	0.5%
関節症(再掲)	9.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
脊柱障害(再掲)	23.7	0.0%	0.4%	1.4%	1.6%	2.3%
骨の密度及び構造の障害(再掲)	0.9	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	57.1	2.8%	3.2%	4.3%	5.1%	6.9%
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全(再掲)	25.2	0.9%	1.6%	2.2%	1.1%	1.4%
前立腺肥大(症)(再掲)	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳房及び女性生殖器の疾患(再掲)	8.3	0.2%	0.0%	1.2%	2.8%	3.0%
X V 妊娠、分娩及び産後	55.2	0.0%	0.0%	16.1%	41.6%	18.4%
妊娠高血圧症候群(再掲)	1	0.0%	0.0%	0.2%	0.6%	0.4%
X VI 周産期に発生した病態	13.4	24.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	8	8.0%	4.7%	1.4%	0.6%	0.4%
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24.5	3.3%	2.8%	1.7%	1.3%	1.4%
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	101.4	3.3%	16.2%	19.8%	8.4%	9.3%
骨折(再掲)	55.6	0.9%	8.7%	7.2%	3.2%	3.6%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15.4	0.9%	0.8%	3.1%	4.0%	3.0%
歯の補てつ(再掲)	0.2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全国 推計退院患者数 構成割合

平成20年

上巻第29表

病院	45～54	55～64	65～74	75～84	85歳以上	不詳
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
I 感染症及び寄生虫症	2.9%	2.6%	2.3%	2.5%	2.8%	3.2%
腸管感染症(再掲)	1.0%	0.8%	0.7%	0.9%	1.1%	0.0%
結核(再掲)	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.0%
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患(再掲)	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%
真菌症(再掲)	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
II 新生物	24.6%	28.2%	27.9%	20.6%	10.2%	16.1%
(悪性新生物)(再掲)	18.8%	25.1%	25.5%	18.9%	9.4%	12.9%
胃の悪性新生物(再掲)	1.4%	2.6%	3.0%	2.4%	1.5%	0.0%
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	2.9%	4.3%	4.3%	3.0%	1.6%	3.2%
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	1.7%	3.2%	3.6%	2.9%	1.1%	0.0%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.5%	0.5%	0.5%	0.7%	1.0%	0.0%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3.6%	3.5%	3.0%	3.1%	3.7%	3.2%
甲状腺障害(再掲)	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
糖尿病(再掲)	2.6%	2.8%	2.2%	1.7%	1.1%	0.0%
V 精神及び行動の障害	5.5%	3.2%	2.2%	1.8%	2.1%	3.2%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	2.6%	1.5%	0.8%	0.3%	0.2%	0.0%
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	1.4%	0.8%	0.6%	0.5%	0.2%	0.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(再掲)	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.0%
VI 神経系の疾患	3.6%	3.1%	2.9%	3.1%	2.7%	3.2%
VII 眼及び付属器の疾患	1.9%	3.3%	4.8%	5.3%	2.6%	3.2%
白内障(再掲)	0.7%	1.8%	3.5%	4.3%	2.2%	3.2%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1.1%	1.0%	0.9%	0.6%	0.3%	0.0%
IX 循環器系の疾患	11.0%	15.1%	17.4%	18.5%	21.1%	12.9%
高血圧性疾患(再掲)	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	0.0%
(心疾患(高血圧性のものを除く))(再掲)	5.4%	7.8%	9.0%	8.8%	9.3%	6.5%
虚血性心疾患(再掲)	3.6%	5.4%	6.0%	4.6%	2.0%	3.2%
脳血管疾患(再掲)	3.5%	4.9%	5.8%	7.2%	9.6%	6.5%
X 呼吸器系の疾患	3.5%	3.5%	4.7%	8.6%	16.1%	9.7%
急性上気道感染症(再掲)	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%
肺炎(再掲)	0.8%	1.2%	1.9%	4.2%	9.3%	3.2%
急性気管支炎及び急性細気管支炎(再掲)	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.6%	0.0%
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患(再掲)	0.0%	0.2%	0.3%	0.7%	0.7%	0.0%
喘息(再掲)	0.5%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%
X I 消化器系の疾患	15.4%	14.1%	12.8%	11.7%	9.7%	12.9%
う蝕(再掲)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歯肉炎及び歯周疾患(再掲)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍(再掲)	1.2%	1.1%	0.8%	0.8%	1.0%	0.0%
胃炎及び十二指腸炎(再掲)	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%
肝疾患(再掲)	1.7%	1.5%	1.2%	0.8%	0.5%	0.0%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1.3%	1.1%	1.1%	1.3%	1.8%	0.0%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5.5%	5.2%	5.4%	5.3%	3.4%	6.5%
炎症性多発性関節障害(再掲)	1.0%	0.9%	0.7%	0.6%	0.4%	0.0%
関節症(再掲)	0.7%	0.9%	1.2%	1.4%	0.5%	0.0%
脊柱障害(再掲)	2.6%	2.3%	2.5%	2.3%	1.5%	3.2%
骨の密度及び構造の障害(再掲)	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%
X IV 腎尿路生殖系系の疾患	5.9%	5.0%	4.8%	4.8%	5.5%	6.5%
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全(再掲)	1.9%	2.3%	2.3%	2.6%	3.1%	3.2%
前立腺肥大(症)(再掲)	0.0%	0.4%	0.7%	0.5%	0.2%	0.0%
乳房及び女性生殖器の疾患(再掲)	1.3%	0.4%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%
妊娠高血圧症候群(再掲)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
X VI 周産期に発生した病態	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.7%	1.8%	1.9%	2.5%	3.2%	3.2%
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.7%	7.1%	6.6%	8.9%	13.0%	9.7%
骨折(再掲)	3.8%	3.5%	3.6%	5.9%	10.0%	6.5%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2.4%	1.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.0%
歯の補てつ(再掲)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

資料19

推計退院患者数(年齢階層別)

厚生労働省 平成20年患者調査より抜粋

平成20年 患者調査 平成20年9月 単位:千人

下巻第32表 病院の推計退院患者数(患者住所地), 二次医療圏×性・年齢階級別(全国, 北海道～静岡)
(その1)

		全国	14 神奈川県	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	横浜計
総数	総数	1139.7	66.4	9.9	7.9	9	26.8
	0～4歳	54	3.2	0.4	0.3	0.5	1.2
	5～14	25.3	1.4	0.2	0.1	0.2	0.5
	15～24	41.5	2.5	0.4	0.2	0.3	0.9
	25～34	81.8	5.6	0.9	0.6	0.7	2.2
	35～44	77.3	5.6	1	0.7	0.7	2.4
	45～54	83.5	5	0.8	0.6	0.6	2
	55～64	170.7	10.1	1.4	1.2	1.4	4
	65～74	233.5	14.3	2	1.8	1.9	5.7
	75～84	247.1	12.6	1.8	1.7	1.9	5.4
	85歳以上	122	5.8	0.9	0.8	0.7	2.4
	不詳	3.1	0.2	0	0	0	0
	65歳以上(再掲)	602.6	32.7	4.7	4.3	4.5	13.5
	70歳以上(再掲)	495.4	25.8	3.8	3.4	3.6	10.8
	75歳以上(再掲)	369.1	18.4	2.7	2.4	2.6	7.7
男	総数	570.7	34.1	5.1	4.1	4.7	13.9
	0～4歳	30.1	1.7	0.3	0.2	0.3	0.8
	5～14	14.8	0.8	0.1	0.1	0.1	0.3
	15～24	19	1.3	0.2	0.1	0.1	0.4
	25～34	22.5	1.5	0.3	0.2	0.2	0.7
	35～44	32.2	2.3	0.4	0.3	0.3	1
	45～54	46.3	2.8	0.5	0.3	0.4	1.2
	55～64	102	6.2	0.9	0.7	0.9	2.5
	65～74	136.6	8.7	1.2	1.1	1.2	3.5
	75～84	125.7	6.7	0.9	0.9	1	2.8
	85歳以上	40	2	0.3	0.3	0.3	0.9
	不詳	1.4	0.1	0	0	0	0
	65歳以上(再掲)	302.3	17.4	2.4	2.3	2.4	7.1
	70歳以上(再掲)	238.4	13.2	1.8	1.8	1.8	5.4
	75歳以上(再掲)	165.6	8.7	1.2	1.2	1.3	3.7
女	総数	569	32.3	4.9	3.8	4.3	13
	0～4歳	23.9	1.4	0.2	0.1	0.2	0.5
	5～14	10.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3
	15～24	22.5	1.3	0.2	0.1	0.2	0.5
	25～34	59.3	4.1	0.6	0.4	0.5	1.5
	35～44	45.1	3.3	0.6	0.4	0.4	1.4
	45～54	37.1	2.2	0.4	0.3	0.3	1
	55～64	68.6	4	0.5	0.4	0.5	1.4
	65～74	96.8	5.6	0.8	0.7	0.7	2.2
	75～84	121.4	5.9	0.9	0.8	0.9	2.6
	85歳以上	82.1	3.8	0.6	0.5	0.5	1.6
	不詳	1.6	0.1	0	0	0	0
	65歳以上(再掲)	300.3	15.3	2.3	2	2.1	6.4
	70歳以上(再掲)	257	12.6	1.9	1.7	1.7	5.3
	75歳以上(再掲)	203.4	9.7	1.5	1.3	1.3	4.1

推計退院患者数(傷病大分類別)
厚生労働省 平成20年患者調査より抜粋

平成20年
国勢第159表(その1)

患者調査 単位:千人
病院の推計退院患者数(患者住所地), 二次医療圏×傷病大分類別(全国, 北海道～静岡)

	全国	全国構成比	14 神奈川県	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	横浜合計	横浜構成比
総数	1139.7	100.00%	66.4	9.9	7.9	9	26.8	100.00%
I 感染症及び寄生虫症	35.3	3.10%	1.9	0.2	0.2	0.3	0.7	2.61%
腸管感染症	14.7	1.29%	0.7	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
結核	2.4	0.21%	0.1	0	0	0	0	0.00%
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	4.2	0.37%	0.3	0	0	0.1	0.1	0.37%
真菌症	0.7	0.06%	0	-	0	0	0	0.00%
II 新生物	218.8	19.20%	13.6	1.9	1.6	1.8	5.3	19.78%
(悪性新生物)(再掲)	187.3	16.43%	11.5	1.6	1.4	1.5	4.5	16.79%
胃の悪性新生物	20.9	1.83%	1.2	0.2	0.2	0.1	0.5	1.87%
結腸及び直腸の悪性新生物	30.3	2.66%	2.2	0.3	0.2	0.3	0.8	2.99%
気管、気管支及び肺の悪性新生物	24.4	2.14%	1.4	0.2	0.2	0.2	0.6	2.24%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7.1	0.62%	0.4	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.4	2.93%	1.8	0.3	0.3	0.3	0.9	3.36%
甲状腺障害	1.4	0.12%	0.1	0	0	0	0	0.00%
糖尿病	19.8	1.74%	1	0.2	0.2	0.2	0.6	2.24%
V 精神及び行動の障害	35.2	3.09%	1.7	0.2	0.2	0.2	0.6	2.24%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	12.8	1.12%	0.7	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	8.3	0.73%	0.4	0.1	0.1	0	0.2	0.75%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3	0.26%	0.1	0	0	0	0	0.00%
VI 神経系の疾患	35.2	3.09%	1.8	0.3	0.2	0.3	0.8	2.99%
VII 眼及び付属器の疾患	37.4	3.28%	2.5	0.4	0.3	0.3	1	3.73%
白内障	25.8	2.26%	1.8	0.3	0.2	0.2	0.7	2.61%
VIII 耳及び乳突突起の疾患	8.9	0.78%	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
IX 循環器系の疾患	154.8	13.58%	9.7	1.5	1.2	1.4	4.1	15.30%
高血圧性疾患	3.9	0.34%	0.2	0	0	0	0	0.00%
(心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲))	75.4	6.62%	5.1	0.8	0.6	0.7	2.1	7.84%
虚血性心疾患	41.3	3.62%	3.1	0.5	0.3	0.4	1.2	4.48%
(脳血管疾患)(再掲)	56	4.91%	2.9	0.4	0.4	0.4	1.2	4.48%
X 呼吸器系の疾患	95.6	8.39%	5.1	0.8	0.6	0.7	2.1	7.84%
急性上気道感染症	7.5	0.66%	0.4	0.1	0	0	0.1	0.37%
肺炎	36.8	3.23%	1.9	0.3	0.3	0.2	0.8	2.99%
急性気管支炎及び急性細気管支炎	4.9	0.43%	0.2	0	0	0	0	0.00%
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	6.2	0.54%	0.3	0.1	0	0	0.1	0.37%
喘息	10.2	0.89%	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
XI 消化器系の疾患	135.3	11.87%	8	1.2	1	1.1	3.3	12.31%
う蝕	0.3	0.03%	0.1	0	0	0	0	0.00%
歯肉炎及び歯周疾患	0.5	0.04%	0	0	0	0	0	0.00%
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	9.2	0.81%	0.5	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
胃炎及び十二指腸炎	2.1	0.18%	0.1	0	0	0	0	0.00%
肝疾患	10.5	0.92%	0.5	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	14.8	1.30%	0.9	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	53.1	4.66%	2.7	0.4	0.3	0.4	1.1	4.10%
炎症性多発性関節障害	7	0.61%	0.3	0	0	0	0	0.00%
脊柱障害	23.7	2.08%	1.2	0.2	0.1	0.2	0.5	1.87%
骨の密度及び構造の障害	0.9	0.08%	0.1	0	0	0	0	0.00%
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	21.5	1.89%	1.1	0.2	0.1	0.1	0.4	1.49%
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	57.1	5.01%	3.2	0.5	0.4	0.4	1.3	4.85%
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	25.2	2.21%	1.4	0.2	0.2	0.2	0.6	2.24%
乳房及び女性生殖系の疾患	8.3	0.73%	0.5	0.1	0	0.1	0.2	0.75%
その他の腎尿路生殖系系の疾患	23.6	2.07%	1.3	0.2	0.1	0.1	0.4	1.49%
XV 妊娠、分娩及び産後	55.2	4.84%	4	0.6	0.4	0.5	1.5	5.60%
妊娠高血圧症候群	1	0.09%	0	0	0	0	0	0.00%
XVI 周産期に発生した病態	13.4	1.18%	0.8	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	8	0.70%	0.6	0.1	0	0.1	0.2	0.75%
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24.5	2.15%	1.2	0.2	0.2	0.2	0.6	2.24%
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	101.4	8.90%	5.3	0.8	0.6	0.7	2.1	7.84%
骨折	55.6	4.88%	2.9	0.5	0.3	0.4	1.2	4.48%
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15.4	1.35%	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	1.12%
正常妊娠・産後・産後の管理	4.2	0.37%	0.2	0.1	0	0	0.1	0.37%

H20 横浜市内ICD大分類年齢別退院患者数 推計

(単位:人)

		0～4	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	合計	構成比率
1	I 感染症及び寄生虫症	918	562	554	726	701	650	1,017	1,362	2,125	8,615	2.6%
2	II 新生物	358	330	519	1,671	4,552	6,824	13,709	20,060	17,300	65,324	19.6%
3	の疾患並びに免疫機構の障害	208	213	143	302	272	231	393	634	1,300	3,695	1.1%
4	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	302	232	181	436	909	1,098	1,946	2,374	3,588	11,068	3.3%
5	V 精神及び行動の障害	0	68	460	1,028	1,451	1,072	1,094	1,063	1,368	7,605	2.3%
6	VI 神経系の疾患	392	472	380	640	913	928	1,426	1,949	2,771	9,870	3.0%
7	VII 眼及び付属器の疾患	66	202	149	242	344	621	1,711	3,756	4,880	11,970	3.6%
8	VIII 耳及び乳突突起の疾患	212	205	151	197	433	416	647	873	709	3,843	1.2%
9	IX 循環器系の疾患	130	161	236	626	1,702	3,306	8,230	13,642	20,920	48,954	14.7%
10	X 呼吸器系の疾患	4,727	1,645	976	1,357	1,165	867	1,545	3,083	9,908	25,273	7.6%
11	X I 消化器系の疾患	828	926	1,417	2,472	3,801	4,274	7,037	9,294	11,010	41,059	12.3%
12	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	200	123	158	269	326	303	454	665	1,201	3,699	1.1%
13	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	312	261	369	744	1,132	1,305	2,121	3,193	3,936	13,372	4.0%
14	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	437	253	438	1,318	1,938	1,525	2,294	3,262	4,641	16,107	4.8%
15	X V 妊娠、分娩及び産後	0	0	2,093	12,072	6,198	38	0	0	0	20,400	6.1%
16	X VI 産褥期に発生した病態	3,713	0	0	0	0	0	0	0	0	3,713	1.1%
17	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1,349	341	139	178	161	137	116	125	29	2,575	0.8%
18	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	576	211	193	382	472	469	827	1,347	2,688	7,165	2.1%
19	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	493	971	1,906	2,195	2,396	2,028	2,917	3,966	8,568	25,441	7.6%
21	X X I 健康状態に被害を及ぼす要因及び保健サービスの利用	96	41	307	864	720	503	605	390	407	3,930	1.2%
合計		15,317	7,218	10,768	27,718	29,584	26,595	48,088	71,040	97,351	333,678	100.0%
	構成比率	4.6%	2.2%	3.2%	8.3%	8.9%	8.0%	14.4%	21.3%	29.2%	100.0%	

○ 算出方法

全国の年齢階級別・傷病分類別退院患者数を横浜市の年齢階級別・傷病分類別の構成比により補正し、横浜市内の年齢階級別・傷病分類別患者数を算出する。

- 1 全国病院の各年齢階級ごとの疾患構成を算出。①より…④
- 2 横浜市の疾患別・年齢別退院患者数を算出 Σ ②×④…⑤
- 3 ⑤を横浜市疾病別患者数により補正 Σ ⑤×③…⑥

参考資料

- ① 厚生労働省H20患者調査 閲覧第29表:推計退院患者数、性・年齢階級 × 傷病分類 × 病院—一般診療月
- ② 厚生労働省H20患者調査 閲覧第32表:病院の推計退院患者数(患者住所地)、二次医療圏×性・年齢階級別(全国、北海道～静岡)
- ③ 厚生労働省H20患者調査 閲覧第159表:病院の推計退院患者数(患者住所地)、二次医療圏 × 傷病大分類別(全国、北海道～静岡)

H21 市民病院ICD大分類別年齢別退院患者数

(単位:人)

計		0～4	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	合計	通年換算	構成比
1	I 感染症及び寄生虫症	54	27	29	46	25	27	33	62	101	404	539	3.7%
2	II 新生物	5	6	14	52	174	274	627	1,037	977	3,166	4,221	28.9%
3	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6	18	6	5	3	5	7	9	20	79	105	0.7%
4	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	131	55	9	9	8	27	21	31	52	343	457	3.1%
5	V 精神及び行動の障害	1	3	3	4	10	5	3	6	13	48	64	0.4%
6	VI 神経系の疾患	48	38	12	13	27	17	31	58	49	293	391	2.7%
7	VII 眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	1	9	26	77	170	283	377	2.6%
8	VIII 耳及び乳様突起の疾患	11	7	4	5	6	5	18	16	20	92	123	0.8%
9	IX 循環器系の疾患	9	15	10	15	44	83	193	369	541	1,279	1,705	11.7%
10	X 呼吸器系の疾患	482	217	61	56	43	47	65	131	311	1,413	1,884	12.9%
11	X I 消化器系の疾患	16	42	64	148	202	149	196	279	337	1,433	1,911	13.1%
12	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	17	6	7	14	10	15	19	16	22	126	168	1.1%
13	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	38	9	12	24	24	39	53	69	98	366	488	3.3%
14	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	22	5	19	37	34	33	57	84	130	421	561	3.8%
15	X V 妊娠、分娩及び産じょく	0	0	17	173	107	0	0	0	0	297	396	2.7%
16	X VI 周産期に発生した病態	204	0	0	1	0	0	0	0	0	205	273	1.9%
17	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	25	3	5	6	0	0	5	4	3	51	68	0.5%
18	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38	2	0	0	1	0	1	0	4	46	61	0.4%
19	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	31	57	55	50	61	42	68	86	164	614	819	5.6%
20	X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び医療サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		1,138	510	327	658	780	777	1,423	2,334	3,012	10,959	14,612	100.0%
通年換算		1,517	680	436	877	1,040	1,036	1,897	3,112	4,016			
構成比		10.4%	4.7%	3.0%	6.0%	7.1%	7.1%	13.0%	21.3%	27.5%			

○ 算出手順 H21 市民病院DPCデータによる推計

市民病院 H21.7～H22.3 DPC患者データデータより、退院患者数を性・年齢階級別×傷病大分類に集計したものを通年換算
⇒(A) 14,612人

H42 横浜市内ICD大分類年齢別退院患者数推計

(単位:人)

計	2	0~4	5~14	15~24	25~34	35~44	45~54	55~64	65~74	75歳以上	合計	構成比
1	I 感染症及び寄生虫症	609	383	479	612	494	742	1,217	1,436	4,613	10,586	2.4%
2	II 新生物	237	226	451	1,408	3,218	7,832	16,410	21,352	37,712	88,847	20.0%
3	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	138	145	125	254	191	264	470	669	2,821	5,077	1.1%
4	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	201	158	157	368	640	1,248	2,330	2,515	7,786	15,403	3.5%
5	V 精神及び行動の障害	0	47	399	867	1,024	1,224	1,309	1,120	2,966	8,956	2.0%
6	VI 神経系の疾患	260	322	327	540	643	1,055	1,707	2,067	6,019	12,940	2.9%
7	VII 眼及び付属器の疾患	44	138	128	204	242	709	2,047	3,950	10,588	18,050	4.1%
8	VIII 耳及び乳突突起の疾患	141	140	131	166	306	476	774	913	1,536	4,581	1.0%
9	IX 循環器系の疾患	87	110	203	528	1,198	3,751	9,861	14,531	45,462	75,730	17.1%
10	X 呼吸器系の疾患	3,137	1,123	840	1,144	820	987	1,850	3,290	21,570	34,762	7.8%
11	XI 消化器系の疾患	550	632	1,224	2,085	2,677	4,855	8,430	9,892	23,942	54,287	12.2%
12	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	132	84	137	227	229	345	543	705	2,607	5,010	1.1%
13	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	207	178	318	627	798	1,492	2,537	3,342	8,523	18,022	4.1%
14	XIV 泌尿生殖器系の疾患	290	173	382	1,111	1,369	1,743	2,746	3,469	10,092	21,374	4.8%
15	XV 妊娠、分娩及び産後	0	0	1,839	10,165	4,392	44	0	0	0	16,441	3.7%
16	XVI 周産期に発生した病態	2,464	0	0	0	0	0	0	0	0	2,464	0.6%
17	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	895	233	120	150	113	156	139	132	63	2,002	0.5%
18	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	382	144	167	322	333	536	990	1,422	5,829	10,125	2.3%
19	XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	327	663	1,640	1,852	1,686	2,307	3,491	4,172	18,540	34,680	7.8%
21	XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	64	28	266	727	509	571	724	411	883	4,182	0.9%
合計		10,164	4,928	9,331	23,359	20,882	30,337	57,576	75,388	211,553	443,519	100.0%
	構成比	2.3%	1.1%	2.1%	5.3%	4.7%	6.8%	13.0%	17.0%	47.7%	100.0%	

○ 算出方法 平成42年の横浜市内の退院患者の推計

H20 横浜市内ICD大分類年齢別退院患者数 推計より

H42 横浜市内推計退院患者数 $\Sigma A \times$ 横浜市将来人口推計(階層別増減率)

H42 市民病院ICD大分類別年齢別退院患者数

(単位:人)

計

		0～4	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	合計	通年換算	構成比
1	I 感染症及び寄生虫症	37	18	26	40	17	30	40	64	208	480	640	3.5%
2	II 新生物	3	4	12	45	121	305	765	1,073	2,017	4,347	5,796	31.7%
3	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	12	5	4	2	6	9	9	41	92	123	0.7%
4	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	89	38	8	8	6	30	26	32	107	342	456	2.5%
5	V 精神及び行動の障害	1	2	3	3	7	6	4	6	27	58	77	0.4%
6	VI 神経系の疾患	33	26	11	11	19	19	38	59	101	316	421	2.3%
7	VII 眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	1	10	32	78	349	470	627	3.4%
8	VIII 耳及び乳突突起の疾患	7	5	4	4	4	6	22	16	41	109	146	0.8%
9	IX 循環器系の疾患	6	10	9	13	31	92	236	383	1,114	1,892	2,523	13.8%
10	X 呼吸器系の疾患	326	148	53	48	30	52	79	135	642	1,515	2,020	11.0%
11	X I 消化器系の疾患	11	29	56	128	140	165	239	288	694	1,751	2,334	12.7%
12	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	12	4	6	12	7	17	23	16	45	142	190	1.0%
13	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	26	6	11	21	17	44	65	70	201	460	613	3.3%
14	X IV 腎尿路生殖系系の疾患	15	3	17	32	24	37	70	86	268	551	735	4.0%
15	X V 妊娠、分娩及び産後	0	0	15	150	74	0	0	0	0	239	319	1.7%
16	X VI 周産期に発生した病態	138	0	0	1	0	0	0	0	0	139	185	1.0%
17	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	17	2	4	5	0	0	6	4	6	45	60	0.3%
18	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26	1	0	0	1	0	1	0	8	37	50	0.3%
19	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	21	39	48	43	42	47	83	88	336	748	997	5.4%
20	X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保護サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		771	348	288	569	542	864	1,737	2,409	6,206	13,732	18,310	100.0%
通年換算		1,028	464	384	758	722	1,152	2,316	3,212	8,274	18,310		
構成比		5.6%	2.5%	2.1%	4.1%	3.9%	6.3%	12.6%	17.5%	45.2%	100.0%		

○ 算出手順 市民病院DPCデータによる推計

1 H42退院患者数の推計 $\Sigma ① \times ② \times 9/12 \text{月} = 18,310 \text{人/年}$

参考資料

- ① H21 市民病院DPCデータによる推計
 ② 横浜市将来人口推計 推計結果

資料20

退院患者数 推計比較

(単位:人/年)

			0～4	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	合計
横浜市	H20	構成比率	(4.6%)	(2.2%)	(3.2%)	(8.3%)	(8.9%)	(8.0%)	(14.4%)	(21.3%)	(29.2%)	(100.0%)
		推計患者数	15,317	7,218	10,768	27,718	29,584	26,595	48,088	71,040	97,351	333,678
	H42	構成比率	(2.3%)	(1.1%)	(2.1%)	(5.3%)	(4.7%)	(6.8%)	(13.0%)	(17.0%)	(47.7%)	(100.0%)
		推計患者数	10,164	4,928	9,331	23,359	20,882	30,337	57,576	75,388	211,553	443,519
市民病院	増減	増減率	【△33.6%】	【△31.7%】	【△13.3%】	【△15.7%】	【△29.4%】	【14.1%】	【19.7%】	【6.1%】	【117.3%】	【32.9%】
		推計患者数	△5,153	△2,280	△1,437	△4,359	△8,701	3,742	9,488	4,348	114,202	109,840
	H21	市内シェア	9.9%	9.4%	4.0%	3.2%	3.5%	3.9%	3.9%	4.4%	4.1%	4.4%
		構成比率	(10.4%)	(4.7%)	(3.0%)	(6.0%)	(7.1%)	(7.1%)	(13.0%)	(21.3%)	(27.5%)	(100.0%)
市民病院	H42	市内シェア	10.1%	9.4%	4.1%	3.2%	3.5%	3.8%	4.0%	4.3%	3.9%	4.1%
		構成比率	(5.6%)	(2.5%)	(2.1%)	(4.1%)	(3.9%)	(6.3%)	(12.6%)	(17.5%)	(45.2%)	(100.0%)
	増減	推計患者数	1,028	464	384	758	722	1,152	2,316	3,212	8,274	18,310
		増減率	【△32.3%】	【△31.8%】	【△12.0%】	【△13.6%】	【△30.5%】	【11.2%】	【22.1%】	【3.2%】	【106.0%】	【25.3%】
市民病院	増減	推計患者数	△490	△216	△52	△119	△318	116	418	100	4,258	3,698

※資料20の各推計値から合計値を転記

市民病院 年齢別 推計退院患者数 年度推移

(単位:人)

年齢階層区分	0～4	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	合計
H21	1,517	680	436	877	1,040	1,036	1,897	3,112	4,016	14,612
H22	1,488	678	428	863	1,041	1,073	1,895	3,105	4,268	14,839
H23	1,453	675	422	850	1,053	1,090	1,902	3,064	4,527	15,036
H24	1,400	674	420	834	1,040	1,139	1,827	3,183	4,768	15,285
H25	1,340	671	424	817	1,023	1,183	1,753	3,318	4,989	15,518
H26	1,305	662	428	803	1,000	1,227	1,692	3,454	5,180	15,751
H27	1,272	650	433	789	974	1,269	1,656	3,517	5,422	15,981
H28	1,240	638	437	779	944	1,310	1,640	3,524	5,690	16,202
H29	1,210	624	441	768	916	1,346	1,644	3,494	5,973	16,416
H30	1,183	611	444	753	890	1,378	1,673	3,448	6,226	16,605
H31	1,158	597	445	740	869	1,398	1,717	3,384	6,474	16,783
H32	1,135	584	444	728	856	1,398	1,781	3,380	6,607	16,913
H33	1,115	570	442	719	844	1,413	1,810	3,392	6,691	16,995
H34	1,096	552	442	718	828	1,394	1,893	3,261	7,008	17,192
H35	1,081	534	440	725	811	1,371	1,967	3,134	7,332	17,393
H36	1,068	521	434	732	797	1,340	2,040	3,028	7,631	17,591
H37	1,057	509	426	741	783	1,305	2,109	2,969	7,859	17,758
H38	1,049	498	418	748	773	1,265	2,177	2,944	8,021	17,893
H39	1,042	488	410	754	762	1,228	2,235	2,955	8,138	18,012
H40	1,036	479	401	759	747	1,195	2,286	3,010	8,205	18,119
H41	1,032	471	392	760	734	1,168	2,318	3,094	8,242	18,212
H42	1,028	464	384	758	722	1,152	2,316	3,212	8,274	18,310

資料20と同算法による推計値の合計を転記。

1 地域医療支援病院 平均在院日数

	平均在院 日数※	縮減率
平成18年	14.9	
平成19年	14.9	0.00%
平成20年	14.5	2.68%
平成21年	14.3	1.38%
平均		1.35%

※平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会資料より抜粋

2 市民病院 延患者数推計

	平均在院日数	DPC退院患者数	退院 患者数		延患者数 (一般病床)	1日平均 患者数
	A	B	C	D	E	F
平成21年実績	13.0	14,612	15,086	96.86%	196,239	538
平成22年推計	12.82	14,839	15,320	96.86%	196,402	538
平成23年推計	12.65	15,036	15,524		196,379	538
平成24年推計	12.48	15,285	15,781		196,947	540
平成25年推計	12.31	15,518	16,021		197,219	540
平成26年推計	12.14	15,751	16,262		197,421	541
平成27年推計	11.98	15,981	16,499		197,658	542
平成28年推計	11.82	16,202	16,728		197,725	542
平成29年推計	11.66	16,416	16,949		197,625	541
平成30年推計	11.50	16,605	17,144		197,156	540
平成31年推計	11.34	16,783	17,327		196,488	538
平成32年推計	11.19	16,913	17,462		195,400	535
平成33年推計	11.04	16,995	17,546		193,708	531
平成34年推計	10.89	17,192	17,750		193,298	530
平成35年推計	10.74	17,393	17,957		192,858	528
平成36年推計	10.59	17,591	18,162		192,336	527
平成37年推計	10.45	17,758	18,334		191,590	525
平成38年推計	10.31	17,893	18,473		190,457	522
平成39年推計	10.17	18,012	18,596		189,121	518
平成40年推計	10.03	18,119	18,707		187,631	514
平成41年推計	9.89	18,212	18,803		185,962	509
平成42年推計	9.76	18,310	18,904		184,503	505
			B÷D	(C÷D)	A×C	E÷365日
推計方法	市民病院平成21年度を基に1による平均在院日数の縮減率(1.35%/年)により推計	平成21年度(7～3月を通年換算)市民病院DPCデータ(疾患別・年齢階層別)より、横浜市人口推計による各階層の人口増減率を乗じ推計 ※資料20より	H21年度退院患者数と左記DPCデータによる患者数の差(割合:96.86%)より、各年度の実患者数を推計		左記退院患者数と平均在院日数の推計値を乗じ推計	

資料22

救急車搬送患者数

横浜市消防局(安全管理局)記者発表資料「平成21年度中の火災・救急の概況(速報)」及び同局ホームページ火災・救急の概要より抜粋

傷病程度別搬送状況(最近10年間)

単位:人

区\年別	平成 21年	平成 20年	平成 19年	平成 18年	平成 17年	平成 16年	平成 15年	平成 14年	平成 13年	平成 12年
搬送人員	133,175	131,282	138,488	142,262	149,308	145,260	141,144	134,499	128,777	121,606
軽 症	75,131	73,393	81,911	84,270	87,657	85,077	82,716	77,676	75,380	70,870
中等症	44,562	43,826	43,132	44,577	47,247	46,106	44,426	42,871	39,250	37,309
重症等	13,482	14,063	13,445	13,415	14,404	14,077	14,002	13,952	14,147	13,427

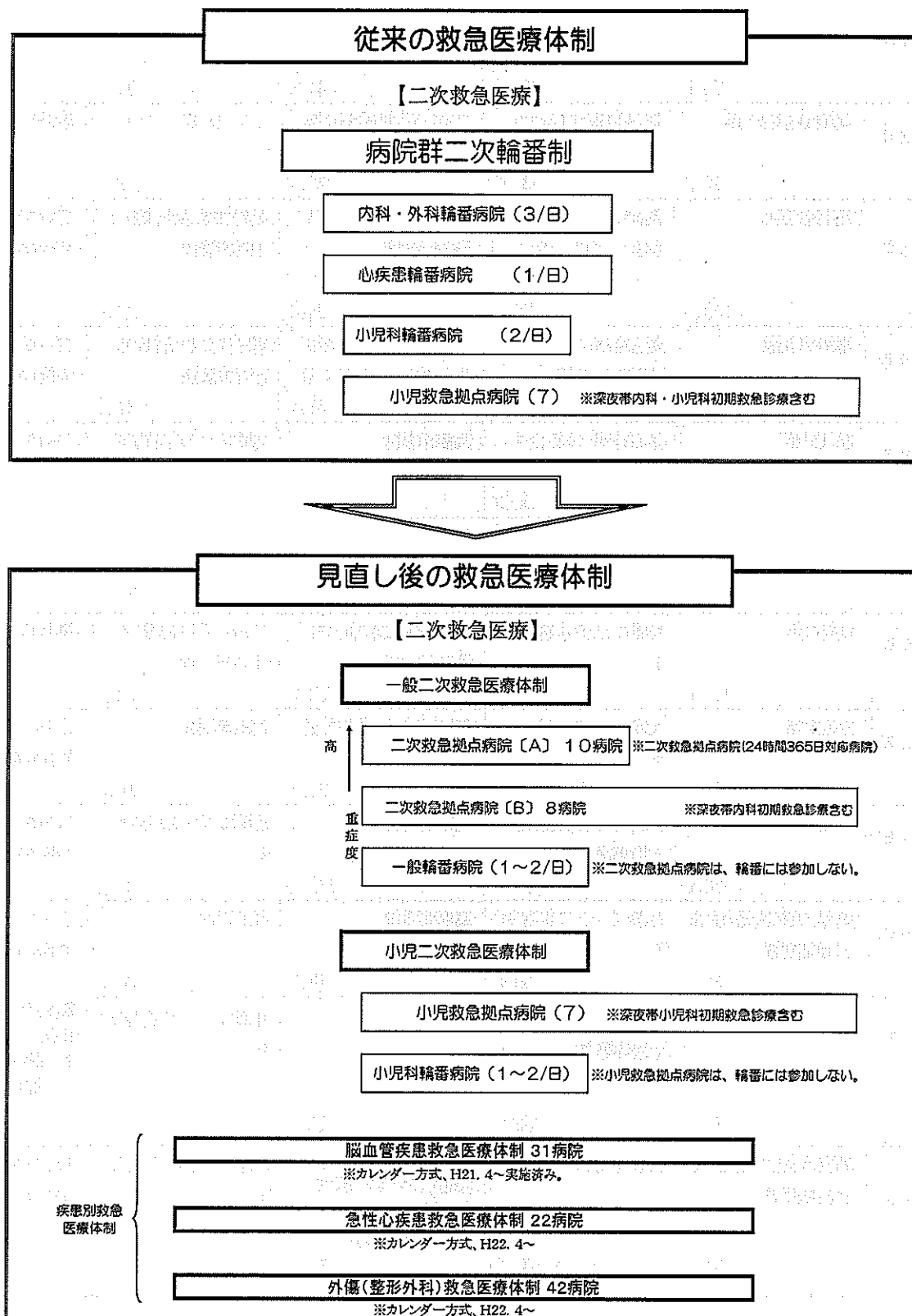
年代別搬送人数

単位:人

傷病者 年代区分	平成21年	平成20年	増減	増減率
新生・乳幼児(0歳以上7歳未満)	9,111	8,625	486	5.6%
少年(7歳以上18歳未満)	5,901	5,317	584	11.0%
成人(18歳以上65歳未満)	56,441	57,185	△744	-1.3%
高齢者(65歳以上)	61,722	60,155	1,567	2.6%
総計	133,175	131,282	1,893	1.4%

【資料】

二次救急医療体制の見直し図



市政への要望（上位5位の経年変化）

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
10 年	高齢者福祉対策 36.8	環境保全対策 24.6	地震などの災害対策 18.3	病院や救急医療対策 17.2	ごみの収集、リサイクル 16.2
11 年	高齢者福祉対策 50.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 36.3	ごみの収集、リサイクル 34.8	地震などの災害対策 33.8	病院や救急医療対策 31.5
12 年	高齢者福祉対策 42.8	違法駐車防止や交通安全対策 34.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.1	ごみの収集、リサイクル 29.9	環境汚染や騒音対策 28.4
13 年	高齢者福祉 33.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 25.8	違法駐車防止や交通安全対策 23.8	病院や救急医療など地域医療 22.1	ごみの不法投棄対策や街の美化 21.9
14 年	高齢者福祉 28.8	違法駐車防止や交通安全対策 25.4	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 23.2	病院や救急医療など地域医療 21.2	ごみの不法投棄対策や街の美化 20.3
15 年	防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16 年	防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17 年	防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18 年	防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19 年	防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20 年	病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21 年	高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など） 25.9
22 年	病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など） 25.8	地震などの災害対策 25.4	防犯対策 / ごみの不法投棄対策や街の美化 25.2

横浜市健康福祉局記者発表資料より抜粋

横浜市 分娩取扱施設の状況

	分娩取扱 施設数	産科病床 数	分娩件数	1施設あ たりの分 娩件数	市民病院 分娩件数	市民病 院市内 シェア	横浜市出 生数	市外出生 数見込	率
	A	B	C	$D = B \div A$	E	$F = E \div C$	G	$H = G - C$	$I = H \div G$
22年度 見込み	58	1,137	28,992	499.9	900	3.10%			
21年度 実績	60	1,154	28,096	468.3	838	2.98%			
20年度 実績	63	1,163	27,921	443.2	850	3.04%	32,250	4,329	13%
19年度 実績	61	1,185	27,896	457.3	847	3.04%	32,477	4,581	14%
18年度 実績	56	1,105	26,525	473.7	835	3.15%	32,571	6,046	19%
17年度 実績	61	1,158	25,792	422.8	828	3.21%	31,142	5,350	17%

分娩取扱施設数等：横浜市健康福祉局調査結果（H22.6.8及びH20.6.6記者発表資料）

横浜市：第88回横浜市統計書 第11表出生の福祉保健センター別状況

横浜市 出生時の体重別出生児数

	出生数	うち低体重児（2,500g未満）		15～49歳 女性人口	15～49歳 女性人口： 出生数比	15～49歳 女性人口： 出生数（低 体重児）比
	(A)	(B)	率	(C)	(D) = (A) / (C)	(E) = (B) / (C)
H17	31,142	2,968	9.5%	834,102	3.734%	0.356%
H18	32,571	3,179	9.8%	835,278	3.899%	0.381%
H19	32,477	3,189	9.8%	836,903	3.881%	0.381%
H20	32,250	3,218	10.0%	838,299	3.847%	0.384%

H42見込	21,122	2,108	10.0%	697,604	3.028%	0.302%
-------	--------	-------	-------	---------	--------	--------

試算条件：女性人口（横浜市人口推計より）

出生数（人口推計0～4歳/5）

うち低体重児（女性人口×H20低体重出生時比）

母の年齢階級別出生児数

（単位：人）

	～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45歳以上
H17	1.0% 306	7.9% 2,451	27.6% 8,607	42.5% 13,242	18.6% 5,790	2.3% 717	0.1% 29
H18	0.9% 301	7.6% 2,477	26.6% 8,678	42.1% 13,705	20.3% 6,617	2.4% 776	0.1% 17
H19	0.8% 258	7.4% 2,410	25.3% 8,230	41.4% 13,445	22.2% 7,206	2.8% 911	0.1% 17
H20	0.8% 255	7.4% 2,390	25.1% 8,103	40.0% 12,903	23.3% 7,521	3.2% 1,048	0.1% 30

横浜市：第88回横浜市統計書 第11表出生の福祉保健センター別状況

横浜市 周産期救急医療体制

救急体制	医療圏	病院名	MFICU	NICU	GCU等 ※1
三次	市内全域	神奈川県立こども医療センター	6	21	
		公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	6	9	12
		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		9	
		小計	12	39	12
二次	北部	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院		6	8
		独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院		9	8
		昭和大学藤が丘病院			
		昭和大学横浜市北部病院		9	14
	西部	財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院			
		横浜国立大学市民病院		3	
		独立行政法人国立病院機構横浜医療センター		6	
		国際親善総合病院			
	南部	横浜市立みなと赤十字病院			
		恩賜財団済生会 横浜市南部病院			
		国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院			
		公立大学法人横浜市立大学附属病院		※2 6	
	小計			39	30
合計		12	78	42	

関東広域圏厚生局神奈川事務所にて確認

※1 GCUは閲覧資料に病床数の記載なく確認できないため、ホームページ等により調査した

※2 3床増床予定

横浜市NICU必要数: 84床(市の目標は83~99床)

= 28,096人(H21横浜市内出生数) × 30床/1万人

横浜市NICU不足数: 3床(目標に対して2~18床)

= 84床(横浜市内必要数) - 78 + 3床(既存病床数)

第 6 章 応急医療と保健衛生

震災時には、家具類の転倒や備品の落下、窓ガラスの飛散、火災などにより多数の負傷者が発生する。

市民の生命と身体を守るかなめである医療救護の応需体制を迅速に確立し、被災者の救護に万全を期する。さらに、衛生環境の悪化等による各種感染症や食中毒の発生、拡大の未然防止を図るため、防疫・保健衛生等の応急措置が重要となる。

第 1 節 応急医療

1 医療救護の応需体制

(1) 地域医療救護拠点

区本部長は、震度 5 弱以上の地震が発生したときは、地域医療救護拠点の開設準備のため、医療救護隊の区本部職員を派遣し、施設の安全性を確認した後、速やかに負傷者の受入れに必要な措置を講じる。

地域医療救護拠点における医療活動の主な内容は、トリアージ、創傷、打撲、骨折、熱傷等の外科的負傷者のうち軽・中傷者に対する応急手当（地域防災拠点で対応可能な処置を除く。）とし、重傷者等で、さらに医療の必要な者は、救急車、自主防災組織、搬送ボランティア等を活用し医療機関に搬送する。

また、震災に伴い処方薬の喪失やかかりつけ医が被災し慢性疾患薬の入手が困難な患者にも対応する。

なお、区本部長は、被災状況等から必要と認める時は、地域医療救護拠点以外でも区役所、消防署、休日急患診療所、その他区本部長が特に必要と認めた場所のうちから安全な場所を選定し、仮設救護所を設置する。

また、設置状況や患者の発生状況等健康福祉部と情報の共有化に努める。

(2) 災害医療拠点病院（注）

災害医療拠点病院では、地域医療救護拠点や他の医療機関で対応できない重傷患者の受入れのほか、次の役割を担う。

ア 被災地外へ転送する傷病者や長期的入院が必要な患者等の判別

イ ヘリコプターや船舶による広域搬送拠点

ウ 被災地区への医療救護班の派遣

医療救護班の輸送については、原則、各医療機関が保有する車両を活用することとするが、健康福祉部部長は医療機関からの要請により安全管理部部長及び交通部部長と調整し、輸送手段を確保する。

エ 臨時的な負傷者収容の拡大

健康福祉局

（注）災害医療拠点病院とは、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための施設として、地震などの災害時に 24 時間対応が可能な救急医療体制を確保し、一定の災害医療支援機能を有する病院で、県知事が指定する施設をいう。

市内の災害医療拠点病院とヘリコプター搬送拠点の状況

	病 院	ヘリコプター搬送拠点の状況	
		名 称	病院からの直線距離
横浜北	昭和大学藤が丘病院	県立市ヶ尾高等学校	1.3km
	横浜労災病院	日産フィールド小机	0.8km
	昭和大学横浜市北部病院	都田公園	2.1km
	恩賜財団済生会横浜市東部病院	東芝総合グランドサッカー場	2.5km
横浜西	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	県立瀬谷高等学校	0.3km
	けいゆう病院	みなとみらいヘリポート	0.6km
	横浜市民市民病院	三ツ沢公園陸上競技場	0.3km
	国立病院機構横浜医療センター	消防訓練センター	1.5km
横浜南	横浜市立大学附属市民総合医療センター	屋上ヘリポート	病院屋上
		清水ヶ丘公園	2.2km

	病 院	ヘリコプター搬送拠点の状況	
		名 称	病院からの直線距離
横浜南	横浜市立みなと赤十字病院	屋上ヘリポート	病院屋上
		本牧D突堤グランド	2.3km
	済生会横浜市南部病院	日野中央公園	1.3km
	横浜南共済病院	日産追浜工場グランド	1.6km
	横浜市立大学附属病院	横浜ヘリポート	0.5km

災害医療拠点病院と船舶搬送拠点の状況

	病 院	船舶搬送拠点の状況	
		名 称	病院からの直線距離
横浜西	けいゆう病院	ぶかり栈橋	0.6km
横浜南	横浜市立みなと赤十字病院	病院附属船着き場	病院敷地内
	横浜市立大学附属病院	八景島栈橋	0.8km

(3) その他の医療機関

被災を免れたすべての医療機関は被災状況を確認し、診療の可否・入院患者の受け入れの可否及び受け入れ可能人数等について、区本部からの情報提供要請に対応する。入院患者の安全の確保のほか地域医療救護拠点で対応できない負傷者に対応する。

(4) 傷病者搬送体制の確保

ア 地域医療救護拠点や仮設救護所等で対応できない傷病者について、区本部長は区内の受け入れ可能な医療機関に収容することとし、区内の収容能力を超える場合は健康福祉部部長との調整により区外への搬送を行う。

イ 被害の少ない区の区本部長は、区外からの受け入れ可能人数等を健康福祉部に連絡し、区外からの傷病者受け入れに関する医療機関との調整を行う。

ウ 健康福祉部部長は、被害の甚大な区本部長から区外への患者搬送についての照会を受けた場合は、被害の少ない区の区本部へ患者受け入れの調整を行う。

エ 搬送手段について区本部長は、患者の状態および搬送人数等を考慮し、救急車や区保有車両及び必要に応じて交通部車両を活用する。

オ 医療機関が被災した場合や災害医療拠点病院等での重症患者等の受け入れ病床を確保するため、緊急の治療を要さない入院患者を被災地域外の医療機関に搬送する必要がある場合、区本部長は健康福祉部部長と調整し、受け入れ医療機関を確保する。この場合の搬送手段として、区本部長は交通部車両の活用や港湾部船舶の活用（臨海部に位置する医療機関に限る。）を検討する。

カ 区本部長は、地域医療救護拠点等で把握した人工透析・在宅酸素療法・在宅IVH等継続的な医療処置が生命の維持に不可欠な慢性疾患患者について、必要に応じて患者への安定した医療処置提供のため、被災地外の医療機関に搬送する。

健康福祉部部長は、県医療救護本部又は協定他都市等と調整し、受け入れ医療機関を確保する。

区本部長は、患者の病状に応じ、救急車、区保有車両、交通部車両及び臨海部に位置する災害医療拠点病院まで搬送可能な場合は、港湾部船舶等、輸送手段を確保する。

主要部位別、性別、年齢別階層別罹患率(対人口10万)(神奈川県)-2005年-

	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
男										
全部位	454.0	9.4	7.2	7.5	5.8	9.8	19.1	24.0	42.9	793.5
口腔・咽頭	11.0	0.5		0.5		0.3	1.5	1.5	0.3	3.9
食道	22.5								0.5	0.9
胃	81.2					0.3	1.2	1.5	5.2	9.7
結腸	48.9					0.3	0.3	1.7	7.3	8.2
直腸	26.8						0.6	2.0	2.4	11.2
大腸	75.7					0.3	0.9	3.7	9.7	19.4
肝臓	32.9						0.3	0.2	1.8	4.6
胆嚢・胆管	10.2						0.3			0.9
脾臓	17.6			0.5					1.0	2.1
喉頭	4.3								0.5	0.6
肺	66.0						0.9	0.7	3.9	6.1
皮膚	4.0						0.6	0.7	1.0	1.2
前立腺	54.1									0.6
膀胱	18.4							1.0	0.5	2.4
腎・その他尿路	12.6					0.3	0.3	0.7	1.8	3.3
脳・中枢神経系	3.4	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	0.9	0.5	2.4	2.1
甲状腺	2.5					0.3	0.9	0.5	1.6	3.6
悪性リンパ腫	11.7	0.5	1.0	0.5	1.8	1.0	0.3	2.2	3.7	6.1
多発性骨髄腫	2.8					0.3				
白血病	7.3	3.9	4.3	2.5	1.3	2.0	4.2	1.7	2.1	1.5
女										
全部位	308.3	10.3	3.0	4.8	5.4	13.2	23.3	48.7	84.1	149.9
口腔・咽頭	4.1					0.4	1.7	0.3	0.3	1.7
食道	3.2									
胃	37.1						2.0	3.7	6.7	8.9
結腸	37.8					0.4	0.7	1.3	4.7	12.3
直腸	14.4						0.3	0.8	2.9	5.1
大腸	52.2					0.4	1.0	2.1	7.6	17.5
肝臓	16.3								0.9	0.3
胆嚢・胆管	9.5								0.6	0.3
脾臓	14.0					0.8	0.7	0.3	0.3	0.7
喉頭	0.3									
肺	30.5						0.7	1.3	1.5	3.1
皮膚	3.6						0.7	0.5	1.2	0.3
乳房	57.5					1.2	4.3	13.9	29.7	71.9
子宮	21.9						2.3	10.4	16.9	25.0
子宮頸部	9.5						1.3	7.8	12.2	16.1
子宮体部	10.9						0.7	2.7	4.1	8.2
卵巣	11.3			1.6	1.5	2.3	2.3	3.7	5.2	8.9
膀胱	5.1							0.5		0.3
腎・その他尿路	5.9	0.5						0.5	0.9	0.3
脳・中枢神経系	3.2	1.6			0.5	0.8	1.3	0.8	0.9	0.7
甲状腺	5.9				1.0	2.7	1.3	3.2	4.4	4.4
悪性リンパ腫	8.8					0.8	0.7	2.1	2.6	2.4
多発性骨髄腫	2.4								0.6	0.3
白血病	4.5	5.7	3.0	2.1	1.5	2.3	2.7	2.1	1.2	1.0

出典:全国がん罹患モニタリング集計 2005年罹患数・率報告(平成22年3月)(独立行政法人
国立がん研究所センターがん対策情報センター)

主要部位別、性別、年齢別階層別罹患率(対人口10万)(神奈川県)-2005年-

	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～
男									
全部位	152.7	306.2	532.8	908.1	1397.0	2013.7	2618.5	2844.1	3037.2
口腔・咽頭	7.4	10.1	20.4	28.7	30.0	44.6	47.3	41.2	32.5
食道	6.7	17.7	37.0	68.6	86.6	80.2	112.7	91.5	67.3
胃	23.7	58.5	98.1	159.2	260.3	357.8	487.9	521.3	545.7
結腸	18.9	34.1	57.6	107.5	148.2	201.7	279.8	295.7	362.2
直腸	14.8	26.8	41.9	67.9	84.6	107.2	101.7	128.0	120.7
大腸	33.7	603.9	99.6	175.4	232.8	309.0	381.5	423.7	483.0
肝臓	7.8	25.7	41.6	70.3	115.0	161.9	170.3	190.5	150.9
胆嚢・胆管	1.5	4.9	8.7	16.6	32.4	39.3	76.5	68.6	132.4
膵臓	7.0	13.9	23.3	35.5	53.4	80.7	89.9	111.3	132.4
喉頭	1.1	1.4	7.0	10.5	15.6	21.8	22.1	16.8	16.3
肺	18.5	35.8	70.5	118.3	177.8	282.4	476.9	515.2	559.6
皮膚	1.5	2.4	4.9	6.4	10.3	15.4	19.7	27.4	46.4
前立腺	2.2	9.0	30.6	86.5	197.9	345.6	383.1	358.2	359.9
膀胱	6.7	11.1	16.6	31.8	50.9	84.9	110.4	167.7	162.5
腎・その他尿路	6.7	15.0	19.5	25.0	39.4	53.6	59.9	54.9	58.1
脳・中枢神経系	1.5	2.4	4.1	6.4	10.7	9.0	11.8	6.1	20.9
甲状腺	1.5	3.8	4.4	4.7	4.9	6.9	7.9	6.1	9.3
悪性リンパ腫	9.6	11.1	14.8	20.6	26.3	41.4	53.6	80.8	78.9
多発性骨髄腫	1.1	1.7	4.9	5.4	5.3	15.9	10.2	18.3	30.2
白血病	3.7	5.9	8.4	12.2	18.1	20.2	30.7	47.2	34.8
女									
全部位	267.0	336.5	399.6	524.1	615.0	848.0	1071.2	1243.7	1459.3
口腔・咽頭	2.8	3.2	4.9	5.0	9.3	9.7	21.3	18.7	21.2
食道	0.8	2.9	3.2	7.9	6.9	7.8	14.9	17.8	19.3
胃	17.2	28.3	35.3	49.5	87.2	113.0	157.8	201.8	233.3
結腸	18.0	25.5	46.0	70.7	78.7	114.5	155.3	192.5	209.2
直腸	9.2	17.2	19.7	29.7	33.9	44.1	52.4	49.5	56.9
大腸	27.2	42.7	65.7	10.4	112.7	158.6	207.6	242.0	266.0
肝臓	2.0	5.7	10.1	24.1	36.3	79.6	94.4	81.3	84.8
胆嚢・胆管	2.0	2.9	4.3	9.2	17.0	23.3	47.2	65.4	114.7
膵臓	2.0	5.7	13.0	23.8	27.9	49.0	60.8	78.5	109.9
喉頭			0.3	0.3	1.2	0.5	2.6	0.9	1.9
肺	9.2	22.2	31.2	52.8	63.4	103.3	133.3	168.2	189.9
皮膚	2.4	2.5	2.3	5.0	8.9	6.3	18.8	19.6	25.1
乳房	118.5	120.5	108.8	114.6	98.1	99.9	96.4	94.4	61.7
子宮	233.2	43.0	41.7	43.9	33.1	35.4	40.1	30.8	42.4
子宮頸部	14.4	15.8	14.2	13.9	13.7	17.5	14.9	14.0	13.5
子宮体部	17.2	26.9	26.6	28.4	16.2	15.5	20.7	14.0	8.7
卵巣	17.6	18.3	22.6	19.2	22.6	20.9	18.1	25.2	28.9
膀胱	1.6	2.2	2.3	8.9	9.3	20.4	19.4	25.2	48.2
腎・その他尿路	3.2	4.7	9.5	11.9	12.9	25.7	14.2	21.5	27.0
脳・中枢神経系	2.0	3.9	4.3	4.0	6.5	9.2	9.7	15.0	11.6
甲状腺	7.3	8.6	9.0	9.9	10.9	10.7	11.0	17.8	13.5
悪性リンパ腫	6.4	6.8	11.9	14.2	22.2	25.2	31.7	35.5	38.6
多発性骨髄腫	1.2	0.4	3.5	2.0	5.7	10.7	9.7	15.0	11.6
白血病	3.6	5.0	5.8	5.6	7.3	8.2	11.6	15.0	14.5

横浜市 がん罹患数 推計

(単位:人)

	H22			H42			増減			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	率
全部位	10,635	5,918	16,552	14,805	8,882	23,687	4,171	2,965	7,135	43%
口腔・咽頭	222	80	302	288	124	413	66	44	110	36%
食道	458	63	521	606	103	709	148	41	189	36%
胃	1,703	721	2,424	2,524	1,185	3,709	822	464	1,285	53%
結腸	1,023	733	1,756	1,528	1,165	2,693	505	432	937	53%
直腸	546	277	823	746	399	1,145	200	122	322	39%
大腸	2,171	890	3,061	2,989	1,437	4,426	818	547	1,365	45%
肝臓	685	325	1,010	955	504	1,459	270	179	449	44%
胆嚢・胆管	217	181	398	369	380	750	153	199	352	88%
膵臓	367	270	637	553	477	1,030	186	207	393	62%
喉頭	88	6	94	118	9	127	30	4	33	35%
肺	1,410	592	2,002	2,208	979	3,187	798	386	1,184	59%
皮膚	82	70	152	136	118	254	53	48	102	67%
前立腺	1,165		1,165	1,712		1,712	547	0	547	47%
乳房		1,088	1,088		1,274	1,274	0	186	186	17%
子宮		657	657		742	742	0	85	85	13%
子宮頸部		181	181		205	205	0	24	24	14%
子宮体部		201	201		239	239	0	37	37	18%
卵巣		211	211		274	274	0	63	63	30%
膀胱	395	97	492	628	180	808	233	83	316	64%
腎・その他尿路	256	111	368	351	166	517	95	55	150	41%
脳・中枢神経系	67	61	128	88	88	176	21	27	47	37%
甲状腺	49	110	159	61	108	169	12	-2	10	6%
悪性リンパ腫	243	169	412	355	161	517	112	-7	105	25%
多発性骨髄腫	57	47	104	93	44	137	36	-3	33	32%
白血病	148	84	231	202	82	285	55	-1	53	23%

※推計方法

H22: Σ H22 年齢別人口(横浜市将来推計人口より)×腫瘍部位別、性別年齢階層別罹患率(神奈川県)2005年(独立行政法人国立がん研究所センターがん対策情報センター資料より)

H42: Σ H42 年齢別人口(横浜市将来推計人口より)×腫瘍部位別、性別年齢階層別罹患率(神奈川県)2005年(独立行政法人国立がん研究所センターがん対策情報センター資料より)

外来化学療法室実績 件数

	H22 上半期	H21年度	H20年度	H20 診療科名
血液腫瘍内科	39	49	43	内科
感染症内科	3	6		
腫瘍内科	4	354	308	腫瘍内科
呼吸器内科	141	132	47	呼吸器科
消化器内科	154	238	173	消化器科
消化器外科	949	1,642	2,364	外科
炎症性腸疾患科	41	36		
乳腺外科	447	1,097		
呼吸器外科	0	7		
泌尿器科	192	332	239	泌尿器科
産婦人科	127	257	183	産婦人科
耳鼻咽喉科	5	1		
合計	2,099	4,150	3,357	

回転率

曜日	回転率
月	0.82
火	1.21
水	2.02
木	1.17
金	0.80
計	1.20

※1日予約件数/15床
(1件あたり30分～数時間となっており、1床
で1日に数件実施する場合もある)

横浜市 がん検診のご案内

各区福祉保健センター実施 医療機関実施 市民病院がん検診センター 他のがん健診(胃・子宮・乳・大腸)

肺がん検診(医療機関実施)のご案内

モデル事業として、一部の区の医療機関で肺がん検診を実施しています。

市内で、年間約8,000人が、がんにより死亡しています。このうち肺がんによる死亡者数は最も多く、約18%を占めています。

がんに打ち勝つためには、早期発見が重要です。市では、市民病院と各区福祉保健センター(区役所)で肺がん検診を行っていますが、今後は、身近な地域の病院・診療所でも実施できる体制づくりを検討しています。

そこで、平成20年10月からモデル事業として、神奈川区、港北区、西区、保土ヶ谷区の一部医療機関で肺がん検診を実施していましたが、平成22年10月より実施区を拡大し、青葉区、旭区、神奈川区、金沢区、港北区、都筑区、鶴見区、戸塚区、西区、保土ヶ谷区、緑区、南区の一部医療機関で肺がん検診を実施します。

なお、お住まいの区以外の医療機関でも受診できます。

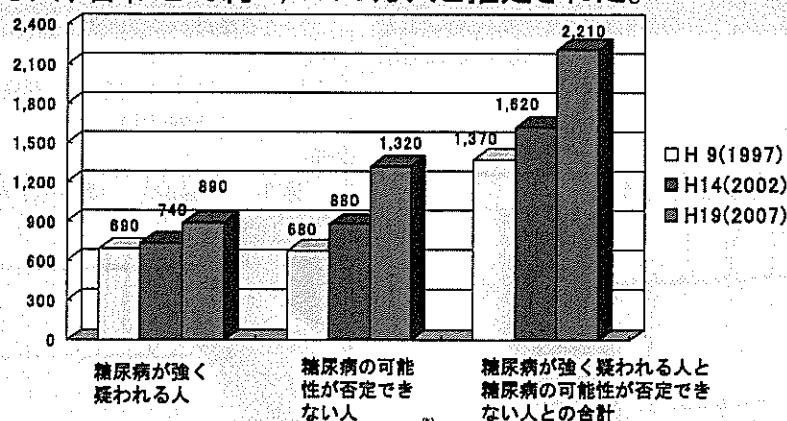
また、本事業ではより効果的な検診を目指し、専門家のご意見を踏まえて、喫煙者対象の喀痰検査(痰に含まれるがん細胞の有無を調べる検査)に代えて禁煙指導に取り組み、その効果を検証します。喀痰検査を希望される方は、各区福祉保健センター(区役所)、市民病院がん検診センターで行っている肺がん検診をご受診ください。

平成19年国民健康・栄養調査結果の概要について (説明資料)

平成20年12月25日
健康局総務課生活習慣病対策室

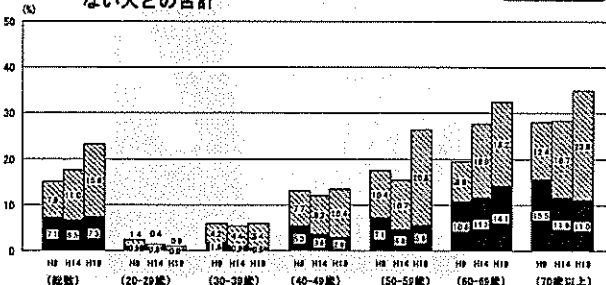
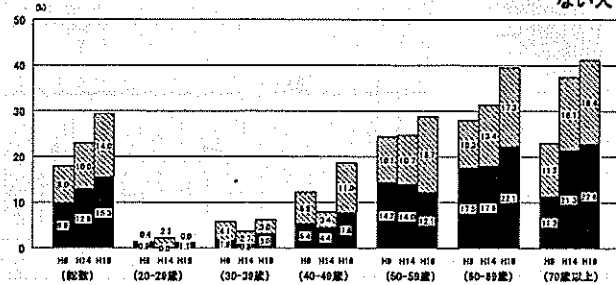
糖尿病の状況

糖尿病が強く疑われる人は約890万人。糖尿病の可能性が否定できない人は約1,320万人、合わせて約2,210万人と推定された。



男性

女性



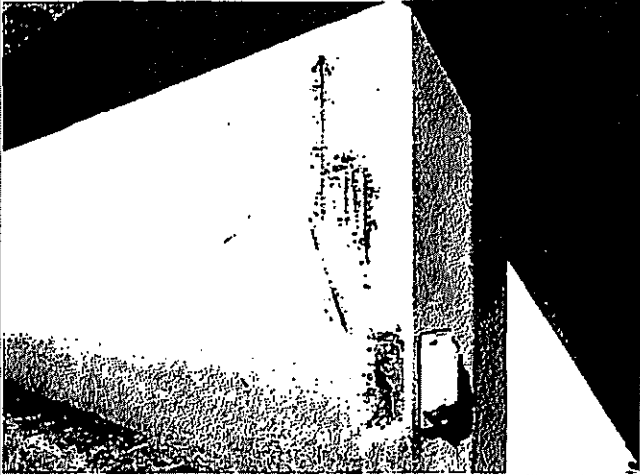
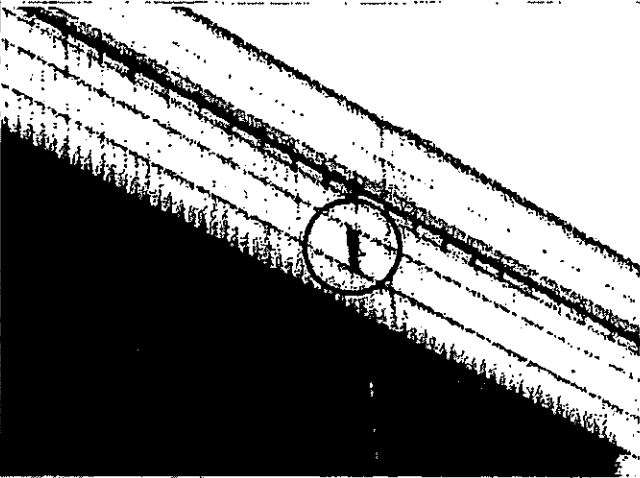
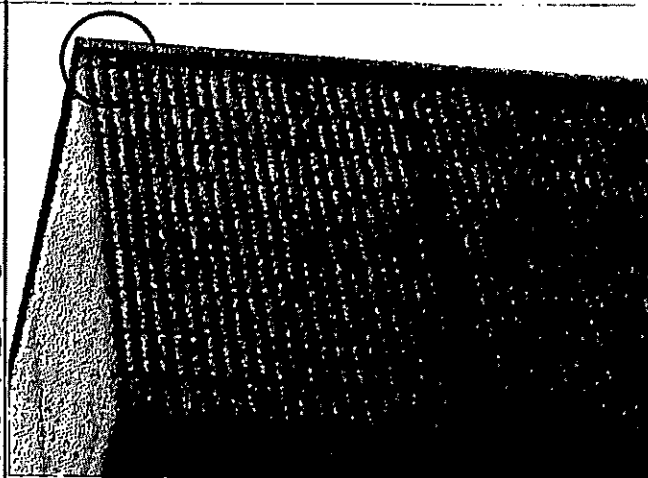
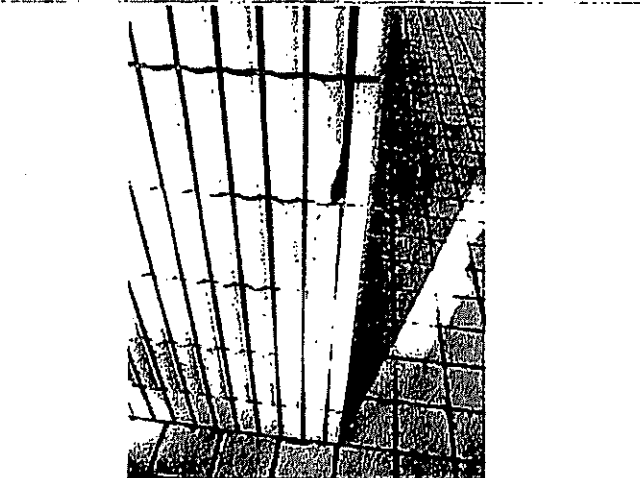
■ 糖尿病が強く疑われる人 □ 糖尿病の可能性が否定できない人

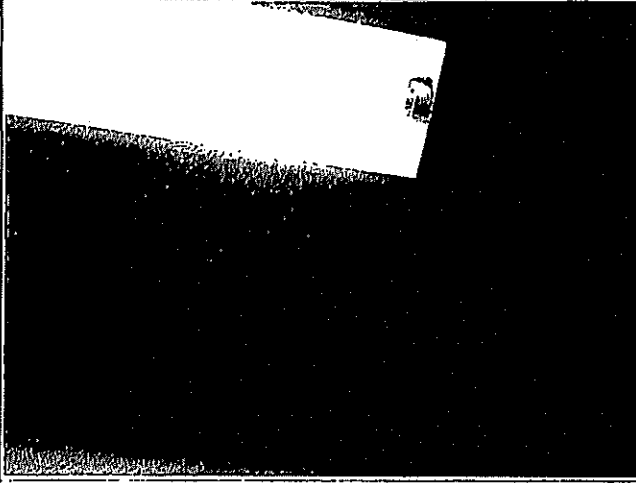
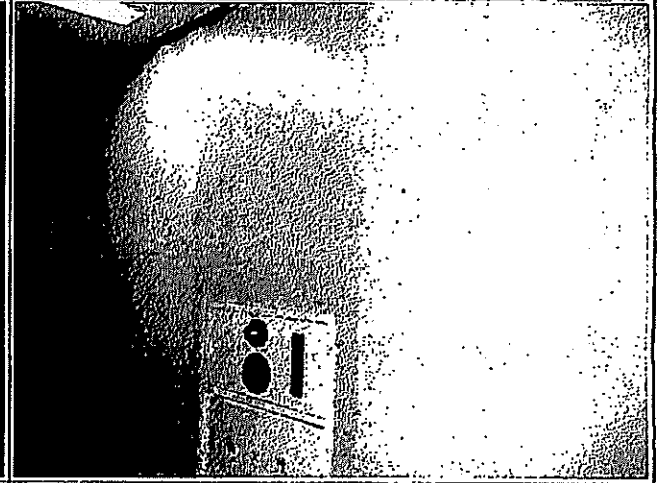
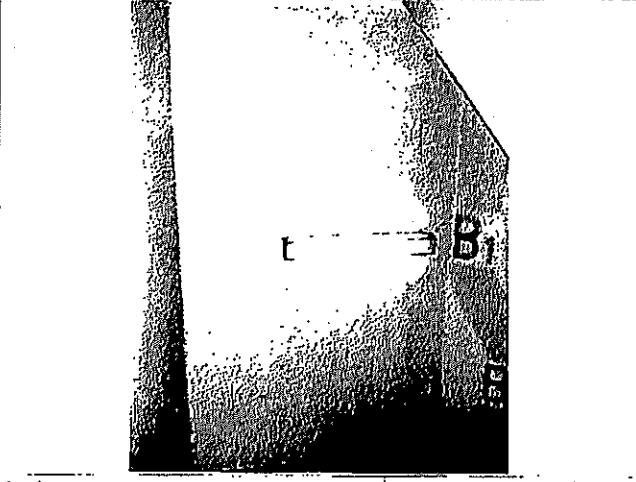
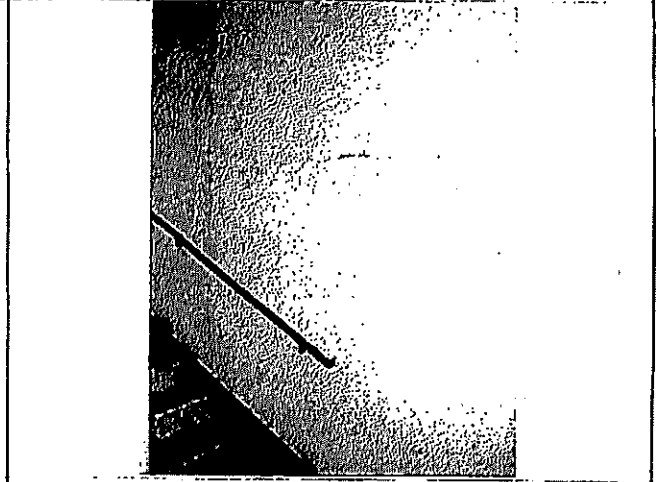
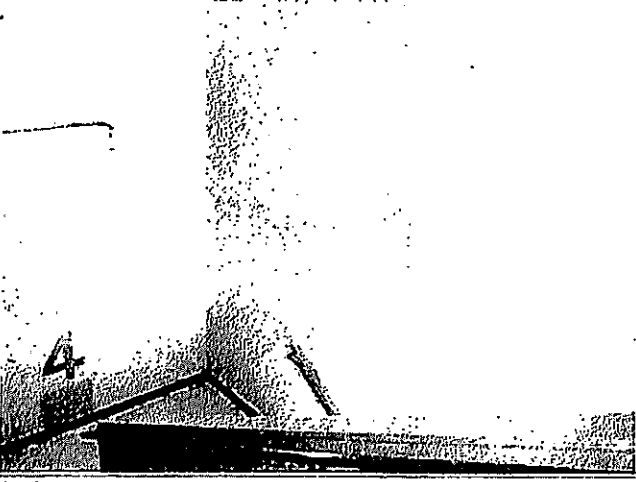
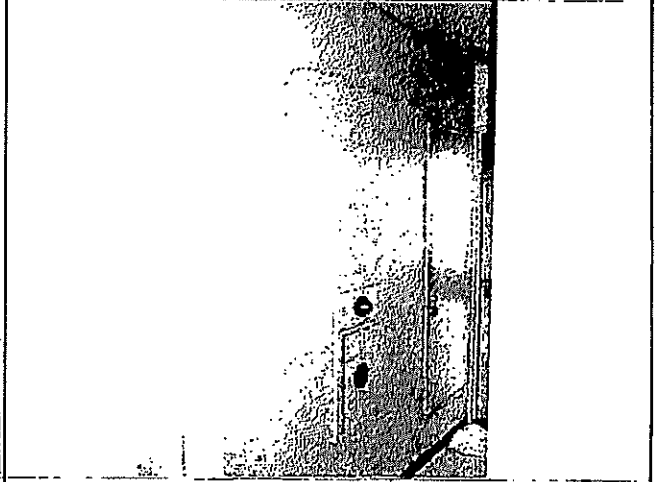
▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼(糖尿病実態調査(H9,H14)と同様の基準)

- ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

写真集(南病棟)ー1

B. 外壁関係

南 1 (場所) 塔屋2階 階段室外壁  判定 A H21.11.4撮影 (状況) コンクリート剥落、鉄筋露出。 130	南 2 (場所) 8階上部 ペラベット下外壁(X1-Y4)  判定 A H21.11.4撮影 (状況) タイルひび割れ、一部浮き落下の危険性あり。 外壁汚れ。 142
南 3 (場所) 8階上部 西側外壁  判定 A H21.11.10撮影 (状況) タイル剥落、 外壁汚れ、 665	南 4 (場所) 2階上部 東南角外壁  判定 A H21.11.5撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 外壁汚れ。 266
南 5 (場所) 1階 南東角外壁  判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 400	南 6 (場所) 1階 東南角外壁  判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 399

西 79 (場所) 3階 廊下天井(洗面・洗髪コーナー) 	西 80 (場所) 地下1階 廊下壁 
判定 D H21.11.12撮影 (状況) 漏水跡あり, —	判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ, 450
西 81 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階) 	西 82 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階) 
判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ, 456	判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ, 457
西 83 (場所) 階段室(西側) 壁(4～5階) 	西 84 (場所) 階段室(西側) 前室壁(5階) 
判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ, 388	判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ, 365

資料35

全国自治体病院 1床あたり施設延面積(一般病床500床以上)

団体名	病院名	病床数						病院施設延面積				1床あたり面積 (㎡)
		ア. 一般病床	イ. 療養病床	ウ. 結核病床	エ. 精神病床	オ. 感染症病床	カ. 計	ア. 鉄骨鉄筋又はコンクリート造(㎡ ²)	イ. 耐火構造(㎡ ²)	ウ. 木造(㎡ ²)	エ. 計	
合計							28,727				2,254,194	78.5
愛知県	がんセンター中央病院	500	-	-	-	-	500	71,722	214	-	71,936	143.9
静岡県	静岡がんセンター	557	-	-	-	-	557	76,360	-	15	76,375	137.1
滋賀県	成人病センター	541	-	-	-	-	541	72,016	-	-	72,016	133.1
横浜市	みなと赤十字病院	584	-	-	50	-	634	74,148	-	-	74,148	117.0
広島市	広島市民病院	715	-	-	28	-	743	76,478	-	-	76,478	102.9
広島県	県立広島病院	671	-	-	50	-	721	67,723	456	-	68,179	94.6
山形県	中央病院	658	-	-	-	2	660	62,358	-	-	62,358	94.5
岐阜県	岐阜県総合医療センター	590	-	-	-	-	590	52,044	554	-	52,598	89.1
東京都	墨東病院	726	-	-	36	10	772	62,804	5,251	-	68,055	88.2
静岡県	総合病院	620	-	100	-	-	720	62,125	-	-	62,125	86.3
東京都	大塚病院	508	-	-	-	-	508	43,650	3	-	43,653	85.9
大分県	県立病院	514	-	-	-	6	520	44,575	-	-	44,575	85.7
大阪市	総合医療センター	975	-	-	55	33	1,063	89,148	-	-	89,148	83.9
山梨県	中央病院	669	-	20	-	2	691	57,759	-	-	57,759	83.6
仙台市	市立病院	501	-	-	16	8	525	42,918	-	-	42,918	81.7
神戸市	中央市民病院	902	-	-	-	10	912	72,306	-	-	72,306	79.3
青森県	中央病院	689	-	16	-	-	705	55,768	-	-	55,768	79.1
新潟市	新潟市民病院	652	-	-	-	8	660	50,958	-	-	50,958	77.2
島根県	中央病院	633	-	-	40	6	679	52,000	-	-	52,000	76.6
石川県	中央病院	662	-	-	-	-	662	49,031	1,158	5	50,194	75.8
福井県	県立病院	668	-	10	400	4	1,082	80,405	-	-	80,405	74.3
岩手県	中央病院	685	-	-	-	-	685	50,421	-	-	50,421	73.6
東京都	府中病院	737	-	48	36	-	821	52,849	6,112	-	58,961	71.8
富山県	中央病院	710	-	20	80	-	810	57,789	-	-	57,789	71.3
香川県	中央病院	626	-	5	-	-	631	44,720	-	-	44,720	70.9
札幌市	札幌病院	810	-	-	-	8	818	57,867	-	-	57,867	70.7
京都市	市立病院	566	-	12	-	8	586	40,257	-	-	40,257	68.7
静岡市	静岡市立静岡病院	500	-	-	-	6	506	34,383	-	-	34,383	68.0
川崎市	川崎病院	683	-	-	38	12	733	49,800	-	-	49,800	67.9
浜松市	県西部浜松医療センター	600	-	-	-	6	606	41,014	-	-	41,014	67.7
新潟県	中央病院	524	-	-	-	10	534	282	35,791	-	36,073	67.6
宮崎県	宮崎病院	613	-	-	11	6	630	42,053	-	-	42,053	66.8
静岡市	静岡市立清水病院	500	-	-	-	-	500	33,143	-	-	33,143	66.3
横浜市	市民病院	624	-	-	-	26	650	42,124	-	-	42,124	64.8
東京都	駒込病院	896	-	-	-	10	906	57,439	48	-	57,487	63.5
沖縄県	中部病院	546	-	-	-	4	550	34,511	-	-	34,511	62.7
新潟県	がんセンター	500	-	-	-	-	500	397	30,265	-	30,662	61.3
岐阜県	多治見病院	542	-	13	120	6	681	41,714	-	-	41,714	61.3
広島市	安佐市民病院	527	-	-	-	-	527	31,523	-	-	31,523	59.8
北九州市	医療センター	620	-	-	-	16	636	36,967	449	-	37,416	58.8
愛媛県	中央病院	825	-	36	-	3	864	48,272	-	-	48,272	55.9
佐賀県	県立病院好生館	535	-	-	-	6	541	29,831	-	-	29,831	55.1
さいたま市	市立病院	537	-	20	-	10	567	30,221	-	-	30,221	53.3

出典:平成20年度地方公営企業年鑑より抜粋

横浜市中核病院等 1床あたり施設面積

建設年度	病院名	病床数						延床面積(㎡)				1床あたり面積(㎡)
計							4,700				416,614	88.6
1991	市民病院						650				43,248	66.5
2005	みなと赤十字病院						654				74,148	113.4
1983	恩賜財団済生会 横浜市南部病院						500				28,706	57.4
1987	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院						518				38,445	74.2
1991	横浜市北東部中核施設 横浜労災病院						650				65,045	100.1
2001	昭和大学 横浜市北部病院						662				83,300	126.0
2007	恩賜財団済生会 横浜市東部病院						556				48,800	87.8
2010	独立行政法人 国立病院 機構 横浜医療センター						510				34,922	68.5

※市民病院については、H21の緩和ケア病棟工事により延べ床面積が増加している。

病院建設費の比較

病院名	開設者	開設時期等	手法	病床数	延床面積 (㎡)	建設費(千円)		備考	
						1床あたり	1㎡あたり		
新中央市民病院	神戸市	H19.8契約	PFI	700	64,000	27,200,000	38,857	425	「新中央市民病院の整備について(平成21年4月)」より
京都市立病院	京都市	H22.1契約	DBO (PFI)	282	21,233	10,753,743	38,134	506	「京都市立病院整備運営事業の概要」より ※新館建築のみ
がんセンター	神奈川県	H21.12契約	PFI	415	46,949	18,712,453	45,090	399	「神奈川県立がんセンター特定事業 特定事業契約書」より 病院施設等の取得に関する費用(除く支払利息) ①設計業務・建設 ②医療機器・備品等調達
長崎市民病院	長崎市	H22.8基本協定締結	PFI	500	37,888	16,419,783	32,840	433	「長崎市新市立病院整備運営事業に係る落札者決定について」より
氷見市民病院	氷見市 指定管理者:金沢医科大学	H22.3契約予定	一般競争入札	250	21,453	4,546,500	18,186	212	北日本新聞記事より
豊川市民病院	豊川市	H21.3基本構想	基本設計 プロポーザル	554	44,000	18,300,000	33,032	416	「病院基本構想」より
市立奈良病院	奈良市	H21実施設計	基本設計 プロポーザル 総合評価落札方式	350	28,648	10,130,000	28,943	354	基本設計及びホームページ記事(産経ニュース)より
計				3,051	264,171	106,062,479	34,763	401	

公立病院平均	238施設	99～08供用開始病院		207	16,181			404	総務省 実態調査結果
--------	-------	-------------	--	-----	--------	--	--	-----	------------

各ホームページ公表資料より

みなと赤十字病院		H17開設		654	74,148	38,330,621	58,610	517	
横浜市東部病院		H19開設		556	48,800	17,600,000	31,655	361	

市民病院再整備 収支試算
(建設単価30万円/m²)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収	1. 医 業 収 益 a	0	0	0	14,749,594	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益				14,249,587	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益				9,466,275	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】				399	570	570	570	570
	【診療単価】				65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益				4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益				398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	が ん 検 診 収 益				278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	0	115,000	115,000	1,164,547	1,339,901	1,337,505	1,231,743	1,228,828
入	(1) 一 般 会 計 負 担 金		115,000	115,000	124,700	300,054	297,658	191,896	188,981
	(2) 一 般 会 計 補 助 金				730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金				76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他				233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	0	115,000	115,000	15,914,141	20,146,470	20,144,074	20,038,312	20,035,397
	1. 医 業 費 用 b	0	0	0	18,395,253	19,466,009	19,477,093	19,496,093	19,523,009
	(1) 給 与 費 c				10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費				3,690,643	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費				2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費				1,155,590	1,155,590	1,166,673	1,185,673	1,212,590
出	うち建物減価償却				838,923	838,923	842,090	845,256	848,423
	うち器械備品減価償却				316,667	316,667	324,583	340,417	364,167
	(5) 資 産 減 耗 費					20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他				44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	0	230,000	391,000	691,277	690,085	685,294	473,769	467,940
	(1) 支 払 利 息	0	230,000	391,000	601,300	600,108	595,317	383,792	377,963
	(2) 繰 延 勘 定 償 却				0	0	0	0	0
	(3) そ の 他				89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	0	230,000	391,000	19,086,530	20,156,094	20,162,386	19,969,862	19,990,949
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 276,000	▲ 3,172,389	▲ 9,624	▲ 18,312	68,450	44,448
	特 別 損 失								
	累積欠損金		▲ 115,000	▲ 391,000	▲ 3,563,389	▲ 3,573,013	▲ 3,591,325	▲ 3,522,875	▲ 3,478,426

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
支	1. 企 業 債	1,000,000	7,000,000	10,300,000		0	50,000	100,000	150,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金				0	246,383	248,779	266,193	373,951
	3. 国 (県) 補 助 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,000,000	7,000,000	10,300,000	0	246,383	298,779	366,193	523,951
	1. 建 設 改 良 費	1,000,000	7,000,000	10,300,000	0	100,000	150,000	200,000	250,000
	施設整備工事費		7,000,000	8,300,000		50,000	50,000	50,000	50,000
	土地購入費	1,000,000							
	固定資産購入費			2,000,000		50,000	100,000	150,000	200,000
	2. 企 業 債 償 還 金				0	492,766	497,558	532,386	747,902
出	3. 長 期 貸 付 金				12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,000,000	7,000,000	10,300,000	12,000	604,766	659,558	744,386	1,009,902
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	485,951
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	485,951
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	計 (D)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	485,951
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 276,000	▲ 3,172,389	▲ 9,624	▲ 18,312	68,450	44,448
	累 積 欠 損 金 (G)	0	▲ 115,000	▲ 391,000	▲ 3,563,389	▲ 3,573,013	▲ 3,591,325	▲ 3,522,875	▲ 3,478,426
	単 年 度 資 金 留 保 額	0	▲ 115,000	▲ 276,000	▲ 2,028,799	807,582	807,582	895,930	791,087
	累 積 留 保 資 金 額	0	▲ 115,000	▲ 391,000	▲ 2,419,799	▲ 1,612,217	▲ 804,634	91,296	882,383
	年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	1,000,000	8,000,000	18,300,000	18,300,000	17,807,234	17,359,676	16,927,290	16,329,388

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収益の収入		115,000	115,000	1,355,174	1,530,528	1,528,132	1,422,370	1,419,455
医 業 収 益				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益		115,000	115,000	855,167	1,030,521	1,028,125	922,363	919,448
資 本 的 収 入				0	246,383	248,779	266,193	373,951
合 計	0	115,000	115,000	1,355,174	1,776,911	1,776,911	1,688,563	1,793,406

市民病院再整備 収支試算
(建設単価30万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
収	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
	【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	がん検診収益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一般会計負担金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,224,225	1,219,468	1,214,822	1,209,797	1,204,391	1,198,601	1,192,424	1,186,087
入	(1) 一般会計負担金	184,378	179,621	174,975	169,950	164,544	158,754	152,577	146,250
	(2) 一般会計補助金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国(県)補助金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) その他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	20,030,794	20,026,037	20,021,391	20,016,366	20,010,960	20,005,170	19,998,993	19,992,666
支	1. 医 業 費 用 b	19,557,843	19,283,926	19,334,593	19,377,343	19,412,176	19,439,093	19,461,259	19,483,426
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減価償却費	1,247,423	973,506	1,024,173	1,066,923	1,101,756	1,128,673	1,150,840	1,173,006
	うち建物減価償却	851,590	854,756	857,923	861,090	864,256	867,423	873,756	880,090
	うち器械備品減価償却	395,833	118,750	166,250	205,833	237,500	261,250	277,083	292,917
	(5) 資産減耗費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) その他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	458,732	449,219	439,926	429,877	419,066	407,486	395,130	382,478
出	(1) 支払利息	368,755	359,242	349,949	339,900	329,089	317,509	305,153	292,501
	(2) 繰延勘定償却	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) その他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	20,016,575	19,733,145	19,774,519	19,807,220	19,831,242	19,846,578	19,856,390	19,865,904
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	14,219	292,892	246,872	209,146	179,719	158,592	142,603	126,763
	特 別 損 失								
	累積欠損金	▲ 3,464,208	▲ 3,171,316	▲ 2,924,444	▲ 2,715,298	▲ 2,535,579	▲ 2,376,987	▲ 2,234,384	▲ 2,107,622

2. 収支計画(資本的収支)

区分	年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
収	1. 企 業 債	200,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	300,000	350,000
	2. 一般会計出資金	247,556	253,282	284,141	315,136	346,269	377,544	408,964	415,533
	3. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	447,556	503,282	534,141	565,136	596,269	627,544	708,964	765,533
支	1. 建 設 改 良 費	300,000	350,000	350,000	350,000	350,000	400,000	450,000	500,000
	施設整備工事費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000
	土地購入費								
	固定資産購入費	250,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	350,000	400,000
	2. 企業債償還金	495,111	506,564	568,282	630,271	692,538	755,088	817,928	831,066
	3. 長期貸付金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (b)	807,111	868,564	930,282	992,271	1,054,538	1,167,088	1,279,928	1,343,066
	差引不足額(B)-(A) (C)	359,556	365,282	396,141	427,136	458,269	539,544	570,964	577,533
	1. 損益勘定留保資金	359,556	365,282	396,141	427,136	458,269	539,544	570,964	577,533
	2. 利益剰余金処分数	0	0	0	0	0	0	0	0
補てん財源	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	359,556	365,282	396,141	427,136	458,269	539,544	570,964	577,533
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	14,219	292,892	246,872	209,146	179,719	158,592	142,603	126,763
	累 積 欠 損 金 (G)	▲ 3,464,208	▲ 3,171,316	▲ 2,924,444	▲ 2,715,298	▲ 2,535,579	▲ 2,376,987	▲ 2,234,384	▲ 2,107,622
	単年度資金留保額	922,086	921,116	894,904	868,934	843,206	767,721	742,479	742,236
	累積留保資金額	1,804,469	2,725,585	3,620,489	4,489,422	5,332,628	6,100,349	6,842,828	7,585,064
	年度末企業債未償還残高	16,034,277	15,777,712	15,459,430	15,079,158	14,636,620	14,131,532	13,613,604	13,132,538

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
収益的収入	1,414,852	1,410,095	1,405,449	1,400,424	1,395,018	1,389,228	1,383,051	1,376,724
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	914,845	910,088	905,442	900,417	895,011	889,221	883,044	876,717
資 本 的 収 入	247,556	253,282	284,141	315,136	346,269	377,544	408,964	415,533
合 計	1,662,407	1,663,377	1,689,590	1,715,560	1,741,287	1,766,772	1,792,015	1,792,257

市民病院再整備 収支試算
(建設単価30万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収入	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
	【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	がん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,179,862	1,173,713	1,167,648	1,161,662	1,155,268	1,148,461	1,141,237	1,133,592
	(1) 一 般 会 計 負 担 金	140,015	133,866	127,801	121,815	115,421	108,614	101,390	93,745
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
経 常 収 益 (A)		19,986,431	19,980,282	19,974,217	19,968,231	19,961,837	19,955,030	19,947,806	19,940,161
支出	1. 医 業 費 用 b	19,505,593	19,535,676	19,573,676	19,087,593	19,130,343	19,165,176	19,192,093	19,211,093
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	1,195,173	1,225,256	1,263,256	777,173	819,923	854,756	881,673	900,673
	うち建物減価償却	886,423	892,756	899,090	373,423	376,590	379,756	382,923	386,090
	うち器械備品減価償却	308,750	332,500	364,167	403,750	443,333	475,000	498,750	514,583
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	370,007	357,709	345,579	333,608	320,819	307,204	292,756	277,466
	(1) 支 払 利 息	280,030	267,732	255,602	243,631	230,842	217,227	202,779	187,489
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	19,875,599	19,893,385	19,919,255	19,421,201	19,451,162	19,472,380	19,484,849	19,488,559
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		110,832	86,897	54,962	547,031	510,675	482,649	462,957	451,602
特 別 損 失									
累積欠損金		▲ 1,996,790	▲ 1,909,893	▲ 1,854,931	▲ 1,307,900	▲ 797,225	▲ 314,575	148,381	599,983

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
支出	1. 企 業 収 益	400,000	450,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	422,254	429,130	436,165	468,363	500,727	533,262	565,971	598,859
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	822,254	879,130	936,165	968,363	1,000,727	1,033,262	1,065,971	1,098,859
	1. 建 設 改 良 費	550,000	600,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	土地購入費								
	固定資産購入費	450,000	500,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	844,507	858,260	872,330	936,726	1,001,455	1,066,524	1,131,943	1,197,717
	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,406,507	1,470,260	1,534,330	1,598,726	1,663,455	1,728,524	1,793,943	1,859,717
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	584,254	591,130	598,165	630,363	662,727	695,262	727,971	760,859
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	584,254	591,130	598,165	630,363	662,727	695,262	727,971	760,859
補てん財源	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	584,254	591,130	598,165	630,363	662,727	695,262	727,971	760,859
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		110,832	86,897	54,962	547,031	510,675	482,649	462,957	451,602
累 積 欠 損 金 (G)		▲ 1,996,790	▲ 1,909,893	▲ 1,854,931	▲ 1,307,900	▲ 797,225	▲ 314,575	148,381	599,983
単 年 度 資 金 留 保 額		741,751	741,024	740,054	713,841	687,871	662,144	636,659	611,416
累 積 留 保 資 金 額		8,326,815	9,067,839	9,807,892	10,521,733	11,209,604	11,871,748	12,508,407	13,119,823
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高		12,688,031	12,279,771	11,907,441	11,470,716	10,969,261	10,402,737	9,770,794	9,073,077

3. 一般会計等からの繰入金の見直し

	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収益的収入	1,370,489	1,364,340	1,358,275	1,352,289	1,345,895	1,339,088	1,331,864	1,324,219
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	870,482	864,333	858,268	852,282	845,888	839,081	831,857	824,212
資 本 的 収 入	422,254	429,130	436,165	468,363	500,727	533,262	565,971	598,859
合 計	1,792,742	1,793,470	1,794,440	1,820,652	1,846,622	1,872,350	1,897,835	1,923,077

市民病院再整備 収支試算
(建設単価30万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益的収支)

区分	年度	X+21年度	X+22年度	X+23年度
収	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【 一 日 平 均 患 者 数 】	570	570	570
	【 診 療 単 価 】	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350
	が ん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,125,522	1,117,265	1,108,818
入	(1) 一 般 会 計 負 担 金	85,675	77,418	68,971
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372
	結 常 収 益 (A)	19,932,091	19,923,834	19,915,387
支	1. 医 業 費 用 b	19,222,176	19,225,343	19,228,509
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	911,756	914,923	918,090
	うち建物減価償却	389,256	392,423	395,590
	うち器械備品減価償却	522,500	522,500	522,500
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	261,327	244,813	227,918
出	(1) 支 払 利 息	171,350	154,836	137,941
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977
	結 常 費 用 (B)	19,483,503	19,470,156	19,456,428
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	448,588	453,678	458,959
	特 別 損 失			
	累積欠損金	1,048,571	1,502,250	1,961,209

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X+21年度	X+22年度	X+23年度
入	1. 企 業 債	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	606,929	615,185	623,633
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,106,929	1,115,185	1,123,633
支	1. 建 設 改 良 費	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000
	土 地 購 入 費			
	固 定 資 産 購 入 費	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	1,213,857	1,230,370	1,247,265
出	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,875,857	1,892,370	1,909,265
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	768,929	777,185	785,633
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	768,929	777,185	785,633
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	計 (D)	768,929	777,185	785,633
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	448,588	453,678	458,959
	累 積 欠 損 金 (G)	1,048,571	1,502,250	1,961,209
	単 年 度 資 金 留 保 額	611,416	611,416	611,416
	累 積 留 保 資 金 額	13,731,239	14,342,655	14,954,071
	年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	8,359,219	7,628,849	6,881,584

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+21年度	X+22年度	X+23年度
収益的収入	1,316,149	1,307,892	1,299,445
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	816,142	807,885	799,438
資 本 的 収 入	606,929	615,185	623,633
合 計	1,923,077	1,923,077	1,923,077

市民病院再整備 収支試算
(建設単価40万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	0	0	0	14,749,594	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益				14,249,587	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益				9,466,275	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】				399	570	570	570	570
	【診療単価】				65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益				4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益				398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	がん 検 診 収 益				278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	0	115,000	115,000	1,164,547	1,398,551	1,396,155	1,290,393	1,287,231
支 出	(1) 一 般 会 計 負 担 金		115,000	115,000	124,700	358,704	356,308	250,546	247,384
	(2) 一 般 会 計 補 助 金				730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金				76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他				233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	0	115,000	115,000	15,914,141	20,205,120	20,202,724	20,096,962	20,093,800
	1. 医 業 費 用 b	0	0	0	18,395,253	19,466,009	19,477,093	19,496,093	19,523,009
	(1) 給 与 費 c				10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費				3,690,643	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費				2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費				1,155,590	1,155,590	1,166,673	1,185,673	1,212,590
出	うち建物減価償却				838,923	838,923	842,090	845,256	848,423
	うち器械備品減価償却				316,667	316,667	324,583	340,417	364,167
	(5) 資 産 減 耗 費					20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他				44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	0	230,000	460,000	808,577	807,385	802,594	591,069	584,746
	(1) 支 払 利 息	0	230,000	460,000	718,600	717,408	712,617	501,092	494,769
	(2) 繰 延 勘 定 償 却				0	0	0	0	0
	(3) そ の 他				89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	0	230,000	460,000	19,203,830	20,273,394	20,279,686	20,087,162	20,107,755
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 345,000	▲ 3,289,689	▲ 68,274	▲ 76,962	9,800	▲ 13,955
特 別 損 失									
累積欠損金			▲ 115,000	▲ 460,000	▲ 3,749,689	▲ 3,817,963	▲ 3,894,925	▲ 3,885,125	▲ 3,899,079

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
支 出	1. 企 業 債	1,000,000	10,000,000	12,400,000		0	50,000	100,000	150,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金				0	246,383	248,779	266,193	418,937
	3. 国 (県) 補 助 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,000,000	10,000,000	12,400,000	0	246,383	298,779	366,193	568,937
	1. 建 設 改 良 費	1,000,000	10,000,000	12,400,000	0	100,000	150,000	200,000	250,000
	施設整備工事費		10,000,000	10,400,000		50,000	50,000	50,000	50,000
	土地購入費	1,000,000							
	固定資産購入費			2,000,000		50,000	100,000	150,000	200,000
	2. 企 業 債 償 還 金				0	492,766	497,558	532,386	837,874
補 て ん 財 源	3. 長 期 貸 付 金				12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,000,000	10,000,000	12,400,000	12,000	604,766	659,558	744,386	1,099,874
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	530,937
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	530,937
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	計 (D)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	530,937
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 345,000	▲ 3,289,689	▲ 68,274	▲ 76,962	9,800	▲ 13,955
	累 積 欠 損 金 (G)	0	▲ 115,000	▲ 460,000	▲ 3,749,689	▲ 3,817,963	▲ 3,894,925	▲ 3,885,125	▲ 3,899,079
	単 年 度 資 金 留 保 額	0	▲ 115,000	▲ 345,000	▲ 2,146,099	748,932	748,932	837,280	687,698
	累 積 留 保 資 金 額	0	▲ 115,000	▲ 460,000	▲ 2,606,099	▲ 1,857,167	▲ 1,108,234	▲ 270,954	416,744
	年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	1,000,000	11,000,000	23,400,000	23,400,000	22,907,234	22,459,676	22,027,290	21,339,416

経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 345,000	▲ 3,289,689	▲ 68,274	▲ 76,962	9,800	▲ 13,955
累 積 欠 損 金 (G)	0	▲ 115,000	▲ 460,000	▲ 3,749,689	▲ 3,817,963	▲ 3,894,925	▲ 3,885,125	▲ 3,899,079
単 年 度 資 金 留 保 額	0	▲ 115,000	▲ 345,000	▲ 2,146,099	748,932	748,932	837,280	687,698
累 積 留 保 資 金 額	0	▲ 115,000	▲ 460,000	▲ 2,606,099	▲ 1,857,167	▲ 1,108,234	▲ 270,954	416,744
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	1,000,000	11,000,000	23,400,000	23,400,000	22,907,234	22,459,676	22,027,290	21,339,416

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収益的収入		115,000	115,000	1,355,174	1,589,178	1,586,782	1,481,020	1,477,858
医 業 収 益				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益		115,000	115,000	855,167	1,089,171	1,086,775	981,013	977,851
資 本 的 収 入				0	246,383	248,779	266,193	418,937
合 計	0	115,000	115,000	1,355,174	1,835,561	1,835,561	1,747,213	1,896,795

市民病院再整備 収支試算
(建設単価40万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
区分								
1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
がん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
2. 医 業 外 収 益	1,281,397	1,274,847	1,268,366	1,261,464	1,254,138	1,246,383	1,238,195	1,229,812
(1) 一 般 会 計 負 担 金	241,550	235,000	228,519	221,617	214,291	206,536	198,348	189,965
(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
経 常 収 益 (A)	20,087,966	20,081,416	20,074,935	20,068,033	20,060,707	20,052,952	20,044,764	20,036,381
1. 医 業 費 用 b	19,557,843	19,283,926	19,334,593	19,377,343	19,412,176	19,439,093	19,461,259	19,483,426
(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
(4) 減 価 償 却 費	1,247,423	973,506	1,024,173	1,066,923	1,101,756	1,128,673	1,150,840	1,173,006
うち建物減価償却	851,590	854,756	857,923	861,090	864,256	867,423	873,756	880,090
うち器械備品減価償却	395,833	118,750	166,250	205,833	237,500	261,250	277,083	292,917
(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
2. 医 業 外 費 用	573,077	559,977	547,015	533,212	518,559	503,050	486,673	469,907
(1) 支 払 利 息	483,100	470,000	457,038	443,235	428,582	413,073	396,696	379,930
(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
経 常 費 用 (B)	20,130,919	19,843,903	19,881,608	19,910,554	19,930,735	19,942,142	19,947,933	19,953,333
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 42,953	237,513	193,327	157,479	129,972	110,810	96,832	83,048
特 別 損 失								
累積欠損金	▲ 3,942,033	▲ 3,704,520	▲ 3,511,192	▲ 3,353,713	▲ 3,223,742	▲ 3,112,931	▲ 3,016,100	▲ 2,933,052

2. 収支計画 (資本的収支)

年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
区分								
1. 企 業 債	200,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	300,000	350,000
2. 一 般 会 計 出 資 金	325,073	332,593	365,286	398,158	431,212	464,452	497,882	506,508
3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
収 入 計 (a)	525,073	582,593	615,286	648,158	681,212	714,452	797,882	856,508
1. 建 設 改 良 費	300,000	350,000	350,000	350,000	350,000	400,000	450,000	500,000
施設整備工事費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000
土 地 購 入 費								
固 定 資 産 購 入 費	250,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	350,000	400,000
2. 企 業 債 償 還 金	650,146	665,186	730,573	796,316	862,423	928,903	995,765	1,013,016
3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
支 出 計 (b)	962,146	1,027,186	1,092,573	1,158,316	1,224,423	1,340,903	1,457,765	1,525,016
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	437,073	444,593	477,286	510,158	543,212	626,452	659,882	668,508
1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	437,073	444,593	477,286	510,158	543,212	626,452	659,882	668,508
2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	437,073	444,593	477,286	510,158	543,212	626,452	659,882	668,508
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 42,953	237,513	193,327	157,479	129,972	110,810	96,832	83,048
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 3,942,033	▲ 3,704,520	▲ 3,511,192	▲ 3,353,713	▲ 3,223,742	▲ 3,112,931	▲ 3,016,100	▲ 2,933,052
単 年 度 資 金 留 保 額	787,397	786,427	760,214	734,244	708,517	633,032	607,789	607,547
累 積 留 保 資 金 額	1,204,140	1,990,567	2,750,781	3,485,025	4,193,542	4,826,573	5,434,362	6,041,909
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	20,889,269	20,474,084	19,993,511	19,447,195	18,834,771	18,155,868	17,460,103	16,797,068

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
収益的収入	1,472,024	1,465,474	1,458,993	1,452,091	1,444,765	1,437,010	1,428,822	1,420,439
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	972,017	965,467	958,986	952,084	944,758	937,003	928,815	920,432
資 本 的 収 入	325,073	332,593	365,286	398,158	431,212	464,452	497,882	506,508
合 計	1,797,097	1,798,067	1,824,279	1,850,249	1,875,977	1,901,462	1,926,704	1,926,947

市民病院再整備 収支試算
(建設単価40万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
	【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	がん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,221,472	1,213,170	1,204,902	1,196,663	1,187,962	1,178,795	1,169,157	1,159,043
	(1) 一 般 会 計 負 担 金	181,625	173,323	165,055	156,816	148,115	138,948	129,310	119,196
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	20,028,041	20,019,739	20,011,471	20,003,232	19,994,531	19,985,364	19,975,726	19,965,612
支 出	1. 医 業 費 用 b	19,505,593	19,535,676	19,573,676	19,087,593	19,130,343	19,165,176	19,192,093	19,211,093
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	1,195,173	1,225,256	1,263,256	777,173	819,923	854,756	881,673	900,673
	うち建物減価償却	886,423	892,756	899,090	373,423	376,590	379,756	382,923	386,090
	うち器械備品減価償却	308,750	332,500	364,167	403,750	443,333	475,000	498,750	514,583
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	453,227	436,623	420,087	403,608	386,207	367,874	348,598	328,368
	(1) 支 払 利 息	363,250	346,646	330,110	313,631	296,230	277,897	258,621	238,391
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	19,958,819	19,972,299	19,993,763	19,491,201	19,516,550	19,533,050	19,540,690	19,539,461
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	69,221	47,440	17,708	512,031	477,981	452,315	435,036	426,151
	特 別 損 失								
	累 積 欠 損 金	▲ 2,863,831	▲ 2,816,391	▲ 2,798,683	▲ 2,286,652	▲ 1,808,671	▲ 1,356,356	▲ 921,320	▲ 495,169

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
支 出	1. 企 業 債 償 還 金	400,000	450,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	515,333	524,362	533,600	568,052	602,723	637,617	672,740	708,097
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	915,333	974,362	1,033,600	1,068,052	1,102,723	1,137,617	1,172,740	1,208,097
	1. 建 設 改 良 費	550,000	600,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	土地購入費								
	固定資産購入費	450,000	500,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	1,030,666	1,048,725	1,067,201	1,136,105	1,205,446	1,275,234	1,345,480	1,416,195
	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,592,666	1,660,725	1,729,201	1,798,105	1,867,446	1,937,234	2,007,480	2,078,195
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	677,333	686,362	695,600	730,052	764,723	799,617	834,740	870,097
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	677,333	686,362	695,600	730,052	764,723	799,617	834,740	870,097
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 費 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	677,333	686,362	695,600	730,052	764,723	799,617	834,740	870,097
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		69,221	47,440	17,708	512,031	477,981	452,315	435,036	426,151
累 積 欠 損 金 (G)		▲ 2,863,831	▲ 2,816,391	▲ 2,798,683	▲ 2,286,652	▲ 1,808,671	▲ 1,356,356	▲ 921,320	▲ 495,169
単 年 度 資 金 留 保 額		607,062	606,334	605,364	579,152	553,182	527,454	501,969	476,727
累 積 留 保 資 金 額		6,648,970	7,255,304	7,860,668	8,439,820	8,993,001	9,520,455	10,022,424	10,499,151
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高		16,166,422	15,567,697	15,000,496	14,364,392	13,658,946	12,883,712	12,038,232	11,122,038

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収益的収入	1,412,099	1,403,797	1,395,529	1,387,290	1,378,589	1,369,422	1,359,784	1,349,670
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	912,092	903,790	895,522	887,283	878,582	869,415	859,777	849,663
資 本 的 収 入	515,333	524,362	533,600	568,052	602,723	637,617	672,740	708,097
合 計	1,927,432	1,928,159	1,929,129	1,955,342	1,981,312	2,007,039	2,032,524	2,057,767

市民病院再整備 収支試算
(建設単価40万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益的収支)

年度		X+21年度	X+22年度	X+23年度
区分				
収	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,589	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【 一 日 平 均 患 者 数 】	570	570	570
	【 診 療 単 価 】	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350
	が ん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,148,446	1,137,604	1,126,511
入	(1) 一 般 会 計 負 担 金	108,599	97,757	86,664
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	19,955,015	19,944,173	19,933,080
支	1. 医 業 費 用 b	19,222,176	19,225,343	19,228,509
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	911,756	914,923	918,090
	うち建物減価償却	389,256	392,423	395,590
	うち器械備品減価償却	522,500	522,500	522,500
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	307,175	285,491	263,305
	(1) 支 払 利 息	217,198	195,514	173,328
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	19,529,351	19,510,833	19,491,815
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	425,664	433,339	441,266
	特 別 損 失			
	累積欠損金	▲ 69,505	363,834	805,100

2. 収支計画(資本的収支)

年度		X+21年度	X+22年度	X+23年度
区分				
入	1. 企 業 収 益	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	718,694	729,536	740,629
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,218,694	1,229,536	1,240,629
支	1. 建 設 改 良 費	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000
	土 地 購 入 費			
	固 定 資 産 購 入 費	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	1,437,388	1,459,072	1,481,258
出	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	2,099,388	2,121,072	2,143,258
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	880,694	891,536	902,629
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	880,694	891,536	902,629
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	計 (D)	880,694	891,536	902,629
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		425,664	433,339	441,266
累 積 欠 損 金 (G)		▲ 69,505	363,834	805,100
単 年 度 資 金 留 保 額		476,727	476,727	476,727
累 積 留 保 資 金 額		10,975,877	11,452,604	11,929,330
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高		10,184,650	9,225,578	8,244,320

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+21年度	X+22年度	X+23年度
収益的収入	1,339,073	1,328,231	1,317,138
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	839,066	828,224	817,131
資 本 的 収 入	718,694	729,536	740,629
合 計	2,057,767	2,057,767	2,057,767

市民病院再整備 収支試算
(建設単価52万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収入	1. 医 業 収 益 a	0	0	0	14,749,594	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益				14,249,587	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益				9,466,275	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】				399	570	570	570	570
	【診療単価】				65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益				4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益				398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	がん 検 診 収 益				278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	0	115,000	115,000	1,164,547	1,468,701	1,466,305	1,360,543	1,357,124
支出	(1) 一 般 会 計 負 担 金		115,000	115,000	124,700	428,854	426,458	320,696	317,277
	(2) 一 般 会 計 補 助 金				730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金				76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他				233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	0	115,000	115,000	15,914,141	20,275,270	20,272,874	20,167,112	20,163,693
	1. 医 業 費 用 b	0	0	0	18,614,971	19,685,727	19,696,811	19,715,811	19,742,727
	(1) 給 与 費 c				10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費				3,690,643	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費				2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費				1,375,308	1,375,308	1,386,391	1,405,391	1,432,308
出	うち建物減価償却				1,058,641	1,058,641	1,061,808	1,064,974	1,068,141
	うち器械備品減価償却				316,667	316,667	324,583	340,417	364,167
	(5) 資 産 減 耗 費					20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他				44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	0	230,000	529,000	948,877	947,685	942,894	731,369	724,531
	(1) 支 払 利 息	0	230,000	529,000	858,900	857,708	852,917	641,392	634,554
	(2) 繰 延 勘 定 償 却				0	0	0	0	0
	(3) そ の 他				89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	0	230,000	529,000	19,563,848	20,633,412	20,639,704	20,447,180	20,467,258
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 414,000	▲ 3,649,707	▲ 358,142	▲ 366,830	▲ 280,068	▲ 303,565
特 別 損 失									
累積欠損金			▲ 115,000	▲ 529,000	▲ 4,178,707	▲ 4,536,849	▲ 4,903,679	▲ 5,183,746	▲ 5,487,312

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
支	1. 企 業 債 償	1,000,000	13,000,000	15,500,000		0	50,000	100,000	150,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金				0	246,383	248,779	266,193	463,923
	3. 国 (県) 補 助 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,000,000	13,000,000	15,500,000	0	246,383	298,779	366,193	613,923
	1. 建 設 改 良 費	1,000,000	13,000,000	15,500,000	0	100,000	150,000	200,000	250,000
	施設整備工事費		13,000,000	13,500,000		50,000	50,000	50,000	50,000
	土地購入費	1,000,000							
	固定資産購入費			2,000,000	50,000	100,000	150,000	200,000	200,000
	2. 企 業 債 償 還 金				0	492,766	497,558	532,386	927,847
出	3. 長 期 貸 付 金				12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	1,000,000	13,000,000	15,500,000	12,000	604,766	659,558	744,386	1,189,847
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	575,923
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	575,923
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金				0	0	0	0	0
	4. そ の 他				0	0	0	0	0
	計 (D)	0	0	0	12,000	358,383	360,779	378,193	575,923
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	▲ 115,000	▲ 414,000	▲ 3,649,707	▲ 358,142	▲ 366,830	▲ 280,068	▲ 303,565
	累 積 欠 損 金 (G)	0	▲ 115,000	▲ 529,000	▲ 4,178,707	▲ 4,536,849	▲ 4,903,679	▲ 5,183,746	▲ 5,487,312
	単 年 度 資 金 留 保 額	0	▲ 115,000	▲ 414,000	▲ 2,286,399	678,782	678,782	767,130	572,819
	累 積 留 保 資 金 額	0	▲ 115,000	▲ 529,000	▲ 2,815,399	▲ 2,136,617	▲ 1,457,834	▲ 690,704	▲ 117,885
	年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	1,000,000	14,000,000	29,500,000	29,500,000	29,007,234	28,559,676	28,127,290	27,349,443

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X-3年度 (建設年度)	X-2年度 (建設年度)	X-1年度 (建設年度)	X年度 (開設)	X+1年度	X+2年度	X+3年度	X+4年度
収益的収入		115,000	115,000	1,355,174	1,659,328	1,656,932	1,551,170	1,547,751
医 業 収 益				500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益		115,000	115,000	855,167	1,159,321	1,156,925	1,051,163	1,047,744
資本的収入				0	246,383	248,779	266,193	463,923
合 計	0	115,000	115,000	1,355,174	1,905,711	1,905,711	1,817,363	2,011,675

市民病院再整備 収支試算
(建設単価52万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
区分								
1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
がん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
2. 医 業 外 収 益	1,349,983	1,341,293	1,332,623	1,323,481	1,313,863	1,303,763	1,293,176	1,282,338
(1) 一 般 会 計 負 担 金	310,136	301,446	292,776	283,634	274,016	263,916	253,329	242,491
(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
経 常 収 益 (A)	20,156,552	20,147,862	20,139,192	20,130,050	20,120,432	20,110,332	20,099,745	20,089,907
1. 医 業 費 用 b	19,777,561	19,503,644	19,554,311	19,597,061	19,631,894	19,658,811	19,680,977	19,703,144
(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
(4) 減 価 償 却 費	1,467,141	1,193,224	1,243,891	1,286,641	1,321,474	1,348,391	1,370,558	1,392,724
うち建物減価償却	1,071,308	1,074,474	1,077,641	1,080,808	1,083,974	1,087,141	1,090,308	1,093,474
うち器械備品減価償却	395,833	118,750	166,250	205,833	237,500	261,250	277,083	292,917
(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
2. 医 業 外 費 用	710,249	692,870	675,529	657,245	638,009	617,809	596,634	574,958
(1) 支 払 利 息	620,272	602,893	585,552	567,268	548,032	527,832	506,657	484,981
(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
経 常 費 用 (B)	20,487,810	20,196,514	20,229,839	20,254,306	20,269,903	20,276,619	20,277,611	20,278,102
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 331,258	▲ 48,651	▲ 90,647	▲ 124,256	▲ 149,471	▲ 166,287	▲ 177,867	▲ 189,196
特 別 損 失								
累積欠損金	▲ 5,818,570	▲ 5,867,221	▲ 5,957,868	▲ 6,082,124	▲ 6,231,595	▲ 6,397,882	▲ 6,575,749	▲ 6,764,945

2. 収支計画 (資本的収支)

年度	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
区分								
1. 企 業 債	200,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	300,000	350,000
2. 一 般 会 計 出 資 金	417,586	427,246	462,129	497,241	532,586	568,171	604,001	615,082
3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
収 入 計 (a)	617,586	677,246	712,129	747,241	782,586	818,171	904,001	965,082
1. 建 設 改 良 費	300,000	350,000	350,000	350,000	350,000	400,000	450,000	500,000
施設整備工事費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000
土 地 購 入 費								
固 定 資 産 購 入 費	250,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	350,000	400,000
2. 企 業 債 償 還 金	835,172	854,491	924,258	994,481	1,065,173	1,136,343	1,208,002	1,230,163
3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
支 出 計 (b)	1,147,172	1,216,491	1,286,258	1,356,481	1,427,173	1,548,343	1,670,002	1,742,163
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	529,586	539,246	574,129	609,241	644,586	730,171	766,001	777,082
1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	529,586	539,246	574,129	609,241	644,586	730,171	766,001	777,082
2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	529,586	539,246	574,129	609,241	644,586	730,171	766,001	777,082
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 331,258	▲ 48,651	▲ 90,647	▲ 124,256	▲ 149,471	▲ 166,287	▲ 177,867	▲ 189,196
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 5,818,570	▲ 5,867,221	▲ 5,957,868	▲ 6,082,124	▲ 6,231,595	▲ 6,397,882	▲ 6,575,749	▲ 6,764,945
単 年 度 資 金 留 保 額	626,297	625,327	599,115	573,145	547,417	471,932	446,690	446,447
累 積 留 保 資 金 額	508,412	1,133,739	1,732,854	2,305,999	2,853,416	3,325,348	3,772,038	4,218,485
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	26,714,271	26,109,779	25,435,522	24,691,040	23,875,868	22,989,525	22,081,523	21,201,360

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+5年度	X+6年度	X+7年度	X+8年度	X+9年度	X+10年度	X+11年度	X+12年度
収益的収入	1,540,610	1,531,920	1,523,250	1,514,108	1,504,490	1,494,390	1,483,803	1,472,965
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	1,040,603	1,031,913	1,023,243	1,014,101	1,004,483	994,383	983,796	972,958
資 本 的 収 入	417,586	427,246	462,129	497,241	532,586	568,171	604,001	615,082
合 計	1,958,196	1,959,166	1,985,379	2,011,349	2,037,076	2,062,561	2,087,804	2,088,046

市民病院再整備 収支試算
(建設単価52万円/㎡)

(単位:千円)

1. 収支計画 (収益の収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収入	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】	570	570	570	570	570	570	570	570
	【診療単価】	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350	398,350
	が ん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,271,486	1,260,615	1,249,717	1,238,788	1,227,335	1,215,353	1,202,834	1,189,772
支出	(1) 一 般 会 計 負 担 金	231,639	220,768	209,870	198,941	187,488	175,506	162,987	149,925
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	20,078,055	20,067,184	20,056,286	20,045,357	20,033,904	20,021,922	20,009,403	19,996,341
	1. 医 業 費 用 b	19,725,311	19,755,394	19,793,394	19,167,977	19,210,727	19,245,561	19,272,477	19,291,477
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	1,414,891	1,444,974	1,482,974	857,558	900,308	935,141	962,058	981,058
出	うち建物減価償却	1,106,141	1,112,474	1,118,808	453,808	456,974	460,141	463,308	466,474
	うち機械備品減価償却	308,750	332,500	364,167	403,750	443,333	475,000	498,750	514,583
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	553,255	531,512	509,718	487,859	464,954	440,989	415,951	389,826
	(1) 支 払 利 息	463,278	441,535	419,741	397,882	374,977	351,012	325,974	299,849
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	20,278,566	20,286,906	20,303,112	19,655,836	19,675,681	19,666,549	19,688,428	19,681,303
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 200,511	▲ 219,722	▲ 246,825	389,521	358,223	335,372	320,975	315,037
特 別 損 失									
累積欠損金		▲ 6,965,455	▲ 7,185,178	▲ 7,432,003	▲ 7,042,482	▲ 6,684,259	▲ 6,348,886	▲ 6,027,911	▲ 5,712,874

2. 収支計画 (資本的収支)

区分	年度	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収入	1. 企 業 債	400,000	450,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	626,418	638,017	649,884	687,026	724,449	762,159	800,163	838,468
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,026,418	1,088,017	1,149,884	1,187,026	1,224,449	1,262,159	1,300,163	1,338,468
支出	1. 建 設 改 良 費	550,000	600,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	土地購入費								
	固定資産購入費	450,000	500,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	1,252,836	1,276,034	1,299,769	1,374,052	1,448,898	1,524,318	1,600,326	1,676,935
	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (b)	1,814,836	1,888,034	1,961,769	2,036,052	2,110,898	2,186,318	2,262,326	2,338,935
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	788,418	800,017	811,884	849,026	886,449	924,159	962,163	1,000,468
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	788,418	800,017	811,884	849,026	886,449	924,159	962,163	1,000,468
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
補てん財源	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	788,418	800,017	811,884	849,026	886,449	924,159	962,163	1,000,468
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		▲ 200,511	▲ 219,722	▲ 246,825	389,521	358,223	335,372	320,975	315,037
累 積 欠 損 金 (G)		▲ 6,965,455	▲ 7,185,178	▲ 7,432,003	▲ 7,042,482	▲ 6,684,259	▲ 6,348,886	▲ 6,027,911	▲ 5,712,874
単 年 度 資 金 留 保 額		445,962	445,235	444,265	418,052	392,082	366,355	340,870	315,627
累 積 留 保 資 金 額		4,664,447	5,109,682	5,553,947	5,971,999	6,364,081	6,730,436	7,071,306	7,386,933
年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高		20,348,523	19,522,489	18,722,720	17,848,668	16,899,770	15,875,453	14,775,127	13,598,192

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+13年度	X+14年度	X+15年度	X+16年度	X+17年度	X+18年度	X+19年度	X+20年度
収益的収入	1,462,113	1,451,242	1,440,344	1,429,415	1,417,962	1,405,980	1,393,461	1,380,399
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	962,106	951,235	940,337	929,408	917,955	905,973	893,454	880,392
資 本 的 収 入	626,418	638,017	649,884	687,026	724,449	762,159	800,163	838,468
合 計	2,088,531	2,089,259	2,090,229	2,116,441	2,142,411	2,168,139	2,193,624	2,218,866

(単位:千円)

市民病院再整備 収支試算
(建設単価52万円/㎡)

1. 収支計画 (収益的収支)

年度		X+21年度	X+22年度	X+23年度
区分				
収	1. 医 業 収 益 a	18,806,569	18,806,569	18,806,569
	(1) 料 金 収 益	18,306,562	18,306,562	18,306,562
	入 院 収 益	13,523,250	13,523,250	13,523,250
	【一日平均患者数】	570	570	570
	【診療単価】	65,000	65,000	65,000
	外 来 収 益	4,106,700	4,106,700	4,106,700
	差 額 室 料 収 益	398,350	398,350	398,350
	がん 検 診 収 益	278,262	278,262	278,262
	(2) 一 般 会 計 負 担 金	500,007	500,007	500,007
	2. 医 業 外 収 益	1,176,159	1,162,232	1,147,982
入	(1) 一 般 会 計 負 担 金	136,312	122,385	108,135
	(2) 一 般 会 計 補 助 金	730,467	730,467	730,467
	(3) 国 (県) 補 助 金	76,008	76,008	76,008
	(4) そ の 他	233,372	233,372	233,372
	経 常 収 益 (A)	19,982,728	19,968,801	19,954,551
支	1. 医 業 費 用 b	19,302,561	19,305,727	19,308,894
	(1) 給 与 費 c	10,883,262	10,883,262	10,883,262
	(2) 材 料 費	4,741,400	4,741,400	4,741,400
	(3) 経 費	2,621,180	2,621,180	2,621,180
	(4) 減 価 償 却 費	992,141	995,308	998,474
	うち建物減価償却	469,641	472,808	475,974
	うち器械備品減価償却	522,500	522,500	522,500
	(5) 資 産 減 耗 費	20,000	20,000	20,000
	(6) そ の 他	44,578	44,578	44,578
	2. 医 業 外 費 用	362,601	334,746	306,247
出	(1) 支 払 利 息	272,624	244,769	216,270
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0
	(3) そ の 他	89,977	89,977	89,977
	経 常 費 用 (B)	19,665,162	19,640,473	19,615,141
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	317,566	328,327	339,410
	特 別 損 失			
	累積欠損金	▲ 5,395,308	▲ 5,066,981	▲ 4,727,571

2. 収支計画 (資本的収支)

年度		X+21年度	X+22年度	X+23年度
区分				
入	1. 企 業 債	500,000	500,000	500,000
	2. 一 般 会 計 出 資 金	852,080	866,008	880,257
	3. 国 (県) 補 助 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	収 入 計 (a)	1,352,080	1,366,008	1,380,257
支	1. 建 設 改 良 費	650,000	650,000	650,000
	施設整備工事費	100,000	100,000	100,000
	土 地 購 入 費			
	固定資産購入費	550,000	550,000	550,000
	2. 企 業 債 償 還 金	1,704,160	1,732,015	1,760,515
出	3. 長 期 貸 付 金	12,000	12,000	12,000
	支 出 計 (B)	2,366,160	2,394,015	2,422,515
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,014,080	1,028,008	1,042,257
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,014,080	1,028,008	1,042,257
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0
	計 (D)	1,014,080	1,028,008	1,042,257
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	317,566	328,327	339,410
	累 積 欠 損 金 (G)	▲ 5,395,308	▲ 5,066,981	▲ 4,727,571
	単 年 度 資 金 留 保 額	315,627	315,627	315,627
	累 積 留 保 資 金 額	7,702,560	8,018,188	8,333,815
	年 度 末 企 業 債 未 償 還 残 高	12,394,032	11,162,016	9,901,502

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	X+21年度	X+22年度	X+23年度
収益的収入	1,366,786	1,352,859	1,338,609
医 業 収 益	500,007	500,007	500,007
医 業 外 収 益	866,779	852,852	838,602
資 本 的 収 入	852,080	866,008	880,257
合 計	2,218,866	2,218,866	2,218,866

診断群分類(DPC) 主要診断群コード一覧

MDC01	神経系疾患
MDC02	眼科系疾患
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患
MDC04	呼吸器系疾患
MDC05	循環器系疾患
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
MDC07	筋骨格系疾患
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患
MDC09	乳房の疾患
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
MDC14	新生児疾患、先天性奇形
MDC15	小児疾患
MDC16	外傷・熱傷・中毒
MDC17	精神疾患
MDC18	その他

